

合計

- 一 科若クハ二科ノ専門ニ係ルモノハ其科名ヲ病院名欄ニ併記スヘシ
- 一 藥價其他収入欄ニハ診察料ヲ合算スヘシ
- 一 支出欄内ヘハ病院經濟ニ係ル一切ノ費用ヲ合算スヘシ
- 一 傳染病院ハ掲載ヲ要セス

○石川縣訓令甲第四十號

郡役所

現金及金券有價證券取扱規程左ノ通相定ム

明治三十年九月十一日

石川縣知事 古澤 滋

現金及金券有價證券取扱規程

- 第一條 郡役所ノ取扱ニ係ル現金（止テ得テ郡役所ニ於テ保管スル場合以下依之）及金券有價證券ハ第二課長ヲ以テ取扱主任トス
- 第二條 現金及金券有價證券ハ必ス鐵庫ニ藏置シ其ノ鎖鑰ハ郡長之ヲ管守スヘシ
- 第三條 現金及金券有價證券ニ就テハ特ニ出納簿并ニ受付簿ヲ調製シ其ノ出納簿ハ第二課長受付簿ニ依リ整理ノ都合ニ依リ部分ヲ別チ登記スルモ妨ケナシト雖モ之ヲ分冊スルコトヲ得ス
- 第四條 往復事務取扱主任郡書記ニ於テ現金及ハ金券或ハ有價證券ヲ受理シタルトキハ直ニ受付簿ニ其ノ種類枚數金額等ヲ登記シ第二課長ニ送致スヘシ
- 前項ノ現金及ハ金券或ハ有價證券ノ附屬書類ニハ第二課長ノ檢印ヲ受クヘシ

第二課長ニ於テ現金及ハ金券或ハ有價證券ノ回致ヲ受ケタルトキハ直ニ出納簿ニ其ノ種類枚數金額等ヲ登記シ郡長ノ檢印ヲ受クヘシ

第五條 現金及金券有價證券ノ支出又ハ還付ヲ要スルトキハ出納簿ニ其ノ事由ヲ記入シ郡長ノ檢印ヲ受クヘシ

第六條 第二課長ハ出納簿ニ依リ毎月末日現在ノ現金及金券有價證券ノ有高表ヲ調製シ郡長ノ檢査ヲ受クヘシ

第七條 總テ領收證書ハ定日又ハ臨時ニ於テ郡長之ヲ檢閱スヘシ

郡市役所

町村役場

○石川縣訓令甲第四十一號

國稅納稅者ニシテ縣稅市町村稅滯納ノ爲メ其ノ所有ニ係ル財産ヲ賣却決行シタルトキハ直チニ所轄稅務署ヘ通報スヘシ

石川縣知事 古澤 滋

明治三十年九月二十七日

郡市役所

○石川縣訓令甲第四十二號

郡長ハ左ノ表式ニ依リ所轄各町村學齡兒童及就學兒童等ニ關スル調査ヲナシ其ノ甲號表ハ毎年十月末マテニ乙號表ハ毎年七月末マテニ報告スヘシ各表ノ計數ニハ郡視學若クハ郡吏員ヲシテ各町村ニ就キ實地ニ調査ヲ遂ケシメタルモノヲ記入スルモノトス

石川縣知事 古澤 滋

訓令甲

七十七

私立	公立	校 數				合計前學年卒業生	尋常中學校入學者	其他ノ學校入學者
		第一學年	第二學年	第三學年	第四學年			

尋常中學校入學者及其他ノ學校入學者ハ本年高等小學科在學生ニシテ入學シタルモノトス
 ○石川縣訓令甲第四十五號

郡市役所
町村役場

傳染病豫防法施行細則左ノ通相定ム但該施行上ニ關シテハ所轄警察署長又ハ警察分署長ト協議シ豫防ノ周到ヲ計ルヘシ

明治三十年十月十六日

石川縣知事 古澤 啓

- 傳染病豫防法施行細則
- 第一條 傳染病ノ豫防ハ明治三十年法律第三十六號傳染病豫防法同年內務省令第十一號傳染病豫防法施行規則同第十三號清潔方法消毒方法ニ依ルノ外尙本則ニ依ルヘシ
 - 第二條 左ノ事項ニ該當スルトキハ市町村長又ハ豫防委員ハ其患者ヲ傳染病院又ハ隔離病舎ニ入ラシムヘシ但第一號第六號ニ係ルモノニシテ健康者ヲ隔離所ニ入ラシムルトキハ此限リニアラス
 - 一 患者ヲ隔離シ得ヘキ適當ナル室ヲ有セサルモノ
 - 二 患家不潔又ハ濕地ニシテ病毒傳播ノ虞アリト認ムルモノ

- 三 主治醫ナキモノ
 - 四 專従スヘキ看護人ナキモノ
 - 五 患者ニ專用スヘキ家具什器ヲ有セサルモノ
 - 六 飲食店宿屋其他多數ノ家族同居人アリテ豫防方法行届難シト認ムルモノ
 - 七 自宅治療ノ患者ニシテ豫防方法ヲ遵守セサルモノ
- 實布の里亞病患者ニ限リ前項ニ該當スルモノト雖モ自宅治療ヲ許スコトヲ得
- 第三條 傳染病院又ハ隔離病舎ヘ移送スヘキ患者ハ其病狀ニ依リ成ルヘク飲料ニ供スヘキ凍氷嗽盤其他必要ナル藥品ヲ携帯セシムヘシ
 - 第四條 傳染病院又ハ隔離病舎ヘ移送スヘキ患者ニシテ死ニ瀕スルカ又ハ暴風雨若クハ炎熱ノ時間ハ一時其移送ヲ停止スヘシ
 - 第五條 傳染病院又ハ隔離病舎ニ入ルヘキ患者ノ附添看護ヲ請フモノアルトキハ當該吏員ノ見込ニ依リ許スコトヲ得但痘瘡患者ノ看護人ハ痘瘡濟ノ者又ハ種痘濟ノ者ニアラサレハ許可スヘカラス
 - 第六條 患者ノ自宅ニ於テ治療スルトキハ左ノ各項ヲ遵守セシムヘシ
 - 一 病室ニハ醫師及看護人ヲ除ク外當該吏員ノ認可ヲ受クルニアラサレハ交通セシムヘカラス
 - 二 看護人ハ當該吏員ノ認可ヲ受ケ衣服身体ヲ消毒シタル後ニアラサレハ外出セシムヘカラス
 - 三 病室内ニ於テハ患者ノ外飲食セシムヘカラス
 - 四 患者ニ供シタル飲食物ノ殘餘ハ消毒ノ上當該吏員ノ指示シタル一定ノ場所ニ投棄セシメ其器具ハ使用ノ都度消毒セシムヘシ

五 病室ニハ患者ノ治療及看護ニ必要ナル物品ノ外置カシムヘカラス

六 患者ノ吐瀉物及病毒ニ汚染セル物品並病室内ノ塵芥ニシテ直ニ焼却又ハ消毒スルコト能ハサルトキハ覆蓋ヲ有スル一定ノ器物ニ入レ置カシムヘシ

七 當該吏員ノ許可ヲ得ルニアラサレハ患者ヲ他室ニ移サシムヘカラス

八 患者ヲ他室ニ移シタルトキハ前病室ハ直ニ消毒セシムヘシ

九 患者ノ沐浴シタル湯水ハ消毒ノ上當該吏員ノ指示シタル一定ノ場所ニ投棄セシムヘシ

十 以上各項ノ外當該吏員ノ指示スル事項

第七條 病毒混入ノ虞アリト認メタル井戸ニ對シテハ直ニ該井戸ノ使用ヲ禁シ其水量五十分一ノ鹽酸又ハ粗製鹽酸ヲ投入攪拌ノ後封鎖シ二十四時間後井戸浚ヲ爲シ井側ヲ洗淨セシメ且水上ケ器械ヲ消毒シタル後ニアラサレハ使用セシムヘカラス但石灰乳ヲ以テ代用スルモ妨ケナシ此場合ニ於テハ五十分一以上ノ石灰乳ヲ用ヒ鹽酸同様ノ處置ヲ爲シ鋭敏ナル赤色試驗紙ノ變色セサルマテ數回汲換ユヘシ

第八條 市町村長又ハ豫防委員ハ傳染病患者若クハ死体ノ移轉ヲ請フモノアルトキハ警察官若クハ檢疫委員ニ協議シ差支ヘナキ者ニ限り之ヲ許シ移轉地ノ市役所町村役場ニ其趣通報スヘシ

第九條 傳染病豫防法第八條ニ依リ交通遮斷ヲ爲シタルトキハ市町村ハ患者ニ於ケル日用品買入其他必須ノ用務ヲ辨セシムル爲メ人夫ヲ雇入ルヘシ

第十條 傳染病豫防法第十九條第二ニ依リ交通ヲ遮斷シタルトキハ遮斷内居住者ノ用務ヲ辨セシムル爲メ相當ノ人夫ヲ雇入レ且其區域内ニ於テ之カ爲メ自活シ能ハサル者アルトキハ市町村長ハ左ノ制限ニ依リ救助スヘシ

十二年以上ハ
一日金八錢以內

十二年以下ハ
一日金六錢以內

前項ノ費用ハ遮斷ヲ解キタル日ヨリ五日以內ニ明細書ヲ作り縣廳ニ請求スヘシ但町村長ヨリ差出ヘキ請求書ハ郡長ノ證明ヲ受クヘシ

第十一條 市町村長又ハ豫防委員ハ傳染病ノ疑ヒアル患者又ハ死者アルトキハ市町村醫ヲシテ檢診セシムヘシ

第十二條 傳染病患者ノ死体ハ沐浴セシムヘカラス

第十三條 二十四時間内ニ死体ノ埋葬ヲ請フ者アルトキハ醫師ノ檢案ヲ調査シ不都合ナシト認ムルモノハ速ニ之ヲ認可スヘシ

第十四條 警察官又ハ檢疫委員ヨリ傳染病患者ノ有無ヲ檢診スル爲メ市町村醫ノ派遣ヲ求ムルトキハ速ニ之ニ應セシムヘシ

第十五條 市町村ハ常ニ左ノ器具及消毒藥ヲ備フヘシ

一 蒸氣消毒器械	一組以上
一 煮沸消毒用釜	一個以上
一 患者運搬器	市ハ六個以上 町村ハ三個以上
一 汚物及未消毒物運搬器	同 上
一 糞便煮沸器	同 上
一 嗽盤	同 上
一 便器	同 上
一 如露	市ハ六個以上 町村ハ三個以上
一 撒布器	市ハ二十個以上 町村ハ十個以上

(但傳染病院及隔離病舎ノ分ヲ除ク)

訓令甲
八十五

- 一 秤 一個以上
 - 一 液量計 同上
 - 一 升 一升及一合升各一個以上
 - 一 提桶 柄杓付 市ハ六個以上 町村ハ三個以上
 - 一 石炭酸浴解用樽 三個以上
 - 一 昇汞浴解用瓶或ハ陶器壺 同上
 - 一 石炭酸 市ハ二十磅以上 町村ハ十磅以上
 - 一 昇汞 (但鐵箱アル場所ニ貯フヘシ) 市ハ二磅以上 町村ハ一磅以上
 - 一 鹽酸 市ハ五磅以上 町村ハ二磅以上
 - 一 フロクシン 一オンス以上
 - 一 生石灰 (但鐵葉箱ニ入レ密封シテ貯藏スヘシ) 市ハ百貫目以上 町村ハ五十貫目以上
 - 一 曹達石鹼 (但鐵葉箱ニ入レ密封シテ貯藏スヘシ) 市ハ五個以上 町村ハ三個以上
- 右ノ外適宜必要ナル物品
- 第十六條 衛生組合ニハ常ニ左ノ藥品及器具ヲ設備セシムヘシ
- 一 便器 一個以上
 - 一 升 一升及一合升各一個以上
 - 一 石炭酸浴解用樽 一個以上
 - 一 提桶 柄杓付 一荷以上
 - 一 石炭酸 一磅以上
 - 一 鹽酸 同上

- 一 生石灰 (但鐵葉箱ニ入レ密封シテ貯藏スヘシ) 五貫目以上
 - 一 撒布器 三個以上
 - 一 如露 三個以上
- 右ノ外適宜必要ナル物品
- 第十七條 市町村ハ傳染病豫防救治ノ爲メ相當ノ手當ヲ給スル市町村醫一名若クハ數名ヲ置クヘシ但町村ノ狀況ニ依リ常時醫師ヲ置ク能ハサルトキハ豫メ醫師ヲ指定シ置キ臨時差支ナキ様取計フヘシ
- 市町村長醫師ヲ撰定スルニハ警察署長又ハ警察分署長ニ協議スヘシ
- 市町村長ハ市町村醫ノ氏名及手當額ヲ縣廳ニ届出ヘシ
- 第十八條 市町村ハ傳染病發生ニ際シ豫防消毒ニ必要ナル人夫ヲ雇入ルヘシ但人夫ノ雇入員數等ニ付警察官郡吏員又ハ檢疫委員ノ指示アルトキハ其指示ニ從フヘシ
- 第十九條 隔離病舎ヲ開キタルトキハ市町村長ハ受持醫師ヲ定メ且看護人及人夫ヲ雇入レ治療消毒其他ニ差支ナカラシムヘシ
- 第二十條 市町村長ハ傳染病豫防法第二十一條第五ニ依リ給スヘキ手當療治料遺族救助料及吊祭料ノ額ヲ定メタルトキハ縣廳ニ届出ヘシ但變更シタルトキ亦同シ
- 附 則
- 本則ハ發布ノ日ヨリ施行ス
- 明治二十四年四月石川縣訓令第三十五號明治二十七年九月石川縣訓令第四十號明治二十八年五月石川縣訓令甲第三十一號同年六月石川縣訓令甲第三十三號同月石川縣訓令甲第二十六號及同月石川縣訓令甲第三十七號ハ本則施行ノ日ヨリ廢止ス

○石川縣訓令甲第四十六號

明治二十六年十一月本縣訓令甲第四十三號ハ自今之ヲ廢止ス

明治三十年十月二十七日

石川縣知事 古澤 滋

縣立學校
市町村立小學校
私立學校

石川縣訓令甲第四十六號參照

明治二十六年本縣訓令甲第四十三號ハ學校教員ハ現在ノ政務ニ關スル事項ニ就キ演說等ヲナスヘカクサル等ノ件ナリ

○石川縣訓令甲第四十七號

本年八月縣令第五十五號石川縣土木費支辨規則第十條ニ依リ補助工事監督檢査規程左ノ通相定ム

明治三十年十一月二日

石川縣知事 古澤 滋

郡市役所
町村役場

縣稅補助土木工事監督檢査規程

監督

第一條 縣稅ノ補助ヲ受クル土木工事ハ管理者ニ於テ常ニ吏員ヲ派遣シ工事ヲ監督セシムヘシ但シ時宜ニ依リ縣廳又ハ縣吏員ヲ派遣シ監督セシムルコトアルヘシ

第二條 監督員ハ常ニ現場ヲ巡視シ荷モ設計ニ違ヘル施工ナキ樣嚴重監督スヘシ

竣工後所定ノ設計ニ違フ工事ヲ發見スルトキハ監督員其責ニ任ス

第三條 工費用ノ築品整備セルトキハ監督員ニ於テ一應之ヲ調査シ而ル後檢査ヲ管理者ニ求ムヘシ

工事竣成セルトキハ出來形書ヲ添ヘ檢査ヲ管理者ニ求ムヘシ

第四條 監督員其監督中設計ニ違ヘル工事ヲ發見スルトキハ直ニ改造セシメ若シ其指示ニ從ハサルトキハ工事ヲ中止シ其事實ヲ具シテ處分ヲ管理者ニ求ムヘシ

第五條 工事ヲ等閑ニ付シ竣工ノ見込ナキトキハ監督員ハ其事實ヲ具シ處分ヲ管理者ニ求ムヘシ

第六條 左ニ列記セル工事ハ竣工後外面ヨリ注目シ能ハサルヲ以テ施工ノ際特ニ注意ヲ加ヘ監督スヘシ

一 棹籠類ノ川入施工ノトキ

一 堤防敷堀根石伏込根堅メノ類施工ノトキ

一 橋梁橋杭根入レノ類施工ノトキ

一 道圍等石積根石伏込ノ類施工ノトキ

一 道路不陸直ノ類施工ノトキ

第七條 監督員其監督中所定工事ノ變更ヲ要スルトキハ設計書ヲ作り其事實ヲ具シ認可ヲ管理者ニ求ムヘシ

工事ノ變更ハ知事ノ認可ヲ經テ施行スヘシ

但治水工事ニシテ立籠ヲ横ニ川倉川入ノ位置ヲ上下スル類ノ如キハ施工後直ニ其事實ヲ稟申スルコトヲ得

第八條 非常ノ風雨又ハ洪水等ニテ實際施工シ能ハサルトキ監督員ハ休業願ニ承認ヲ與フルコトヲ得

前項ノ承認ヲ與ヘタルトキハ直ニ管理者ニ報告スヘシ

第一項ニ依リ承認ヲ與ヘタル日數ハ工事ノ期限中ニ算入セサルモノトス

檢 査

- 第九條 縣稅補助工事ノ竣工ハ縣屬又ハ技手ヲ派遣シ管理者及監督員立會ノ上檢査スルモノトス 但特ニ郡長ニ委任シ檢査セシムルコトアルヘシ
- 第十條 竣工檢査ハ設計書ニ照シ一々點檢シ若シ所定ノ設計ニ違ヘタル工事アリト認ムルトキハ 其ニ部ヲ掘鑿シテ之ヲ驗証スルコトヲ得
- 第十一條 工所用ノ築品ハ郡市吏員之ヲ檢査スルモノトス
- 第十二條 築品及ヒ竣工ノ檢査ハ度量衡等ノ器械ヲ以テスヘシ
- 第十三條 砂利栗石類ノ數量ハ少ナクモ拾捌ニ壹拾以上關引ヲ以テ檢査スヘシ

○石川縣訓令甲第四十八號

郡 市 役 所
町 村 役 場

明治二十六年五月石川縣訓令甲第十六號內務部報告例乙ノ部年報第八十五號表吳座類發送期限ヲ八月十五日ニ改メ同様式左ノ通改正ス

樣 式

製造戶數	調查自每年七月一箇年 至翌年六月一箇年 報告期翌年九月限	自明治何年七月一箇年分 至同何年六月一箇年分
------	------------------------------------	---------------------------

石川縣知事 古澤 滋

輸 出 向 莞 莖	吳 座			表			備 後	數 量	價 額
	其 他	並 吳 座	本 間 吳 座	其 他	琉 球	琉 球			
本							枚		圓

一製造戶數ハ十二月三十一日現在數ヲ記入スヘシ
 一輸出向莞莖製造ニ付テハ別ニ製造戶數及機數ヲ欄外ニ記入スヘシ
 一莞莖一本トハ四十「ヤード」即二十間ヲ云フ

○石川縣訓令甲第四十九號

市町村立小學校

市町村立小學校ノ試驗施行ニ要スル日數ハ尋常小學校ニアリテハ六日高等小學校ニアリテハ八日ヲ超ユルヲ得ス

明治三十年十一月二十二日

石川縣知事 古澤 滋

○石川縣訓令甲第五十號

明治二十六年五月石川縣訓令甲第十六號內務部報告例へ左ノ通追加ス

郡市役所

明治三十年十二月七日

石川縣知事 古澤 滋

報告例目甲之部半年報へ追加

附號	件名	様式	適用	主管課	發送期限
第八	船鑑札下付及返納表	△		第五課	七月十五日

様式第八

船舶報告 自明治何年(一)(七)月

至明治何年(六)(十二)月

第一 新ニ船鑑札ヲ下付シタル船舶
西洋形船舶

表年半

計何艘	日本形船舶	鑑札下付	船鑑札下付事由	船名(原名)	定業所	船質	橋數	尺度	總噸數	登簿馬力	公稱製造地名	製造年月	造船工長氏名	所有者住所									
		年	月	日					長	幅	深	數	噸	馬	力	地	名	年	月	日	長	氏	名

計何艘

第一 船鑑札ヲ書換へ下付シタル船舶

船ノ種類	船名	船鑑札書換年月日	船鑑札書換事由	所有者氏名
------	----	----------	---------	-------

計何艘

第三 船鑑札ヲ返納シタル船舶

船ノ種類	船名	船鑑札返納年月日	船鑑札返納事由	所有者氏名
------	----	----------	---------	-------

計何艘

備考

一 船鑑札下付事由ノ欄内ニハ新造、外國船購入若クハ管轄官廳ノ變更等船鑑札ヲ下付シタル原因ヲ記載シ且管轄官廳ノ變更ニ係ルトキハ管轄官廳名ヲ記載スルヲ要ス

一 船鑑札書換事由ノ欄内ニハ書換ニ係ル新舊船鑑札面ノ事項且所有者ノ變更ニ係ルトキハ新所有者ノ住所氏名ヲ記載スルヲ要ス

一 船艦札ヲ再授スルニ當リ其ノ書換之ニ伴フトキハ第二表ニ編入スヘシ
 一 船舶ノ製造、地名、製造年月若ハ造船工長名明ナラサルトキハ其欄内ニ不詳ト記載スヘシ
 一 本年上半期分ハ十二月十五日限り報告スヘシ

○石川縣訓令甲第五十一號
 郡市役所 町村役場

明治二十六年本縣訓令甲第十六號內務部報告例年報第五十八左ノ通り改正ス
 石川縣知事 古澤 滋

附號 第五十八
 海軍志願兵人名簿
 海軍志願兵人名簿
 三十年十二月訓令
 第三課
 一月二十日

第五十八年報

志願兵種	第一希望	程度	郡市町村	族籍	職業	年	氏名
水兵	機關兵	高等小學 第二學年迄	何郡何町何字何	士族	商	明治何年何月	何某
機關兵	鍛冶工	氏名ヲ記スル ヲ得ルノミ	何郡何町何字何	平民	農	明治何年何月	何某
計							何名

右之者海軍兵志願ニ付調査候處該徵募規則第四條ノ各項ニ觸ル、廉無之候也
 郡(市)長 氏名印

知事宛

備考 寄留ノ者ハ住所ノ區畫ニ原籍ヲ併記スヘシ

○石川縣訓令甲第五十二號

郡市役所
町村役場
市町村立小學校

明治二十五年石川縣令第十二號學齡兒童ノ就學及家庭教育等ニ關スル規則ノ施行手續左ノ通相定メタルニ就キ爾后該手續ニ依リ就學督促ヲ嚴重ニ執行シ學齡兒童ノ就學ヲシテ一層増進セシメンコトヲ務ムヘシ

明治二十五年石川縣訓令第三十二號ヲ廢止ス
 石川縣知事 古澤 滋

學齡兒童ノ就學及家庭教育等ニ關スル規則施行手續

第一條 市町村長ハ毎年一月二十日マテニ戶籍及寄留簿ニ就キ學齡兒童調査簿ヲ加除整理シ新ニ就學義務ノ生スル兒童及現在就學猶豫ノ兒童ノ氏名等ヲ區長及學務委員ニ通知シ實地ニ就キテ次學年ニ對スル就學及就學ノ猶豫若クハ免除ノ調査ヲナサシムヘシ
 學年ノ中途ニ就學ノ猶豫若クハ免除ニ關スル事故ヲ生シタルモノアルトキハ前項ニ準シ其都度其手續ヲナスヘシ

第二條 區長及學務委員ハ前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ二週日以内ニ各兒童保護者ニ就キテ其財產事故等ヲ調査シ就學者ト不就學者トヲ區別シ意見ヲ付シ關係區長並學務委員連署シ市町村長

ニ差出スヘシ其不就學者ニ就キテハ同時ニ保護者ヲシテ規則第五條一項ノ手續ヲナシムヘシ

第三條 市町村長ハ區長及學務委員ヨリ提出シタル前條ノ調査ニ基キ規則第二條又ハ第五條二項ノ手續ヲナスヘシ

第四條 市町村長ハ一尋常小學校毎ニ就學兒童名簿ヲ製シ規則第二條ニ依リ新ニ就學スル兒童ノ出席スヘキ尋常小學校名ト該兒童保護者氏名等トヲ記入シ三月十日マテニ區長及學務委員ニ交付スヘシ

第五條 區長及學務委員ハ前條ノ名簿ヲ受領シタルトキハ三月二十日マテニ兒童ノ就學スヘキ尋常小學校ニ各兒童保護者ヲ召喚シ學齡兒童保護者ト認ムヘキ要件ノ主旨ヲ示シ且ツ入學期日其他必要ノ心得ヲ諭シ該名簿中保護者各自ノ氏名下ニ捺印若クハ摺印セシメ之ヲ市町村長ニ返付スヘシ但シ本條ニ關シテハ代人ヲ許サス

第六條 市町村立尋常小學校長若クハ首席教員ハ相當ノ事由ナクシテ兒童ノ缺席引續キ一週日ニ及ヒタルモノ及其出席一箇月間授業日數ノ半ニ滿テサルモノアルトキハ兒童保護者ヲ勸誘督促シテ出席セシムヘシ

督促二回ニ及フモ尙保護者ニ於テ謂ハレナク兒童ヲ出席セシメサルモノアルトキハ規則第八條一項ノ手續ヲナスヘシ

第七條 市町村長ハ規則第八條一項ノ通知ヲ受ケタルトキハ更ニ缺席兒童及其保護者ノ氏名並事由ヲ就學兒童名簿ニ記入シ該兒童保護者ヲ召喚シ缺席ノ事由ヲ質シ出席ヲ命令シ其應シタルモノニハ直ニ該氏名下ニ捺印若クハ摺印セシメ同時ニ其顛末ヲ當該市町村立尋常小學校長若クハ首席教員ニ通知スヘシ

市町村立尋常小學校長若クハ首席教員ハ前項ノ通知ヲ受ケタル后該兒童保護者ニ於テ尙其兒童

ヲ出席セシメサルコト三日ニ及フトキハ直ニ市町村長ニ報告スヘシ

第八條 市町村長ハ兒童保護者ニシテ前條ノ命令ニ服セサルカ若クハ一旦其命令ニ服スルモ尙前條二項ノ報告ヲ受ケタルトキハ監督官廳ニ具申シ同時ニ其顛末ヲ當該市町村立尋常小學校長若クハ首席教員ニ通知スヘシ

第九條 市町村立尋常小學校長若クハ首席教員ハ第六條二項又ハ第七條二項ノ手續ヲナシタル后十日以内ニ市町村長ヨリ何等ノ通報ニ接セサルトキハ直ニ監督官廳ニ具申スヘシ

第十條 市町村立尋常小學校長若クハ首席教員ハ在籍兒童出席督促簿ヲ調製シ第六條乃至第九條ノ事實要領ヲ記載スヘシ

第十一條 郡長ハ第八條ノ具申ヲ受ケタルトキハ速カニ兒童保護者ニ説諭若クハ命令シ兒童ヲ出席セシムヘシ郡長ハ第九條ノ具申ヲ受ケタルトキハ速カニ其事情ヲ調査シ相當ノ處置ヲナスヘシ

石川縣訓令甲第五十二號參照

學齡兒童ノ保護者中兒童ノ出席ニ關スル命令ニ服セサルモノヲ郡長ニ具申シタルトキ郡長ニ於テ説諭又ハ命令ノ件ナリ

○石川縣訓令甲第五十三號

郡市役所 町村役場

陸軍豫備役後備役補充兵役第一國民兵役ニ在ル者ニシテ召集事務ヲ管掌スル官吏及公吏（府縣官吏、島郡市長、戶長及之ニ準スヘキ者）ト爲リ戰時餘人ヲ以テ代フ可カラサル者並ニ第二補充兵役第一國民兵役ニ在ル者ニシテ市町村長、助役、收入役及帝國議會ノ議員タル者ハ其ノ官名若クハ職名兵役ノ種類武官名

兵卒ハ兵種等級第一國民兵役ノ者ニシテ元 氏名及本籍住所ヲ取調毎年十月三十一日迄ニ當廳ヘ報告シ爾後 下士兵卒アリシ者ハ元官名又ハ兵種等級 翌年差出シ期迄ニ新任轉免等ノ異動アルトキハ其都度報告スヘシ

但本年ニ在テハ來明治三十一年一月十五日迄ニ報告スヘシ

明治三十年十二月二十七日

石川縣知事 古澤 滋

○石川縣訓令甲第五十四號

十三號

郡市役所
尋常師範學校
尋常中學校

尋常師範學校長及尋常中學校長ハ其學校ニ入學ヲ出願シタルモノニ對シ現在若クハ最終修學ノ學 校長等ヨリ其學力及資性ニ關スル證明書ヲ徵シ入學許否ノ參考ニ資スヘシ 郡市長ニ於テ尋常師範學校ニ入學スルモノヲ薦舉セントスルトキハ前項ニ依リ證明書ヲ徵シ其ノ 薦舉書ニ添付シテ尋常師範學校長ニ送付スヘシ

明治三十年十二月二十七日

石川縣知事 古澤 滋

○石川縣訓令乙第一號

郡市役所
町村役場

明治二十九年^六石川縣告示乙第八十六號及明治三十年^一石川縣告示乙第九號同第十號ニ係ル明治 二十九年度縣稅地租割、戶數割追加額、左ノ規程ニ依リ取扱フヘシ

- 一、地租割ハ明治三十年二月廿八日限、戶數割ハ同年三月三十一日限徵收スヘシ
- 二、金澤市及鳳至郡輪島町大字海士町並同郡南志見村大字名舟ノ飛地船倉島ニ係ル地租割ハ明 治二十九年四月一日、其他ノ町村ニ係ル地租割ハ明治二十九年十月一日現在地租額ニ追加 額(郡ハ金四錢參厘、市ハ金參錢六厘四毛五)ヲ乘シ徵收額ヲ査定スヘシ
- 明治二十九年四月一日後納稅事實ノ生シタル土地ハ其當時ノ地租額ニ追加額ヲ乘シ月割ヲ 以テ徵收スヘシ

三、戶數割ハ明治二十九年四月一日現在納稅義務者ノ員數ニ追加額(金五拾七錢五厘五毛四)ヲ 乘シ各市町村ノ總賦課額ヲ定メ各市町村會ニ於テ既ニ議定シタル歩合ニ據リ分賦額ヲ査定 スヘシ

明治二十九年四月一日後移轉又ハ義務消滅ニ係ルモノ、分賦額ハ縣稅取扱心得第四條ニ據 リ本年二月二十八日限リ更ニ通報スヘシ

明治二十九年四月一日後納稅義務ノ生シタルモノハ追加額ニ依リ月割ヲ以テ徵收スヘシ

四、第一號ノ徵收期限前義務消滅ニ係ルモノハ徵收ニ及ハス

石川縣知事 古澤 滋

○石川縣訓令號外

公立學校

皇太后陛下 崩御遊ハサレ候ニ付臣民ノ喪期間左ノ通心得ヘシ

明治三十年一月二十日

石川縣知事 古澤 滋

一謹慎靜肅ヲ專トシ深ク敬悼ノ意ヲ表スヘシ

一制服又ハ筒袖ヲ用フルモノニ在テハ黒色ノ布片ヲ左腕ニ纏ヒ其他ニ在テハ左肩ニ適宜之ヲ添付ヘシ

一制帽ヲ定ムルモノニ在テハ黒色ノ布片ヲ以テ徽章ヲ覆フテ帽ヲ卷キ其他ニ在リテハ適宜帽ヲ卷クヘシ

一女生徒ハ服裝ヲ成ルヘク質素ニシ目立ツヘキ頭髮ノ粧飾ヲ廢スヘシ

○石川縣訓令號外

公立學校

本月二十日石川縣訓令號外臣民ノ喪期間學校ニ於テ心得ヘキ事項ニ左ノ一項ヲ加フ

明治三十年一月二十一日

石川縣知事 古澤 滋

一學校紀念式運動會修學旅行等ノ催シヲ禁ス

○石川縣訓令乙第二號

郡市役所 町村役場

目下東京大坂兵庫ヲ始メ其他各地ニ於テ天然痘流行シ本縣ニ於テモ昨冬以來本日マテ三十四名ノ患者ヲ發生シ尙蔓延兆ノ有ニ付明治二十八年一月以後種痘ヲ行ヒ善感証書ヲ所持スル者及明治二十九年十一月一日以後種痘ヲ爲シ種痘濟ノ証ヲ所持スル者ヲ除クノ外ハ漏レナク種痘ヲ施行スヘシ

石川縣知事 古澤 滋

明治三十年二月三日

○石川縣訓令乙第三號

郡市役所

本年縣令第二十三號ヲ以テ貴族院多額納稅者議員互選名簿調整ニ付直接國稅金四百圓以上ヲ納ムルモノノ納租額等届出ヲ達シタルニヨリ四月五日迄ニ到達スルノ豫定ヲ以テ其役所ニ於テ取纏メ進達スヘシ

石川縣知事 古澤 滋

明治三十年三月九日

○石川縣訓令乙第四號

郡市役所 町村役場

本年縣令第二十三號ニ依リ直接國稅金四百圓以上納稅者届出ニ際シ市町村長ノ證明ヲ請フモノアルトキハ迅速ニ證明書ヲ交付スヘシ

石川縣知事 古澤 滋

明治三十年三月九日

○石川縣訓令乙第五號

郡市役所 町村役場

明治廿九年^{十二月}石川縣令第六十八號本縣營業稅雜稅規則發令以前ヨリ存在スル船舶ハ其ノ間數ヲ本年四月三十日迄ニ調査シ又諸車ハ其ノ積量區分ヲ本年五月三十日迄ニ調査シ鑑札下付又ハ檢印ヲ與フ可シ

石川縣知事 古澤 滋

明治三十年三月三十一日

○石川縣訓令乙第六號

本月十一日ヨリ來ル九月十日迄暑中休暇ヲ賜ヒ候ニ付テハ御用差支無之様致スヘシ且賜暇中旅行
致度モノハ其行先届出ヘシ

明治三十年七月七日

石川縣知事 古澤 滋

○石川縣訓令乙第七號

從來各地方ニ於ケル種痘施行ノ狀況ヲ觀ルニ多クハ春季ヲ主トシ秋季種痘ヲ忽セニセシモ痘瘡ノ
流行ハ之ヲ既往ノ實歴ニ徴スルニ概テ十一月、十二月ノ交ヨリ翌年四五月ニ涉ルヲ常トスルヲ以テ
今若シ秋季種痘ニシテ普及セザラン乎春季種痘後出生ノ兒童ハ多クハ未タ種痘ヲ了ヘス流行期ヲ
迎フルモノニシテ甚タ危險ノ至ニ付自今主トシテ秋季ニ於テ種痘ヲ施行スヘシ

明治三十年十月十二日

石川縣知事 古澤 滋

○石川縣訓令乙第八號

本年ニ於ケル赤痢病患者ハ初登ヨリ本日マテ二百五十四人ニシテ前年ニ比シ非常ノ減退ヲ見ルニ
至レリ是レ一般ニ豫防消毒法ノ實行セラレタルト昨年末期消毒の大清潔法ノ周到ナリシトノ効果
ニ外ナラサルヘシ然ルニ本年末期消毒の大清潔法ニ缺點アリテ万一病毒ノ殘留スルアラシカ復タ前
年ノ如ク猖獗ヲ逞フスルモ計リ難シ又腸室扶私病ハ本年初發以來本日マテ患者二百四十一人ニシ

郡市役所 町村役場

テ二十七年以來年々稍々減少ノ傾アルモ未タ撲滅ノ場合ニ至ラス依テ本年患者發生シタル局部ニ
於テハ左記ノ方法ニ依リ消毒の大清潔法ヲ嚴重ニ施行シ其他ハ一般ニ清潔の大掃除ヲ施行シ來ル
十一月二十日ヲ期シ了スヘシ

明治三十年十月二十二日

石川縣知事 古澤 滋

- 一 井水汲換ノコト
但井側井車井蓋ハ充分ニ洗滌スヘシ
- 二 構造疎悪ナル井戸又ハ破壊シタル井側ハ可成改修スルコト
- 三 流石下水溜下水溜ハ塵埃淤泥ヲ浚滌シ其跡ニ石灰乳又ハ生石灰ヲ撒布スルコト
但浚滌ノ際勾配ヲ變シ疏通ヲ妨ケサル様注意シ其淤泥ハ他ノ無害ノ場所ニ運搬スヘシ
- 四 芥溜其他不潔ノ場所ハ掃除ヲ爲シ其跡ニ石灰乳又ハ生石灰粉ヲ撒布スルコト
- 五 前二項ノ塵芥ハ之ヲ焼却シ若シ燒却スルヲ得サルトキハ他ノ無害ノ場所ニ運搬スヘシ
- 六 便所ハ糞便ヲ他ヘ汲取リ其跡及周圍ニ石灰乳ヲ撒布シ踏板等ヲ洗滌スルコト
- 七 家屋ハ左ノ方法ニ據リ大掃除ヲ爲スコト
一 家什ヲ出シ塵ヲ揚ケ筵具ヲ外シテ室内ヲ掃除シ室内ニハ空氣ヲ通シ器具塵筵具等ハ日光ニ
曝スコト
- 二 床下ノ塵芥ヲ除去シ濕潤ナルトキハ其跡ニ石灰ヲ撒布スルコト
但除去シタル塵芥ハ燒却スルコト
- 三 衣服臥具ハ殊ニ能ク日光ニ曝シ其汚レタルモノハ洗濯スルコト

○石川縣告示甲第一號

本縣能美郡宮竹用水普通水利組合區域反別中左記ノ通り變更ノ義組合會ノ決議ニ依リ管理者ヨリノ稟請ニ對シ認可ヲ與ヘタリ

明治三十年一月八日

石川縣知事 古澤 滋

能美郡國造村字和氣

反別四町壹畝貳拾貳步

全 牧 村字上牧

反別拾九町六反九畝拾壹步

全 長野村字牛島

反別七拾貳町九反貳畝貳拾壹步

○石川縣告示甲第二號

府縣制第十六條ニ依リ本縣縣會ノ議決ヲ以テ縣參事會ニ左ノ事項ヲ委任ス

明治三十年一月二十八日

石川縣知事 古澤 滋

一明治三十年度家屋稅賦課ノ地位等級及建物ノ種類ニ關スル細目ヲ定ムル事

○石川縣告示甲第三號

度量衡法施行規則第三十八條ニ據リ當廳ニ納入スヘキ身元保証金預ケ入レ銀行ハ自今左記ノ七銀行ニ指定ス

明治三十年一月二十八日

石川縣知事 古澤 滋

石川縣金澤市上堤町

株式會社加州銀行

石川縣金澤市南町

第十三國立銀行金澤支店

石川縣江沼郡大聖寺町

第八十四國立銀行大聖寺支店

石川縣能美郡小松町

株式會社濟海社

石川縣羽咋郡末森村

合資會社廣業銀行

石川縣鹿島郡七尾町

株式會社鹿島銀行

石川縣鳳至郡輪島町

第百五十國立銀行

○石川縣告示甲第四號

本縣石川郡富樫用水普通水利組合區域反別左記ノ通り變更ノ義組合會ノ決議ニ依リ管理者ヨリノ稟請ニ對シ認可ヲ與ヘマリ

明治三十年二月九日

石川郡林村字部入道

反別貳拾貳町四反八畝拾八步

全郡富與村字中林

反別參拾町壹反七畝拾貳步

石川縣知事 古澤

滋

○石川縣告示甲第五號

明治二十六年四月石川縣告示甲第一號巡查駐在所位置中石川郡富與村字三納ヲ全村字粟田新保ニ改ム

明治三十年二月九日

○石川縣告示甲第六號

小學校教員ノ檢定ヲ請フモノハ出願ノ節左記上納書ニ手数料ヲ添ヘ郡ニ在リテハ郡役所ニ市ニ在リテハ常廳ニ納入スヘシ

明治三十年二月二十五日

上納書

一金何程

本年何月何日檢定出願候ニ付前記檢定手数料上納候也

年 月 日

知 事 宛

縣 市 郡 町

字 番 地

何

某

○石川縣告示甲第七號

官林内主副產物ノ拂下及ヒ林地ノ貸下等ニシテ町村又ハ其一部若クハ一區全体ニ關スル時ハ總テ其事件ヲ管理スヘキ町村長ノ名義ヲ以テ出願セシメ且ツ其除ハ區會若クハ町村會決議書寫ヲ添付セシムヘキコトニ改正候旨長野大林區署長ヨリ通知アリヌリ

明治三十年三月二日

石川縣知事 古澤

滋

○石川縣告示甲第八號

大坂府下安治木津尻無三川ニ於テ各川ヨリ徵收スル入津料徵收規則左記ノ通制定シ本年四月一日ヨリ施行スル旨該府ヨリ通知アリタリ

明治三十年三月七日

石川縣知事 古澤 滋

入津料徵收規則

第一條 安治木津尻無三川鱒ノ尾杭以内ニ入津スル船舶ハ左ノ料率ニ依リ入津料金ヲ徵收ス

日本形船(間敷船ノ部)	二間船以下	一般ニ付	金貳錢
	三間船	全	金四錢
	四間船以上	全	金七錢
全 (石量船ノ部)	五十石以上	十石ニ付	金參錢
	百石以上	全	金五錢
	百五十石以上	全	金七錢
	二百石以上	全	金七錢參厘
	三百石以上	全	金七錢七厘
	四百石以上	全	金八錢五厘
	五百石以上	全	金九錢七厘
西洋形船	百噸未満	一噸ニ付	金五錢貳厘

百噸以上 全 金五錢七厘

第二條 前條ノ入津料金ハ其川入津料取立所へ納付スヘシ

第三條 左ノ各項ノ一ニ當ル船舶ハ入津料ヲ免附ス

- 一 官廳ノ所有ニ係ルモノ
 - 二 明治十五年八月布告第四十三號徵發令ニ據リ徵發中ニ係ルモノ
 - 三 官ニ於テ使用中ニ係ルモノ
 - 四 安治木津尻無三川内ニ於テ新造若クハ修繕ノ船舶ニシテ試運轉ノ爲メ其川鱒ノ尾杭以外ニ進航シ直チニ入津スルモノ
 - 五 航海中水火風災等ノ爲メ船体ニ破損ヲ生シ荷物乘客ヲ搭載セザルモノ
 - 六 船体修繕ノ爲メ安治木津尻無三川ノ内甲川ヨリ乙川ニ廻船スルモノ
 - 七 左ニ掲クル船舶ニシテ時トシテ安治木津尻無三川鱒ノ尾杭以外ニ出テ入津スルモノ
 - イ 水田ノ耕作用船
 - ロ 川船(二十石船、テントウ船、等ノ如キ)
 - ハ 遊船(形日本)
 - ニ 傳馬船(ハツテラ)船
 - 八 傳馬船(ハツテラ)船
 - 九 安治木津尻無三川鱒ノ尾杭附近ノ碇泊船ヨリ荷物乘客轉載ノ爲メ其川内ヲ廻漕スルモノ(俗ニ廻取ト稱スルモノ)
- 第四條 第三條第三項ニ該當スルモノハ入津ノ際其所有者若クハ乗込者ヨリ証明トナルヘキ書類ヲ添付ノ上入津料取立所へ届出スヘシ
- 第二條第四項ニ該當スルモノハ出津ノ際全條第五項ニ該當スルモノハ入津ノ際全條第六項ニ該

珠 郡 役 所 大谷村 大崎村 日置村 三崎村 鉢崎村 蛸島村 正院村 直村 東
 洲 郡 若山村 西若山村 飯田町 上戸村 見付村 黒峰村 鶴島村 松波村
 郡 小木村 役場 小木村 高倉村

○石川縣告示甲第十號

明治二十五年四月本縣告示第四十六號本縣々稅ヲ以テ支辨スル營造物ニ關スル工事競争入札規則左ノ通改正ス

明治三十年三月十九日

石川縣知事 古澤 滋

工事競争入札規則

- 第一條 縣ノ工事ハ本則第六條ニ於テ定メタル場合ノ外總テ公告シテ競争入札ニ付スルモノトス
- 第二條 工事ヲ競争入札ニ付スルトキハ少ナクモ十五日以前ヨリ揭示又ハ官報縣公報新聞紙其ノ他ノ方法ヲ以テ左ノ事項ヲ列記シ成ル可ク廣ク公告スヘシ
- 第一競争入札ニ付スル工事ノ個所及種類
- 第二契約書案及設計書ヲ示ス場所
- 第三契約ノ締結ヲ擔任スル官吏ノ官職氏名
- 第四競争入札執行ノ場所期日時刻及開札ノ時刻
- 第五入札及契約保証金額
- 第三條 競争入札ニ加ハテントスル者ハ二年以上其ノ工事ニ從事シタルモノニ限ル但所轄警察署長若クハ分署長ノ証明ヲ受クヘシ
- 土木會社若クハ營業人ニシテ工學士ヲ使用シ居ル者ハ該工學士ヲシテ其ノ工事ヲ擔任セシムル

場合ニ限リ前項ノ年限ニ依ラズ競争入札ニ加ルコトヲ得

第四條 競争入札ハ入札書ヲ差出スト同時ニ第三條第一項又ハ第二項ノ事實ヲ証明シ入札保証金ヲ納ムヘシ

第五條 競争入札ニ付スル工事ノ豫定價格ハ封書トシ契約締結擔任官吏ニ於テ封印シ開札ノ節之ヲ其ノ場所ニ備ヘ置クモノトス

第六條 左ノ場合ハ競争入札ニ依ラサル事ヲ得

- 一 天災事變ニ依リ緊急ノ工事ヲナシ若クハ非常緊急ノ爲メ競争入札ニ付スル暇ナキトキ
- 一 五拾圓ヲ超ヘサル工事ヲナストキ
- 一 本縣監獄ノ囚徒ヲ備役スルトキ

一 競争入札ニ付スルモ入札人ナキカ又ハ再入札ノ場合ニ於テ仍ホ豫定價格ヲ超過スルトキ

一 關係町村ニ指定ノ條件ヲ以テ受負シムルコト

第七條 前條第二項及第四項ノ場合ト雖モ成ルヘク第三條第一項第二項ノ資格ヲ備ヘタル者ノ内

ヨリ指名入札セシムヘシ此ノ場合ニ於テ指名入札人ニハ第二條列記ノ要項ヲ示スヘシ

第八條 開札ハ公告ニ示シタル場所ヘ日時ニ競争入札人ノ面前ニ於テ執行スルモノトス

入札人又ハ代理人其ノ開札ノ場所ニ出席セサルトキハ其入札ハ無効トス第十一條抽籤ノ節出席

セサルモノ亦同シ

第九條 競争入札ノ落札ハ豫定價格以內最低ノモノトス

第十條 開札ノ上各入札悉ク豫定價格ヲ超過シタルトキハ直ニ入札人ヲシテ再度ノ入札ヲナサシ

ムルコトアルヘシ

再入札ニ付スルモ尙豫定價格ヲ超過シタルトキハ總テ入札ヲ取消スヘシ

第十一條 落札トナルヘキ同價ノ入札人貳名以上アルトキハ該入札人ヲシテ直ニ再度ノ入札ヲナ
サシム

再入札ニシテ最初ノ入札ヨリ高キヲ加ルモノハ無効トス
再度ノ入札ヲナスモ尙落札トナルヘキ同價ノ入札アルトキハ直ニ抽籤ヲ以テ落札者ヲ定ムルモ
ノトス

第十二條 落札人ト定マリタルモノ其ノ落札ヲ辭スルトキハ入札保証金ハ縣ノ所有トス

第十三條 落札人ハ已ニ定マリタルトキハ他ノ入札人ノ保証金ハ直ニ還付ス

第十四條 落札人ニシテ落札ノ時限ヨリ向フ四拾八時間内ニ契約ヲ締結セサルトキハ其ノ落札ヲ
無効トシ入札保証金ハ縣ノ所有トス但天災事變其他避ク可ラサル事故ニ因ルモノハ相當ノ猶豫
ヲ許可スヘシ

前項ノ期限内ニ於テ落札人死亡シルトキハ其ノ落札ハ消滅シタルモノトシ入札保証金ハ之ヲ相
續人ニ還付ス

第十五條 契約書ニハ其ノ契約セントスル工事ノ細密ナル設計仕譯起工及竣功ノ期日契約保証金
額契約違背ノ場合ニ於ケル處分其他必要ナル一切ノ條件ヲ記載スヘシ

第十六條 落札人ハ前條ノ契約書ヲ調製シ之ヲ契約締結擔任官吏ニ差出スト同時ニ契約保証金ヲ
納ム可シ

契約保証金ヲ納メタルトキハ入札保証金ヲ還付ス

第十七條 入札及契約保証金ハ國債証書及本縣債券又ハ現金ニ限ル其ノ記名ノモノハ記名者ノ委
任狀ヲ添付スヘシ

第十八條 契約ハ契約ヲ締結スル官吏ノ調印ヲ以テ確定スルモノトス

第十九條 第三條第一項又ハ第二項ノ事實ヲ詐リタルコトヲ發見シタルトキハ其ノ入札ハ無効ト
シ入札保証金ハ縣ノ所有トス契約締結後ニ於テ之ヲ發見シタル時ハ直ニ其ノ契約ヲ解除シ契約
保証金ハ縣ノ所有トシ其ノ出來形ニ對シテハ檢査ノ上當該官吏ノ認定ヲ以テ已成部分ニ對スル
見積金額以内ノ工費ヲ下付スヘシ

○石川縣告示甲第十一號
石川縣江沼郡矢田野村
大字矢田野字五十二ノ部
ニ反別五町壹畝貳拾七步
外四反十七步咄畔

右矢田野村大字矢田野地籍ヲ同村大字ニツ梨地籍ニ組換編入方稟請ニ對シ許可ヲ與ヘタリ
明治三十年三月二十三日
石川縣知事 古澤 滋

○石川縣告示甲第十二號
今般内務省告示第三十七號ヲ以テ郡市ノ區域ニ依ラサル警察署管轄區域表中改正相成タル處其區
域内金澤市ノ分署及警察分署ノ改稱廢止所轄並警察署ノ位置左ノ通トス

- 一東西警察署管轄内金澤市ノ分署ハ從來ニ同シ
- 一松任警察署内美川分署及鷗來分署ノ所轄ハ從來ニ同シ
- 一輪島警察署内櫛比分署所轄ハ從來ニ同シ
- 一輪島警察署宇出津分署ハ來ル四月一日ヨリ穴水警察署宇出津分署ト改稱シ其所轄ハ從來ニ同シ
- 一松任警察署金石分署及輪島警察署穴水分署ハ本月三十一日限り廢止シ金石警察署ハ舊金石分署
跡ニ穴水警察署ハ舊穴水分署跡ニ置ク

明治三十年三月二十七日
石川縣知事 古澤 滋

○石川縣告示甲第十三號

明治二十六年四月本縣告示甲第一號巡查駐在所位置石川郡ノ内野村字十一屋トアルヲ富樫村字地黃
煎ト改ム

明治三十年三月三十一日

石川縣知事 古澤 滋

○石川縣告示甲第十四號

本縣縣稅支辨ニ屬スル物件ノ賣買貸借競争入札規則左ノ通相定ム

明治三十年四月一日

石川縣知事 古澤 滋

物件賣買貸借競争入札規則

第一條 縣稅支辨ニ屬スル物件ノ賣買貸借ハ本則第二條ニ定メタル場合ノ外總テ公告シテ競争入

札ニ付スルモノトス

第二條 左ノ場合ハ競争入札ニ依ラサルコトヲ得

- 一 天災事變其ノ他避ク可ラサル緊急ノ爲メ競争入札ニ付スル暇ナキトキ
- 一 五十圓ヲ超ニサル物件ノ買上借入
- 一 二十圓ヲ超ニサル物件ノ買却及ヒ貸下料二十圓ヲ超ニサル物件ノ貸與
- 一 特殊ノ技術家又ハ製造所ニアラサレハ供給シ得サル物品ヲ買入ル、トキ
- 一 土地家屋ノ買上借入ニ付其ノ位置構造ニ限リアルトキ
- 一 本縣監獄ノ囚徒ヲ傭役シ又ハ囚徒ノ製作物品ヲ直接買入ル、トキ
- 一 縣立學校ノ生産品又ハ製造品ヲ直接買入ル、トキ
- 一 競争入札ニ付スルモノ買入ナキカ又ハ再入札ノ場合ニ於テ仍ホ豫定價格ニ達セサルトキ
- 一 特別ノ成規アルモノ

第三條 前條第二項第三項及第九項ノ場合ト雖成ルヘク第五條ノ資格ヲ備ヘタル者ノ内ヨリ指名

入札セシムヘシ此ノ場合ニ於テ指名入札ニハ第四條列記ノ要項ヲ示スヘシ

第四條 競争入札ニ付スルトキハ官報、縣公報、新聞紙又ハ揭示其他ノ方法ヲ以テ左ノ事項ヲ列記

シ成ルヘク廣ク公告スヘシ

第一 競争入札ニ付スル物件ノ種類、員數及賣買、貸借ノ區別

第二 契約書案及見本品又ハ現物ヲ示ス場所

第三 契約ノ締結ヲ擔任スル吏員ノ官職氏名

第四 競争入札執行ノ場所、期日、時刻及開札ノ時刻

第五 入札及契約ノ保證金額

第五條 物件ノ買上又ハ借入ノ競争入札ニ加ハラントスルモノハ二年以上當該物件ノ供給ニ從事

シタルモノニ限ル

物件ノ賣却競争入札ニ加ハラントスルモノハ其ノ身元確實ナルモノニ限ル

物件ノ貸與競争入札ニ加ハラントスルモノハ其ノ貸與物件ノ價格五倍以上ノ財産ヲ有スルモノ

ニ限ル

第一項及第三項ノ資格ハ警察署長又ハ分署長ノ證明ヲ受クヘシ

第六條 競争入札人ハ入札書ヲ差出スト同時ニ前條警察署長又ハ分署長ヲ證明書及入札保証金ヲ

差出スヘシ

第七條 競争入札ニ付スル物件ノ賣買貸借豫定價格ハ封書トシ契約締結擔任吏員ニ於テ封印シ開

札ノ節之ヲ其ノ場所ニ置クモノトス

第八條 開札ハ公告ニ示シタル場所日時ニ入札人ノ面前ニ於テ執行スルモノトス

入札人又ハ代理人其ノ開札ノ場所ニ出席セザルトキハ其ノ入札ハ無効トス第十一條抽籤ノ節出席セザルモノ亦同シ

第九條 競争入札ノ落札ハ賣却及貸與ハ其ノ豫定價格以上最高價ノモノトシ買上及借入ハ其ノ最低ノモノトシ

第十條 開札ノ上各入札悉ク豫定價格ニ達セザルトキハ直ニ入札人ヲシテ再度ノ入札ヲナサシムルコトアルヘシ

再入札ニ付スルモ尙ホ豫定價格ニ達セザルトキハ總テ入札ヲ取消スヘシ

第十一條 落札トナルヘキ同價ノ入札人二名以上アルトキハ該入札人ヲシテ直ニ再度ノ入札ヲナサシムルモノトス

再入札ハ購買若クハ借入ニ關シテハ最初ノ入札ヨリ高キモノ又ダ賣却若クハ貸與ニ關シテハ最初ノ入札ヨリ低キモノハ總テ無効トス

再度ノ入札ヲナスモ尙ホ落札トナルヘキ同價ノ入札アルトキハ直ニ抽籤ヲ以テ落札人ヲ定ムルモノトス

第十二條 落札ト定マリタルモノ其ノ落札ヲ辭スルトキハ入札保證金ハ縣ノ所有トス

第十三條 落札人ハ已ニ定マリタルトキハ他ノ入札人ノ保證金ハ直ニ還付ス

第十四條 落札人ニシテ落札ノ時限後四十八時間内ニ契約ヲ締結セザルトキハ其ノ落札ヲ無効トシ入札保證金ハ縣ノ所有トス但天災事變其ノ他避クヘカテサル事故ニ因ルモノハ相當ノ猶豫ヲ

許可スヘシ

前項ノ期限内ニ於テ落札人死亡シタルトキハ其ノ落札ハ消滅シタルモノトシ入札保證金ハ之ヲ相續ニ還付ス

第十五條 契約書ニハ其ノ契約セントスル物件ノ種類及員數、賣買賃借ノ區別、物件ノ納入搬出又ハ引渡ノ期日、使用期限、原品納入期日、契約保證金、代金納付又ハ拂渡期日、契約違背ノ場合ニ於ケル處分其ノ他必要ナル一切ノ條件ヲ記載スヘシ

第十六條 落札人ハ前條ノ契約書ヲ調製シ之ヲ契約締結擔任吏員ニ差出スト同時ニ契約保證金ヲ納ムヘシ

第十七條 入札及契約保證金ハ國債證書及ヒ本縣債券又ハ現金ニ限ル其ノ記名ノモノハ記名者ノ委任狀ヲ添付スヘシ

第十八條 契約ハ契約ヲ締結スル吏員ノ調印ヲ以テ確定スルモノトス

第十九條 第五條第一項及第三項ノ事實ヲ詐リタルコトヲ發見シタルトキハ其ノ入札ハ無効トシ

入札保證金ハ縣ノ所有トス契約締結後ニ於テ之ヲ發見シタルトキハ直ニ其ノ契約ヲ解除シ契約保證金ハ縣ノ所有トス但其納入濟物品ニ對シテハ受負見積價格ニヨリ當該吏員ノ認定ヲ以テ代價ヲ下付スヘシ

○石川縣告示甲第十五號

本縣縣稅ヲ以テ支辨スル工事又ハ物件賣買賃借ノ受負ヲ競争入札ニ付シタル場合ニ於ケル入札人及契約人心得左ノ通相定ム

明治三十年四月一日

石川縣知事 古澤

滋

競争入札人及受負人契約者心得

第一條 物件ノ賣買賃借又ハ工事ノ受負入札ヲナスモノ及受負契約ヲナモノハ明治三十年本縣告示甲第十四號物件賣買賃借競争入札規則、同第十號工事競争入札規則、及本心得ヲ遵奉スヘシ

第二條 物件ノ賣買賃借又ハ工事ヲ競争入札ニ付シタルトキ入札ヲナサントスル者ハ公告揭示又

ハ通知ニ示サレタル場所ニ就キ競争入札ニ付シタル物件又ハ工事ノ種類、箇所、員數、設計書、圖面、雛形、見本品、契約書案、工事着手及竣工期日、工所用諸材料準備期日、及調製、納入、搬出、引渡ノ期日其ノ他必要ナル事項ヲ熟知スヘシ

前項ノ事項中若シ疑義アルトキハ契約締結擔任吏員又ハ係員ニ就キ説明ヲ請フコトヲ得入札後顯前事項不明瞭ノ理由ヲ以テ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス

第三條 入札人ハ公告又ハ通知ノ日ヨリ開札ノ日時迄ノ間其ノ官衙若クハ學校病院執務時間中ハ何時タリトモ入札書ヲ差出スコトヲ得但札期日及時限ヲ定メタルモノハ此ノ限ニアラス入札ハ本人又ハ代理人指定ノ所場ニ出頭シ契約締結擔任吏員若ハ係員ノ指揮ニ從ヒ入札函ニ投入スヘシ

代理人ハ本人ノ委任狀ヲ以テ代理人タルコトヲ證明スヘシ
第四條 入札時限經過シタルトキハ開札前ト雖入札ヲ受理セス但時限ハ入札所備付ノ時計ニ依ルモノトス

第五條 現金ヲ以テ入札保証金ニ充ツルモノハ現金ヲ本縣金庫又ハ支金庫へ預入レ其預入證ヲ封緘シ捺印ノ上金額住所氏名ヲ記シ入札書ト共ニ再ヒ封シ其ノ上ニ氏名ヲ記シ之ヲ入札函ニ投入スヘシ但本金庫又ハ支金庫在在外ニ於テハ本條第二項ノ例ニ依ルヘシ
國債證書又ハ本縣債券ヲ以テ入札保証金ニ充ツルモノハ之ヲ封緘捺印シ其ノ上ニ住所氏名ヲ記シ入札ヲ差出スト同時ニ契約締結擔任吏員又ハ係員ニ差出シ別ニ其ノ額面金額、入札保証金額住所氏名ヲ記載シタルモノト入札書トヲ封シ其ノ上ニ氏名ヲ記シ之ヲ入札函ニ投入スヘシ
第六條 國債證書又ハ本縣債券ヲ以テ入札ハ契約保証金ニ充ントスルモノハ其ノ時價ニ依テ之ヲ算スヘシ但時價ハ入札場處ニ掲示スルモノトス

第七條 入札書ノ書式ハ左ノ如ク定ム

(入札書式)

記

一金何程 此ノ入札保証金何(現金又ハ何)何程 何々(入札ニ付シタル種類)受負金額

右ハ今回何々(入札ニ付シタル種類)受負入札ニ付設計書(又ハ見本品)契約書案其ノ他必要ノ關係事項ヲ熟知シ(現場ヲ取調ヘ)前記ノ金額ヲ以テ受負可致候尤モ明治三十年本縣告示甲第十三號工事競争入札規則(又ハ明治三十年本縣告示甲第十四號物件賣買貸借競争入札規則)及同第十五號競争入札者及受負契約者心得ノ條々確ク遵守シ違背仕間敷依テ入札仕候也

明治 年 月 日

契約締結擔任吏員官職氏名殿

入札者 氏名 印

第八條 入札書ノ文字ヲ改竄シ又ハ貼紙シタルトキハ之ニ捺印スヘシ

第九條 開札ノ節入札書中重要ノ点ニ於テ前條ニ違背シタルモノ及文字下明瞭ノモノ、又ハ入札書式ノ要件ヲ具備セサルモノアルトキハ之ヲ無効トス

第十條 入札人ハ豫定價格ノ披閱ヲ求ムルコトヲ得ス

第十一條 入札ハ投函後何等ノ申立ヲナスモ變更又ハ返附ヲ許サス

第十二條 開札立會ノ爲メ出席スルトキハ本人又ハ代理人ハ自己ノ實印ヲ携帯スヘシ

第十三條 開札ハ入札人ノ面前ニ於テ之ヲ行ヒ一々其ノ入札金額及氏名ヲ朗讀スヘシ

- 第十四條 開札ノ場所ニハ監督官、契約締結擔任吏員、係員出席スルモノトス場合ニ依リテハ警察官吏立會フコトアル可シ
- 第十五條 落札人ハ明治三十年本縣告示甲第十四號物件賣買貸借競争ハ札規則第十四條又ハ同第十號工事競争ハ札規則第十四條ノ期間内ニ契約書ニ通テ製シ署名捺印シテ契約締結擔任吏員ニ差出スヘシ工事ノ受負ニ於テハ別ニ設計書及圖面各ニ通テ製シ署名捺印シテ契約書ニ添付スヘシ
- 第十六條 契約書ニハ本縣在住ノ者ニシテ身元健ナル者二名以上保證人トシテ連署スヘシ前項ノ保證人中不適當ト認ムル者ハ變更ヲ命スヘシ
- 第十七條 會社ニシテ其ノ資本拂込金其ノ受負金額五倍以上ノモノハ時宜ニ依リ保證人ヲ免スルコトアルヘシ
- 第十八條 契約書ハ契約締結擔任吏員ニ於テ署名捺印シ一通ヲ受負者ニ交付スヘシ
- 第十九條 受負人ハ其ノ受負契約ノ權利ヲ他人ニ賣買讓與スルコトヲ得ス
- 第二十條 契約保證金ハ受負義務ヲ果シタルトキ之ヲ還付ス
- 第二十一條 入札ヲ執行シタル官衙、學校、病院所在地外ノモノ落札人ト定テ契約ヲ締結シタルトキハ事ヲ辨スル爲メ其ノ所在地ニ代理人ヲ置クコトヲ命スルコトアルヘシ
- 第二十二條 期間ヲ定メ其期間内ニ於ケル必要物件ノ購買ヲ受負ハシメタルトキハ見本品(保存スルモノ又ハ保存シ)ニ受負者ノ認印ヲ捺シ受負期間之ヲ保存シ納入ノ時々其ノ納入品ト對査スルモノトス
- 第二十三條 受負人受負期間ハ如何ナル事アリトモ落札代價ノ變更ヲ求メ又ハ納札ヲ拒ムコトヲ得ス

- 第二十四條 購買物件其ノ見本品ニ違ヒタルトキハ直ニ見本合格ノ品ニ引換ヘ差出スヘシ
- 第二十五條 見本品ハ時宜リ依リ其ノ入札人ニ差出サシムヘシ
- 第二十六條 工所用護材料全ク整備スルルキハ行程一日十里計ノ割合ニ尙三日ノ餘裕ヲ見積リ入札締結擔任吏員ノ檢査ヲ請フヘシ
- 第二十七條 工所用諸材料檢査ニ於テ不合格ノモノアルトキハ取換ヲ命ス其ノ取換ノ爲メ要シタル日數ハ仍ホ準備期限ノ内トス
- 檢査不合格ノ物品ハ受負人ニ於テ直ニ其工場ヨリ搬去スヘシ尙ホ檢査員ニ於テ必要ト認メタルトキハ一定ノ距離ヲ指示シテ之ヲ搬去セシムヘシ
- 第二十八條 工所用諸材料ハ檢査齊合格ノモノニアラサレハ使用スルコトヲ得ス
- 第二十九條 工所施行ニ要スル假堰、小屋、足代、讀器具、讀器械ハ受負人自辨タルヘシ
- 第三十條 工施行中受負人又ハ代理人ハ必ス日日工場ヘ出頭シ監督者及工事擔任者ノ指揮監督ヲ受ケ其ノ工事ニ關スル一切ノ事ヲ辨ス可シ
- 前項ノ代理人ハ豫メ之ヲ定メ當該官衙、學校、病院ノ認可ヲ受クヘシ
- 第三十一條 工事ニ使役スル職工人夫ニシテ不都合ノ行爲アリタフトキ若クハ不都合ノ者アルコトヲ發見シタルトキハ監督者ハ直ニ其ノ使役ヲ禁スルコトアルヘシ
- 第三十二條 工事ニ從事スル職工人夫ノ執業時間(休息食事)ハ左ノ如ク之ヲ定ム但監督者ニ於テ必要ト認メタルトキ又ハ監督者ノ許可ヲ受ケタルトキハ之ヲ伸縮スルコトヲ得

四月乃至六月
七月、八月

午前六時ヨリ午後六時迄
ノ間ニ於テ十時以上
午前四時半ヨリ午後七時
迄ノ間ニ於テ十時以上

九月、十月

十一月乃至一月

二月、三月

午前六時ヨリ午後五時迄
ノ間ニ於テ十時間以上
午前六時半ヨリ午後四時半
迄ノ間ニ於テ九時間以上
午前六時ヨリ午後五時迄
ノ間ニ於テ十時間以上

受負人ニ於テ前項規定ノ時間内ニ於テ執業、休憩、食事ノ時限ヲ定メタルトキハ其ノ旨工事擔任者ヲ經テ監督者ニ届出ツヘシ急施ヲ要スル工事ニ於テハ第一項ノ時間ニ拘ラス夜業ヲ命スルコトアルヘシ

第三十三條 工事竣功期限ハ其ノ工事中天災事變其ノ他避ク可ラサル事故ニヨリタルノ外何等ノ事ヲ申立ツルモ其ノ延期ヲ許サス

第三十四條 工事竣功ノトキハ内外共一切掃除スヘシ

第三十五條 工事竣功ノ上ハ受負人ニ於テ其ノ出來形帳ヲ製シ工事擔任者ヲ經テ契約締結擔任吏員ニ届出ツヘシ

第三十六條 受負人ニ於テ出來形検査終了ノ後工費ヲ請求スルトキハ工事擔任者契約締結擔任吏員ヲ經テ知事ニ差出スヘシ

第三十七條 工事施行中ハ渾テ監督者及工事擔任者ノ指揮命令ニ従フヘシ

第三十八條 本心得ニ規定セサル事項ト雖契約締結擔任吏員又ハ係員若ハ監督者及工事擔任者ニ於テ必要ヲ認メタルモノハ特ニ命令スルコトアルヘシ

第三十九條 工事又ハ物件ノ種類ニ從ヒ特ニ心得シムヘキモノアルトキハ入札ノ時々之ヲ入札場所ニ揭示スヘシ

○石川縣告示甲第十六號

本縣々有輕便レール貸下規程左ノ通相定メ明治三十年四月一日ヨリ施行ス

明治三十年四月一日

石川縣知事 古澤

滋

輕便レール貸下規程

第一條 輕便レールハ縣稅又ハ市町村稅若クハ公共組合費ノ支辨ニ係ル工事受負人ニ限リ左ノ各項ニ依リ之ヲ貸下クルモノトス

一 縣稅又ハ市町村稅若クハ公共組合費支辨ノ工事受負人ニシテ同時ニ貳人以上貸下ヲ願出タルトキハ縣稅支辨ノ工事受負人ニ貸下クヘシ

二 縣稅支辨ノ工事受負人ニシテ同時ニ貳人以上貸下ヲ願出タルトキハ其ノ貸下使用料ヲ願人ノ競争入札ニ付シ既定貸下料以上最高ノモノニ許可ス

三 市町村稅又ハ公共組合費支辨ノ受負人ニシテ同時ニ貳人以上貸下ヲ願出タルトキハ前項ニ依ル

四 本規定ニ依リタル借受人ハ既定ノ貸下使用料ヲ納ム可シ

五 貸下願出ハ先ノ貸下タル時ヨリ次ノ貸下ヲ爲ス迄ノ期間ハ前後ノ別ナク同時ノ願出ト見做ス

第二條 貸下タル輕便レールノ運搬賃ハ借受人ノ負擔トス

第三條 貸下タル輕便レールハ轉賃スルヲ許サス

第四條 貸下ヲ許可シタル後ト雖臨時返納ヲ命スルコトアルヘシ

第五條 貸下タル輕便レールノ納付場所ハ其ノ借受人使用地ヨリ本縣廳迄ノ里程ヲ超エサル範圍内ニ於テ之ヲ指定スルモノトス

第六條 市町村稅又ハ公共組合費支辨ノ工事受負人ニ於テ貸下ノ許可ヲ得タルトキハ其ノ擔保ト

シテ借受日數ニ一日分ノ使用料ヲ乘シタル金額ヲ納ムヘシ擔保金ハ本縣金庫又ハ支金庫ニ預入
レ其ノ預入証書ヲ以テ納ムルモノトス若シ其ノ國債証書又ハ本縣債券ヲ以テ之ニ充ツルモノハ
其ノ時價ニ依ルヘシ

第七條 借受人ハ本規程ノ各條ニ依リ擔保金契約等ヲ完結スルニアラサレハ現品ノ引渡ヲ請フコ
トヲ得ス

第八條 貸借契約書式左ノ如シ

輕便レール借用契約書式 (印紙貼用)

輕便レール

何 哩

但屬品別紙調書ノ通

- 一 何々工事受負ノ爲メ輕便レールノ貸下ヲ許可セラレタルニ就キ何年月日ヨリ何年月日迄借用
シ何年月日迄ニ指定セラレタル場所ニ運搬シテ返納スヘシ但運搬賃ハ總テ自辨トス
- 一 貸下セラレタル輕便レールハ使用日限中ハ其ノ使ノ用ノ有無ニ拘ラス一日壹哩(附屬品共)ニ付金
四圓宛ノ使用料ヲ上納スヘシ
- 一 貸下セラレタル輕便レールハ他人ニ使用セシメス若シ其ノ使用セシメタル事實アルトキハ違
トシテ其ノ使用日數ニ應シ一日ニ付前項使用料ノ三倍宛ノ使用料ヲ徴収セラレ、モ異議ナ
ク上納シ尙ホ貸下ノ許可ヲ取消サル、モ決シテ苦情ヲ申立サル可シ
- 一 返納期限ニ至リタルトキハ指定セラレタル場所ニ於テ現品調書ニ照シ検査ヲ受クヘシ此ノ場
合ニ於テ若シ紛失ニ係ルモノニアラスシテ現品不揃ナルトキハ返納期日ヨリ現品取揃ニ至ル
迄ノ日數ハ使用期限中ニ算入シテ前項ノ使用料ヲ上納スヘシ
- 一 使用許可中ト雖臨時返納ヲ命セラレタルトキハ異議ナク命令ニ從フヘシ
- 一 返納ヲ命セラレタルトキ若シ其ノ期日ヲ違ヒ返納セザルトキハ縣廳ニ於テ之ヲ運搬セラレ其
ノ費用ヲ徴収セラレ、モ異議ナク之ヲ上納スヘシ
- 一 返納期限ニ至リ現品ヲ完納シタルトキハ三日以内ニ其使用料ヲ納付スヘシ
- 一 返納ノ節現品紛失又ハ毀損シタルトキハ指定セラレタル期間内ニ於テ辨償若クハ修補シ又ハ
修補料ヲ上納スヘシ
- 一 使用料又ハ辨償金若クハ運搬費等ノ上納ヲ怠リタルトキハ(縣稅支辨工事ノ契約保證金若ク
ハ其ノ工事費中)(輕便レール貸下ニ係ル擔保金)ヨリ差引カレ尙不足アルトキハ指定期日間
ニ之ヲ上納スヘシ
- 一 擔保金ハ現品完納及使用料上納済ノトキヲ以テ還付セラレヘシ
- 一 各項ノ契約若シ借用人ニ於テ違背シタルトキハ保證人ニ於テ異議ナク本人ニ代リ本契約ニ係
ル義務ヲ履行スヘシ

右契約違背セサル爲メ借用人及保證人連署候也

年 月 日

何縣郡市町村字番地
借用人 氏 名 印
同上
保證人 氏 名 印
同上
保證人 氏 名 印

石川縣知事宛

○石川縣告示甲第十七號

本縣縣會ノ議決ヲ經本縣窮民救濟金維持方法第五條ニ左ノ一項ヲ追加ス
救濟金ノ原資ハ水害復舊土木事業ノ爲メ縣ニ於テ借入金ヲ要スル場合ハ相當ノ利子ヲ以テ貸出
スコトヲ得

明治三十年四月一日

石川縣知事 古澤 滋

石川縣告示甲第十七號參照

救濟金維持方法

- 第一條 救濟金ハ政府恩賞及ヒ寄付者(前田家)出金ノ趣旨ニ基キ窮民救濟ノ原資ニ充ツルモノトス
- 第二條 救濟金ノ出納及ヒ窮民救濟ニ關スル事件ハ知事之レヲ管理ス
- 第三條 救濟金ヲ以テ救濟スヘキ窮民ハ管内ニ本籍ヲ有スルモノニシテ左ノ場合ニ適應スルモノニ限ル
 - 一 饑寒孤獨ニシテ窮民救濟規則ニ依ルチ得サルモノ
 - 一 諸般ノ災難ニ遭遇シ自ラ生計ヲ營ム能ハサルモノ
 - 一 廢疾篤疾ニアラサルモ病氣ノ爲メ生計ヲ爲ス能ハサルモノ
- 第四條 救濟ニ係ル經常費ハ救濟金ノ入額ヨリ之ヲ支辨シ其原資ハ消耗セテ漸次増殖ヲ計ルヘキモノトス
但救濟ニ係ル臨時費ハ其原資中ヨリ支辨スルコトアルヘシ
- 第五條 救濟金ノ原資、公債證書ニ交換シ又ハ預金局(預ケルカ或ハ相當ノ抵當ヲ以テ)國立銀行ヘ利子立預ケ金ト爲スヘシ
- 第六條 救濟金ノ收支計算ハ會計年度ニ依リ毎年通常縣會ニ之レヲ報告スルモノトス

○石川縣告示甲第十八號

府縣制第十六條ニ依リ本縣縣會ノ議決ヲ以テ縣參事會ヘ左ノ事項ヲ委任ス

- 一、水害復舊工事ニ屬スル經費繰越支出ヲ要スル場合ニ於テ歲入歲出豫算ヲ議決スル事
- 二、縣ノ特別經濟ニ屬スル積立又ハ歲入ヲ以テ水害復舊土木費ノ借入レニ應スルノ必要アル

場合ニ於テ其收支ヲ議決スル事

明治三十年四月一日

石川縣知事 古澤 滋

○石川縣告示甲第十九號

明治三十年三月石川縣令第二十七號害蟲驅除豫防規則第一條ノ害蟲驅除豫防方法左ノ通定ス

明治三十年四月一日

石川縣知事 古澤 滋

害蟲驅除豫防方法

- 一 螟蟲(ズイムシ、シムシ、サシムシ、稻)
 - 一、苗代及ヒ本田ニ於テ蛾ヲ點火誘殺スヘシ
 - 二、稻葉ニ産附シタル卵ヲ搜尋シテ葉ト共ニ摘除シ之ヲ燒棄ツヘシ
 - 三、枯稿セル莖及白穂ハ根元ヨリ切り取り燒キ棄ツヘシ
 - 四、苗代ニ於テ晝間潜伏ノ蛾ヲ捕殺スヘシ
 - 五、苗代ニ少量ノ油液其他藥品ヲ注キ苗間潜伏ノ蛾ヲ殺スヘシ
 - 六、被害ノ刈株ハ之ヲ堀リ上ケ燒キ棄ツルカ若ハ株切鉞ヲ以テ截斷スヘシ
 - 七、畦畔又ハ路傍ノ雜草ヲ燒拂フカ又ハ刈取リテ堆肥ノ内ヘ積ミ込ムヘシ
- 二 苞蟲(ツトムシ) 稻
- 一、手網ヲ以テ蝶(ハナセ、リ、及イチモチセ、リ)ヲ捕殺スヘシ
 - 二、稻葉ニ産附シタル卵及幼蟲ヲ一々拾潰スヘシ
 - 三、稻葉ヲ綯纏セルヲ認メナハ田面ニ油類ヲ注キ置キ適宜ノ器ヲ以テ稻葉ヲ梳リ驅殺スヘシ
 - 四、畦畔又ハ路傍ノ雜草ヲ燒拂フカ又ハ刈取リテ堆肥ノ内ニ積ミ込ムヘシ
- 三 葉捲蟲(ハマキムシ、ツ、ミムシ、稻)

- 一、稻田ノ傍ニ點火シ蛾ヲ誘殺スヘシ
- 二、少量ノ鯨油若クハ石油ヲ稻田ニ注キ陷殺シテ浮游セル蟲ヲ驅除スヘシ
- 三、爪又ハ手網ヲ以テ水中ニ潛伏セル蟲ヲ捕殺スヘシ
- 四、浮塵子コメカミシ、ウシカ 稻
- 一、田ニ水ヲ湛ヘ油類ヲ一面ニ浮ハシメ小笹及箒類ニ浸掃落シ驅除スヘシ
- 二、夜間點火誘殺スヘシ
- 三、路畔ノ雜草、雜木等ヲ刈取り又ハ焚棄テ空氣ヲ流通ヲ宜シクスヘシ
- 五、魚鱗イナゴ
- 一、卵ヲ搜尋蒐集シテ之ヲ潰殺スヘシ
- 二、未ダ翅ヲ生セサルトキハ或方面ニ溝ヲ穿テ其中ニ追込ミテ捕獲スヘシ
- 三、早朝手網ヲ以テ掬ヒ若クハ網ヲ張り其中ニ追込ミテ捕獲スヘシ
- 六、椿象ガムシ 稻
- 一、冬期又ハ春期此蟲ノ發生セル近傍ノ畦畔山頂山麓ヲ問ハス草根、樹根岩石ノ下ニ蟄伏セルモノヲ捕獲スヘシ
- 二、草朝稻葉ノ未ダ乾カサルニ乘シ手網ヲ以テ之ヲ捕殺スヘシ
- 七、天牛カミキリムシ 桑
- 一、仔蟲(ハリガチムシ)ノ樹心ニ蝨入リタルモノハ鋼線ヲ挿入シ之ヲ殺シカ又ハ蝨孔ニ油類ヲ注キ粘土ヲ以テ其孔ヲ塞クヘシ
- 二、手網ヲ以テ甲蟲ヲ捕殺スヘシ
- 八、蠅アオムシ 煙草

一、萌芽ノ際葉裏ノ卵ヲ搜尋シテ之ヲ捨殺スヘシ
 二、早朝幼蟲ヲ搜尋驅殺スヘシ

○石川縣告示甲第二十號

明治二十六年四月石川縣告示甲第一號巡查駐在所位置中石川郡御手洗村字相川新トアルヲ全郡全村字徳光ト改ム

明治三十年四月一日

石川縣知事 古澤 滋

○石川縣告示甲第二十一號

本縣下能美郡ニ於ケル鑄鏡水門水害豫防組合ヲ廢止ス

明治三十年四月十三日

石川縣知事 古澤 滋

○石川縣告示甲第二十二號

本縣鳳至郡櫛比村外五ヶ村學校組合役場ハ櫛比村役場内ニ設置ス

明治三十年四月十三日

石川縣知事 古澤 滋

○石川縣告示甲第二十三號

町村制第四條二項ニ依リ縣下石川郡參事會ニ於テ同郡御手洗村字村井新ノ内小字ソノ部レノ部一
 二番三番、四番、五番、六番、八番ヲ除ク、タノ部百四十一番及之ニ接續スル濱地ヲ出城村字竹松ヘ編入シ通稱濱道ヲ以テ
 兩村ノ境界トスルコトニ議決セリ

明治三十年四月二十日

石川縣知事 古澤 滋

○石川縣告示甲第二十四號

本縣蠶糸業取締所規約中蠶種製造並ニ販賣鑑札下渡願ハ自今其郡市蠶糸業組合ヲ經由スヘキコト
 ニ改ムル件ニ對シ認可ヲ與ヘタリ

明治三十年四月二十三日

石川縣知事 古澤 滋

○石川縣告示甲第二十五號

本縣石川郡山島用水普通水利組合區域中館畑村字大竹外三ヶ所ニ係ル反別左記ノ通變更之義組合會之決議ニ依リ管理者ノ稟請ニ對シ認可ヲ與ヘタリ

石川郡館畑村字大竹

反別貳拾九町八反壹畝貳拾五步

全 郡山島村字安吉

反別六拾五町壹反壹畝八步

全 郡御手洗村字德光

反別百貳拾七町五反九畝拾三步

全 郡一木村字村井反別百參拾七町三反五畝拾九步

明治三十年四月二十三日

石川縣知事 古澤 滋

○石川縣告示甲第二十六號

明治三十年三月本縣告示甲第十號工事競争入札規則第三條ノ競争入札ニ加ハラントスル者ニシテ警察署長若クハ分署長ノ証明ヲ受ケントスルトキハ其ノ開札期日ノ一日前迄ニ願出ツ可シ若シ此ノ期日ヲ後ル、トキハ証明ヲ與ヘサル可シ

明治三十年四月二十七日

石川縣知事 古澤 滋

○石川縣告示甲第二十七號

本縣能美郡西川惡水普通水利組合區域反別左記ノ通り變更ノ義組合會ノ決議ニ據リ管理者ノ稟請ニ對シ認可ヲ與ヘタリ

明治三十年四月二十七日

石川縣知事 古澤 滋

能美郡福江村字中ノ庄ノ内

反別壹町四反七畝六步

全 郡全村字福岡ノ内

反別貳拾參町六反六畝拾八步

全 郡全村字野ノ内

反別拾參町步

全 郡江ノ島村字重任ノ内

反別六町壹反參畝拾六步

全 郡全村字印内ノ内

反別四町步

全 郡全村字濁池ノ内

反別貳町八反貳畝七步

全 郡全村字福島ノ内

反別七拾五町七反貳拾四步

全 郡吉田村字吉原ノ内

反別貳拾町參反步

全 郡湊村ノ内

反別拾貳町四反貳拾貳步

全 郡釜屋村字吉原釜屋ノ内

反別四町六反貳畝貳拾貳步

○石川縣告示第二十八號

府縣制第八十九條第三項ニ依リ明治二十八年^{十二月}石川縣告示甲第三十五號金澤病院常設委員任期及選舉方法ハ之ヲ廢止ス

明治三十年五月十八日

石川縣知事 古澤 滋

○石川縣告示甲第二十九號

府縣制第八十九條第三項ニ依リ明治二十八年^{十二月}石川縣告示甲第三十六號土木事務ニ關スル常設委員任期及選舉方法ハ之ヲ廢止ス

明治三十年五月十八日

石川縣知事 古澤 滋

○石川縣告示甲第三十號

北海道國有未開地處分法第三條ニ依リ土地ノ貸付ヲ受ケントスル者ニシテ府縣知事ノ証明ヲ得タル者ニ對スル取扱方北海道廳令第二十四號ヲ以テ左記ノ通り發布セン旨全廳ヨリ通知アリタリ

明治三十年五月二十五日

石川縣知事 古澤 滋

北海道廳令第二十四號

北海道國有未開地處分法第三條ニ依リ土地ノ貸下ヲ受ケントスル者ニシテ府縣知事ノ證明ヲ得タル者ニ對シ特ニ左ノ取扱ヲ爲スコトアルヘシ

明治三十年四月二十三日

北海道廳長官 原 保太郎

- 一 他ノ出願者ニ先チ土地ノ貸下ヲ爲ス事
- 二 但シ同一ノ者二人以上アルトキハ出願ノ先後ニ依ル
- 三 二十戸以上團結シテ二年以内ヲ以テ移住セントスル者ハ其移住ヲ完了スル迄未移住者ニ貸付地ヲ豫定存置スル事
- 四 但シ豫定存置期間二年ナルトキハ初年ニ總戸數ノ二分一以上三年ナルトキハ初二年ニ總戸數ノ三分一以上宛移住スル者ニ限ル
- 五 二十万坪以上ヲ以テ自作農ヲ爲ス者又ハ前號ノ移住者若クハ前號ト同一ノ配當ヲ以テ二十戸以上ノ小作人ヲ移住セシメントスル者ハ貸付停止中ノ土地ト雖モ貸付地ヲ豫定存置スル事
- 六 二號三號ノ移住期限又ハ二十万坪以上ヲ以テ自作農ヲ爲ス者ノ起業方法ハ特ニ變更セシムルコトアルヘシ

○石川縣告示甲第三十一號

今般北海道廳ニ於テ全廳令第二十五號ヲ以テ北海道國有未開地處分法施行規程左記之通り發布セシ旨全廳ヨリ通知アリタリ

明治三十年五月二十五日

石川縣知事 古澤 滋

北海道廳令第二十五號

北海道國有未開地處分法施行規程左ノ通定ム

明治三十年四月二十五日

北海道廳長官 原 保太郎

北海道國有未開地處分法施行規程

- 第一條 處分法第三條ニ依リ貸付スヘキ土地ハ區畫ヲ施設シ告示スヘシ
- 第二條 前項區畫外ノ土地ト雖モ特ニ區域ヲ指定シテ貸付スルコトアルヘシ
- 第三條 左ニ掲記シタル土地ハ前條ニ拘ラス貸付スルコトアルヘシ
 - 一 宅地又ハ牧畜ニ供セントスル土地
 - 二 沿海ノ土地
 - 三 接續地主ニ於テ要スベキ土地
- 第四條 處分法第三條ニ依リ土地ノ貸付ヲ受ントスル者ハ第一號書式ノ願書ニ起業方法書圖面及戶籍證明書ヲ添へ北海道廳長官ニ差出スヘシ
- 第五條 但シ財產調書ヲ徵スルコトアルヘシ
- 第六條 處分法第四條第六條第七條第八條ニ依リ土地ノ賣拂付與貸付若クハ交換ヲ受ントスルトキハ第二號書式ノ願書ニ圖面ヲ添へ北海道廳長官ニ差出スヘシ
- 第七條 處分法第十五條ノ許可ヲ得ントスルトキハ當事者連署ノ上願書ヲ北海道廳長官ニ差出スヘシ
- 第八條 貸付中ノ土地ヲ返還セントスルトキハ第三號書式ノ願書ニ圖面ヲ添へ北海道廳長官ニ差出スヘシ
- 第九條 但シ督手以前ニ於テ全地ノ返還ヲ爲ントスルトキハ届出ヘシ
- 第十條 土地ノ貸付ヲ受タル者ニシテ死亡又ハ失踪シタルトキハ其家督相續者若クハ管理者ヨリ戶籍證明書ヲ添へ北海道廳長官ニ届出ヘシ
- 第十一條 處分法第三條ニ依リ貸付シタル土地ノ付與ヲ受ントスルトキハ第四號書式ノ願書ニ圖面

ヲ添へ北海道廳長官ニ差出スヘシ

但シ區畫地ニシテ異動ヲ生セサルモノハ圖面ヲ要セス

第九條 處分法第三條第三項ニ依リ付與スル場合ハ左ノ標準ニ依ル

貸付地三万未満

一回

全 十万坪未満

二回

全 十万坪以上

三回

第十條 處分法第三條ニ依ル貸付地ノ貸付期間ハ左ノ標準ニ依ル

五千坪未満

三年以内

一万五千坪未満

五年以内

三万坪未満

六年以内

六万坪未満

八年以内

十万坪未満

九年以内

十万坪以上

十年以内

、處分法第九條第二項ニ依リ特別ノ期限ヲ以テ貸付スルノ必要アリト認ムル場合ハ前項ノ限ニアラス

第十一條 開墾ヲ目的トスル貸付地ニ於テ風防風致又ハ薪炭用等トシテ其積地ノ十分一以内ヲ存置スルコトヲ得

第十二條 處分法第五條ニ依リ競争買拂ヲ爲ントスルトキハ少クモ十五日以前ヨリ公告ヲ爲スヘシ

第十三條 土地ノ買拂付與貸付交換ノ處分其他其土地調査ニ關シ現場ニ當事者ノ立會ヲ要スル爲

メ當該官吏ヨリ通知ヲ爲シタルトキハ當事者ハ之ニ立會スヘシ

第十四條 土地ノ賣拂付與貸付交換ヲ受ントスル者ニシテ前條ノ通知ヲ受タルトキハ立會前ニ於テ其土地ノ境界ニ假標ヲ建設スヘシ

但シ第一條ニ依ル區畫地ハ此限ニアラス

處分法第十條ニ依リ点檢ノ際ハ其成功區域ニ標木ヲ建設スヘシ

前二項ノ標木ハ其土地ノ賣拂付與貸付交換ノ處分ヲ了ル迄存置スヘシ

第十五條 土地ノ賣拂付與貸付交換ノ許可ヲ受タル者ハ許可書受領ノ日ヨリ三十日以内ニ第五號

様式ニ依リ土地ノ境界ニ標木ヲ建設スヘシ

積雪ノ爲前項ノ期限内ニ標木ヲ建設スルコト能ハサルトキハ期間ヲ定メ願出許可ヲ受ヘシ

第十六條 前條ノ標木ハ左ノ期限内存置シ毀損亡失シタルトキハ更ニ建設スヘシ

一 貸付地ハ貸付期間内

二 賣拂付與交換地ハ十箇年

第十七條 土地ノ賣拂付與貸付交換其他ノ處分ニ際シ隣接地ノ境界調査ヲ要スル爲當該官吏ヨリ隣接地ノ所有者又ハ借地人ニ現場立會ノ通知ヲ爲シタルトキハ其所有者又ハ借地人ハ之ニ立會スヘシ

第十八條 第十三條第十七條ノ場合ニ於テ立會ヲナサハル爲生スル拒害ハ官廳ニ於テ其責ニ任セス

第十九條 處分法第十條第一項ニ依リ貸付地ヲ返還セシムル場合ニ於テ主タル事業ヲ成功セスシ

テ之ニ附随スル道路堤塘濠渠建造物等ノミヲ設備シ又ハ其地點檢後ニ於テ成功シタル土地ハ未

成功トシテ之ヲ處分ス

第二十條 處分法第三條ニ依ル貸付地ニシテ當初點檢ヲ爲シタルモノト雖モ其地付與ニ際シ荒廢ニ屬シタルトキハ其部分ハ未成功トシテ之ヲ處分ス

第二十一條 處分法ニ於ケル貸付其他ノ期間起算方ハ左ノ如シ

一 處分法第三條ニ依ル貸付地ノ期間ハ許可ノ翌年ヨリ起算ス

二 處分法第四條及第七條ニ依ル貸付地ノ期間ハ許可ノ翌月ヨリ起算ス

三 處分法第十二條ノ期間ハ賣拂付與貸付ノ處分ヲ爲シタル翌日ヨリ起算ス

第二十二條 處分法第三條ニ依ル貸付地ノ成功程度ハ一年ヲ以テ一期トシテ配當スルモノトス但シ特ニ其期間ヲ伸縮スルコトアルヘシ

第二十三條 左ノ場合ニハ其出願ヲ無効トス

一 土地ノ賣拂付與貸付交換ノ處分ニ際シ第十三條第十四條第一項ニ違背シタルトキ

二 土地ノ賣拂付與貸付交換ニ際シ本人若クハ代人ノ所在不詳ニシテ六十日ヲ過ルモ尙ホ許可書ヲ下付スルニ由ナキトキ

三 願書ノ訂正ヲ命シタル後六十日ヲ過ルモ訂正願書ヲ差出サ、ルトキ

第二十四條 第三條第一項書式ノ願書ニ既ニ貸付ヲ受タル土地ヲ掲記セスシテ貸付ノ許可ヲ得タルモノアルトキハ其許可ノ處分ヲ取消スコトアルヘシ

第二十五條 土地ノ賣拂付與貸付交換出願ノ者若クハ土地ノ貸付ヲ受タル者ニシテ地元區役所若クハ戸長役場部内ニ居住セサルトキハ其部内ノ居住者ヲ以テ代人ニ定メ所屬郡區役所若クハ殖民部殖民課派出所ニ届出ヘシ

第二十六條 處分法第十條第十一條ニ依リ土地ノ返還ヲ命シ又ハ同法第十二條ニ依リ賣拂付與貸付ノ取消ヲ爲シタルトキ本人若クハ代人ノ所在不詳ニシテ六十日ヲ過ルモ尙ホ命令書ヲ下付スルニ由ナキ者ハ其返還又ハ取消ヲ命シ了リタルモノトス

第二十七條 貸付地ノ貸付期間ハ其目的及方法ノ變更ヲ爲ス場合ト雖モ伸長スルコトヲ得ス但シ其貸付期間第十條ノ標準迄ニ達セサル者ニ限り特ニ其標準迄伸長ヲ許可スルコトアルヘシ

第二十八條 處分法第十一條ノ評定價格及同法第十三條ノ樹木代價ハ北海道廳長官又ハ所轄郡區長ノ評定シタル評價委員ノ評定ニ依ル

同法第十一條ノ直接費用ヲ辨償スルニ際シ本人ノ中立ヲ不當ト認ムルトキハ前項評價委員ノ評定ニ依ル

第二十九條 處分法第十五條第三ニ依リ擔保又ハ賣買讓與スルヲ得ル場合ハ左ノ如シ

一 相續又ハ分家シタルトキ

二 天災其他避クヘカラサル原因ニ基ク故障アルトキ

三 轉居轉業又ハ疾病ニ依リ當初ノ目的ヲ達シ難キトキ

四 貸付期間内全地成功シタルトキ

第三十條 本則ニ依ル願届ハ出願地所屬ノ郡區役所若クハ殖民部殖民課派出所經由差出スヘシ但シ特別ノ規定ヲ爲シタルトキハ此限ニアラス

第三十一條 左ニ掲ル事項ニ該當スル者ハ三日以上十日以下ノ拘留ニ處シ又ハ一圓以上一圓九五錢以下ノ科料ニ處ス

一 土地ノ賣拂付與貸付交換ヲ受ケタル者ニシテ第十三條ニ違背シタル者

二 第十四條第二項第十五條第十六條第十七條ニ違背シタル者

三 第十四條第十五條ノ標木ヲ移轉又ハ撤去毀損シタル者若クハ境界ヲ變更シテ其標木ヲ建

設シタル者

第一號書式ノ一

未開地貸付願

何國何郡何村字何々番地(又ハ何原野何線何番地)

一未開地

何坪

何目的

外

貸付地何坪内成功地何坪
未成功地何坪

但シ何年何月何日何國何郡何町村何番地ニ於テ何目的ヲ以テ貸付ヲ受ケ何年何月迄成功ノ豫定

貸付出願地何坪

但シ何年何月何日何國何郡何町村何番地ニ於テ何目的ヲ貸付出願中

土地貸付ノ許可ヲ得タルモノ又ハ土地貸付出願中ノモノナシ

右北海道國有未開地處分法第三條ニ依リ貸付相成度處分法施行規程ヲ遵守シ別紙起業方法書圖面及戶籍證明書相添ヘ此段奉願候也

何府縣北海道何國何郡何町村何番地

當時何府縣北海道何國何郡何町村何番地寄留

年 月 日

何 某 印

(代理ヲ以テ出願スル者ハ委任狀若クハ其勝手ヲ添ヘ後見人ヲ以テスル者ハ區戶長(町村長)ノ證明書ヲ添附スヘシ以下之ニ同シ)

北海道廳長官宛

注意

區畫地ノ出願ニハ圖面ヲ要セス

第一號書式ノ二

起業方法會

(耕地ノ例)

一 何國何郡何町村字何々番地(何原野何線何番地)

二 未開地

何坪内

道路敷地何坪
排水敷地何坪

別圖面ノ箇所

三 樹木ノ種類員數

何樹目通何本

(樹木ノ周圍三寸以下ナルトキハ種別ヲ要セス)草原地ニシテ樹木ナシ

四 目的地目

田畑又ハ何々

五 方法ノ要領

普通農具又ハ何々法ヲ用ヒ小作人何戸又ハ雇人何名ヲ以テ開墾シ新墾ハ何々ノ方法ヲ以テシ再墾ハ何々ノ方法ヲ以テ小作ハ一戸何坪ヲ配當シ何年何月迄全部ヲ移了ス云々等其要領ヲ明記スヘシ

六 小作人トノ契約

小作人トノ契約要領ヲ記スヘシ但シ別ニ契約書寫等ヲ添附スルモ妨ケナシ

七 事業配當程度

初年何坪田又ハ畑ニ開墾其費用何程

三百坪ニ對シ
何程ノ割

但シ家族何人雇人何名若クハ小作人何戸ヲ以テ開墾

建物何々

何棟何坪

此費用何程

右構造方法何々充用目的何々

道路

中何間
長何間

何坪

此費用何程

可開墾方法何々充用目的何々
灌溉水又ハ排水溝 幅何間 長何間 何坪 此費用何程

右同上 水ノ引用及排出ハ其設計ヲ
明記シ且ツ圖面ニ示スヘシ

二年以下者年ノ例ニ依ル
起業費合計何程
存置地 何坪
但シ何々目的樹木ノ種類員數何々

注意

- 一 小作ハ一戸ニ付實際ノ開墾地(道路排水等ヲ除ク)二万五千坪以内ノ割トナシ其地積ヲ五ヶ年以内ニ起業配當スヘシ
 - 二 小作ハ成功初年數ノ二分ヲ經過スル以前ニ其總數ヲ入レ了ルヘシ
 - 三 十坪未満ハ貸付期間ノ前半期ニ於テ該地積五分以上ヲ成功スヘシ
自作農法ヲ以テスルモノハ十坪以上ノ分ト同シ
 - 四 十坪以上ハ貸付期間ノ前半期ニ於テ該地積ノ四分以上ヲ成功スヘシ
 - 五 泥炭地其他ノ土地ニシテ特殊ノ起業ヲ要スルモノハ前各項ニ據ラサルコトヲ得
 - 六 特種ノ事業ニ係ルモノハ明細ナル起業設計書ヲ添付スヘシ
 - 七 第三第四第五第六ハ他ノ起業ニモ準用ス
 - 八 各書式ニ適例ナキ方法書ハ各書式ノ体ニ倣ヒ要領ヲ掲クヘシ
- 第一號書式ノ三
(宅地ノ例)

一、二、三、四、
第一號書式ノ
二ニ倣フヘシ

五 建物使用ノ目的
第二號書式ノ四

六 事業配當程度
初年 何坪成功
但シ何々
建物何々 何棟何坪
右構造方法何々
二年以下前年ノ例ニ依ル
起業費合計何程

第一號書式ノ四
(牧場ノ例)

一、二、三、四、
第一號書式ノ
二ニ倣フヘシ

五 方法ノ要領
乳牛屠牛種牛馬農用牛馬乘用馬等蕃殖ノ目的ヲ以テ放牧舍飼ヲ爲シ飼料ハ如何ナル方法ニ依リ供給スルカ又種畜ノ種類及其購入ノ地方等ヲ明記スヘシ

六 存置地 何坪
但シ何々目的樹木ノ種類員數等

七 事業配當程度
初年 何坪成功
但シ建物敷地又ハ牧草畑地等成功地ノ類別ヲ掲クヘシ

牧柵又ハ土壘 延長何間 此費用何程
 右仕様 何棟何坪 此費用何程
 建物何々 何棟何坪 此費用何程
 右仕様 何頭 此費用何程
 飼蓄 何頭 此費用何程
 右種類、購入地方、飼料供給ノ方法、蕃殖ノ見込數
 販賣畜類 何頭 此收入何程
 右種類販賣地方等
 牧夫其他使用人夫延人員何人員此費用何程
 右常雇又ハ臨時雇ノ區別及賃銀
 二年以下前年ノ例ニ依ル
 起業費合計何程

第一號書式ノ五

(植樹ノ例)

一、二、三、四、
 第二號書式ノ
 二ニ依フヘシ
 五 方法ノ要領
 全地悉皆何々方法ヲ以テ刈拂ヒ何々方法ヲ以テ植栽ス其苗木ハ何々ノ
 モノヲ用ヒ植付地刈拂手入補植ハ何々方法ヲ以テ何年間繼續シ新植樹
 ハ何年目ニ止ム

注意
 放牧場耕地建物敷地道路排水敷地等ノ位置ハ圖面ニ明記スルヲ要ス

六 事業配當程度

初年 何坪 此費用何程
 新植地何坪 刈拂費 何程
 植樹種類何々何本 植付費 何程
 右混植純植ヲ明記シ純植法ヲ以テ數種ノ植付ヲ爲ストキハ其坪數及本數ヲ掲記シ且ツ圖
 面ニ其區域ヲ示スヘシ
 二年 何坪 此費用何程
 新植地何坪 刈拂費 何程
 右植樹種類何々何本 植付費 何程
 補植及手入刈拂地何坪 此費用何程
 右補植種類何々何本 補植及手入刈拂費 何程
 三年以下前年ノ例ニ依ル
 起業費合計何程

注意

針葉樹ハ混植スルヲ得ス且ツ針葉樹ハ一坪ニ付三本闊葉樹ハ一坪一本ノ割ヲ以テ植樹ス
 ヘシ補植ハ前年植樹數ノ二割ヲ見込ニ貸付期限終了前少クモ二年以前ニ新植ヲ了スヘシ
 三寸以下樹木地又ハ柴地ナルトキハ第三ニ其樹木ノ重ナル種類及他日天然ニ成林スルノ
 見込アリヤ否ヲ明記スヘシ

第一號書式ノ六

(海産干場ノ例) 第一號書式ノ

一、二、三、四、
二ニ做フヘシ

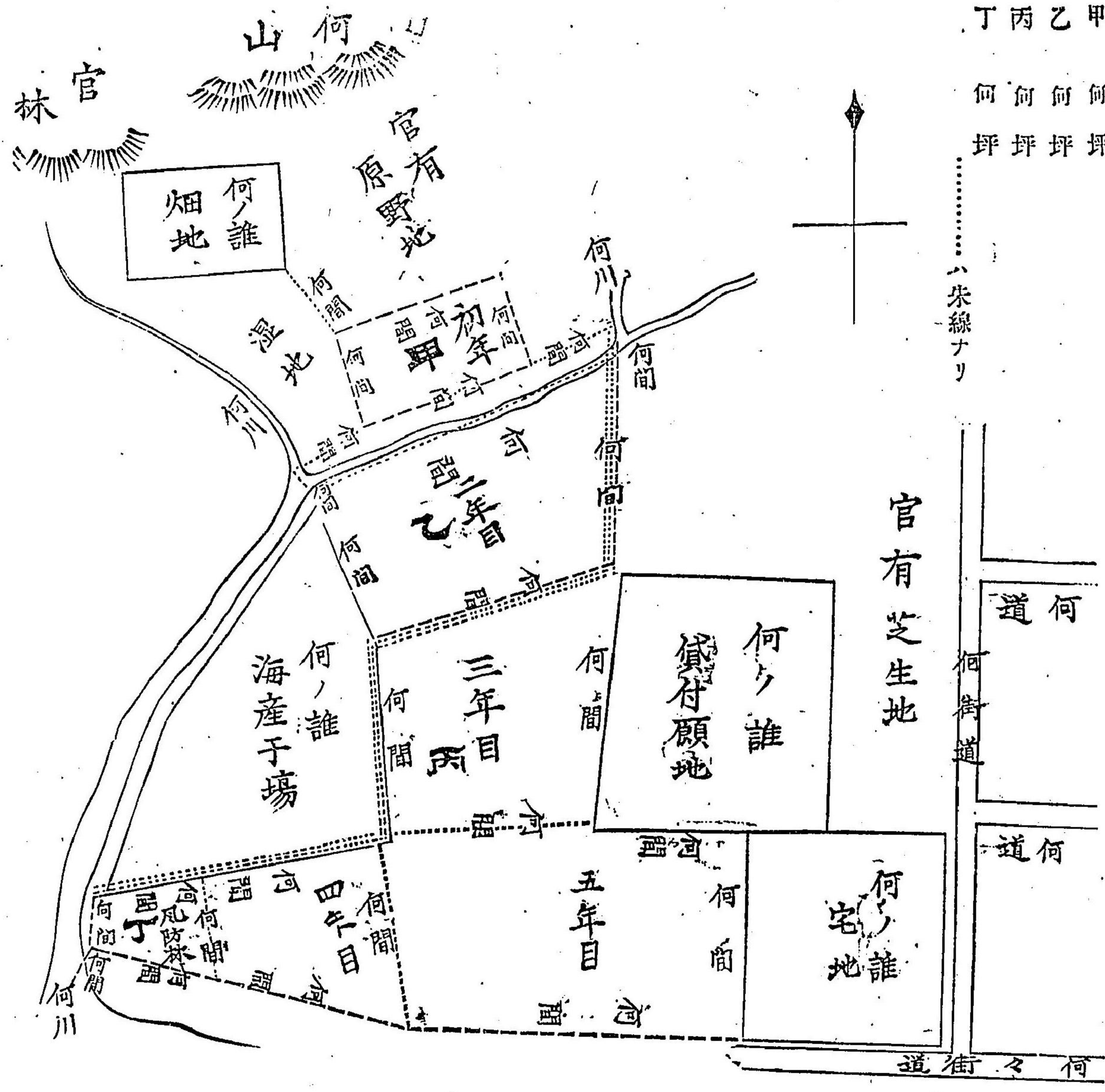
五 漁業許可ノ有無
何年月何日指令第何號ヲ以テ何業許可セラレタルモ未タ海産干場
ヲ所有セス又ハ何年月何日何々漁業出願中

六 方法ノ要領
何網何放何船何隻其他何々ヲ以テ漁業ニ從事シ干場ハ何々方法ヲ以テ
成功云々

七 事業配當程度
初年 何坪成功 此費用何程
但シ何々ヲ以テ全地成功 此費用何程
建物何々 何棟何坪 此費用何程
右構造方法何々充用ノ目的何々 此費用何程
何網何船 網何放 船何隻 此費用何程
二年以下前年ノ例ニ依ル
起業費合計何程
右ノ通相違無之候也
年 月 日 右願人 何 某 印

第一號書式ノ七
何國何郡何町村字何々番地(又ハ何原野何線何番地)
一未開地何坪

此 譯
甲 何 坪
乙 何 坪
丙 何 坪
丁 何 坪



注意

其點 道路河川ノ辻若クハ近接貸付地等ノ隅角 若シ之レナキトキハノ如キ移動ナキ箇所ニ「印」ヲ以テ
基點ヲ明カニスヘシ

盤線 前項基點ノ例ニ依リ一筆毎ニ二個所以上ヲ實測シ朱點ヲ施シ其間數ヲ記入スヘシ

區畫 敷年ニ配當シ開墾スルモノハ其區域ニ朱線ヲ引クヘシ風防薪炭用地區域モ亦同シ

除地 道路河川及溝渠ヲ挾ムトキハ各筆例ハ甲ニスヘシ
敷地 新ニ道路及用悪水路ヲ設ルモノハ其箇所ニ二條ノ朱點ノ施シ其延長間數及幅ヲ記入スヘシ
右ノ外四至景ヲ詳記スヘシ

第二號書式ノ一

未開地賣拂(付與)(貸付)願

一 何國何郡何町村字何々番地(又ハ何原野何線何番地)

二 未開地何坪

三 樹木種類員數

四 目的方法

五 貸付期間

六 見込價格

右北海道國有未開地處分法第何條ニ依リ相當代金(又ハ無償)ヲ以テ賣拂(付與)(貸付)相成度處分
法施行規程ヲ遵守シ圖面相添ヘ此段奉願候也

(理由ノ記載ヲ要スルモノハ之ヲ詳ニスヘシ)

年 月 日

何府縣北海道何國何郡何町村何番地

當時何府縣北海道何國何郡何町村何番地寄留

何 某 印

(有料貸付ナルトキハ保証人ヲ要ス)

北海道廳長官宛

注意

圖面ハ貸付ナルトキハ第一號書式ノ七ニ倣ヒ賣拂付與ナルトキハ第四號書式ノ三ニ倣フ
ヘシ

第二號書式ノ二

未開地交換願

何國何郡何町村字何々番地(又ハ何原野何線何番地)

一 未開地 何町何反何畝何歩

何國何郡何町村字何々番地(又ハ何原野何線何番地)

一 民有地 田又ハ何々何町何反何畝何歩

右北海道國有未開地處分法第何條ニ依リ何々ノ必要ニ仍リ交換致度候間處分法施行規程ヲ遵守シ別紙兩地ノ圖面及價格調書相添へ此段奉願候也

年 月 日

何府縣北海道何國何郡何町村何番地

當時何府縣北海道何國何郡何町村何番地寄留

何 某 印

注意

北海道廳長官宛

圖面ハ第四號書式ノ三ニ做フヘシ

第三號書式

貸付地返還願(届)

何國何郡何町村字何々番地(又ハ何原野何線何番地)

一 貸付地 何坪

但シ明治何年何月何日指令第何號ヲ以テ何々目的ニ貸付ノ分

二 伐採樹木ノ種類員數

第一號書式ノ二ニ做フヘシ
處分法第四條第七條ニ依リ無償貸付ヲ受ケタルモノニテ豫定ノ目的ニ使用シタルモノハ之ヲ要セス

三 土地ノ現狀

土石採掘其他貸付當時ノ形狀ヲ變更シタルトキハ之ヲ詳記シ且ツ圖面ニ示スヘシ

但シ届書ニハ前二項ノ記載ヲ要セス

右ノ土地北海道國有未開地處分法第何條ニ依リ貸付相成候處今般何々ノ事由有之返還致度就テハ伐採樹木代價其他御命令ニ依リ辨償可致候間御届相成度圖面相添へ此段奉願候也

(届書ニハ「就テハ」以下ヲ「尤モ本地ハ未々何等ノ着手不致候此段及御届候也」トスヘシ)

何府縣北海道何國何郡何町村何番地

當時何府縣北海道何國何郡何町村何番地寄留

何 某 印

注意

北海道廳長官宛

圖面ハ第一號書式ノ七ニ做フヘシ

第四號書式ノ一

未開地付與願

何國何郡何町村字何々番地(又ハ何原野何線何番地)

一 貸付地 何坪

但シ明治何年何月何日指令第何號貸付ノ分

右北海道國有未開地處分法第三條ニ依リ貸付相成候處今般起業方法ノ通成功致候ニ付御検査ノ上付與相成度此段奉願候也

年 月 日

何府縣北海道何國何郡何町村何番地

當時何府縣北海道何國何郡何町村何番地寄留
何 某 印

北海道廳長官宛
第四號書式ノ二

貸付地部分付與願

何國何郡何町村字何々番地(又ハ何原野何線何番地)

貸付許可地 何坪 明治何年何月何日指
令第何號貸付ノ分

一 付與出願地 何町何反何畝何歩

一 殘地 何坪

外

明治何年何月何日指令第何號ヲ以テ何程付與

右北海道國有未開地處分法第三條ニ依リ貸付相成候處今般成功ニ付御檢査ノ上付與相成度圖面相
添へ此段奉願候也

年 月 日

何府縣北海道何國何郡何町村何番地
當時何府縣北海道何國何郡何町村何番地寄留

何 某 印

北海道廳長官宛

第四號書式ノ三

何國何郡何町村字何々番地(又ハ何原野何線何番地)

貸付許可地 何坪

一 付與出願地 何町何反何畝何歩

一 畑 段別何反何畝何歩

甲(イ) 何拾何坪何合何夕

外畦畔反別何畝何歩

此ニ除何拾何坪何合何夕

外畦畔坪數何坪何合何夕

一 畑 段別何反何畝何歩

乙(イ) 何拾何坪何合何夕

此ニ除何拾何坪何合何夕

一 田 段別何反何畝何歩

外畦畔反別何畝何歩

用惡水路反別何畝何歩

丙(イ) 何拾何坪何合何夕

(ロ) 何拾何坪何合何夕

(ハ) 何拾何坪何合何夕

計 何百何拾何坪何合何夕

此ニ除何百何拾何坪何合何夕

外畦畔坪數何坪何合何夕

用惡水路坪數何坪何合何夕

一 森林(風防林)段別何段何畝何歩

丁(イ) 何百何拾何坪何合何夕

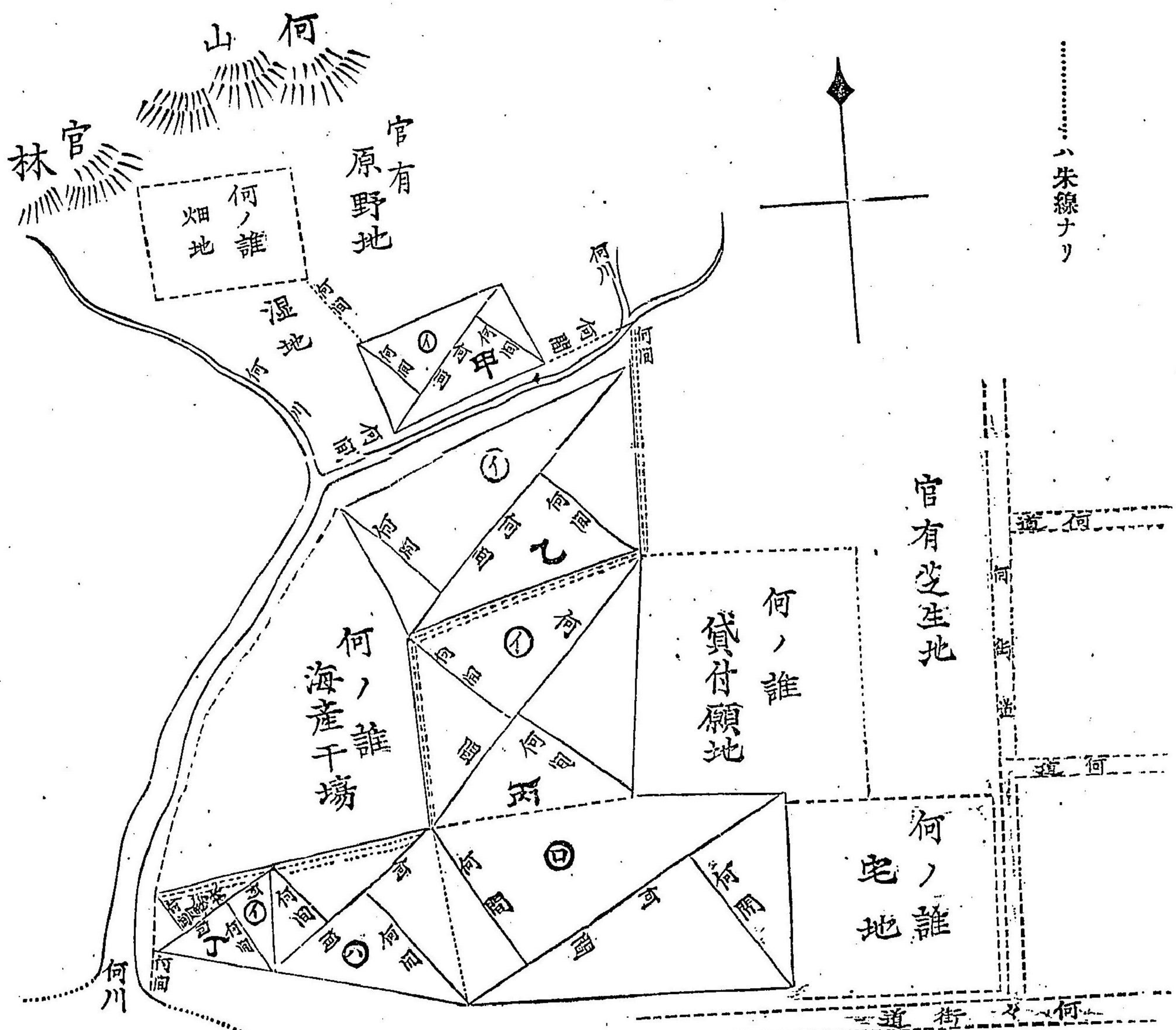
此ニ除何百何拾何坪何合何夕

合段別何町何反何畝何歩

外

畦畔反別何畝何歩

用惡水路反別何畝何歩



注意

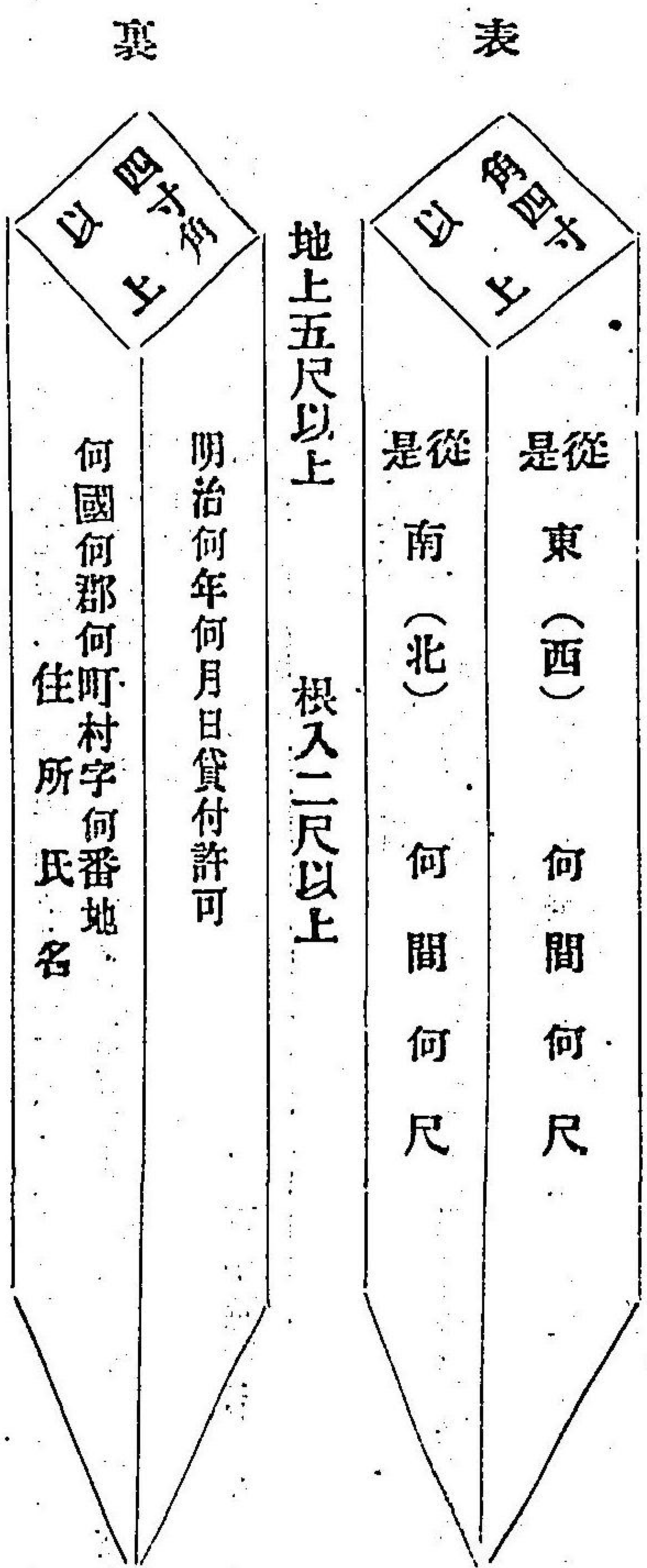
道路河川ノ辻若クハ近接貸付地等ノ隅角若シ之レナキトキハノ如キ移動ナキ箇所二個所以上ニ繫線ヲ施シ實測間數ヲ記入スヘシ丈量ハ
實地ニ於テ三斜ヲ施スヘシ

一 筆中成功地目ヲ異ニシ若クハ道路河川溝渠等ヲ挾ムトキハ分筆丈量シ式ノ如ク甲乙丙丁ノ付號ヲ附スヘシ
公共ノ用ニ供セサル新設道路ハ其墾成地積ニ筆入スヘキヲ以テ外書ヲ要セス

外書ヲ要スル田畑ノ畦畔及用惡水路等ハ之ヲ圖面ニ畫キ適宜ノ方法ヲ以テ丈量スヘシ
右ノ外四至ノ景況詳記スヘシ

第五號樣式

標木雜形



注意

基点ニ標木ヲ建設スルトキハ左ノ一項ヲ附記スヘシ何々ヲ基点トス

○石川縣告示甲第三十二號

本縣石川郡上金石町役場位置ヲ同町大字味階屋町ニ二塚村役場位置ヲ同村大字北笹塚ニ變更ス

明治三十年六月一日

石川縣知事 古澤 滋

○石川縣告示甲第三十三號

本縣江沼郡市ノ瀬用水普通水利組合區域中左記ノ通り反別變更ノ義組合會ノ決議ニ依リ管理者ヨ

リノ稟請ニ對シ認可ヲ與ヘタリ

●告示甲

石川縣知事 古澤 滋

明治三十年六月四日

江沼動橋村大字動橋ノ内

反別拾七町九反壹畝六步

全部全村大字八日市ノ内

反別九町五反參步

全部庄村大字庄ノ内

反別四拾四町九反六畝拾六步

○石川縣告示甲第三十四號

本年三月石川縣告示甲第十號工事競争入札規則第三條一項ニ左ノ但書ヲ追加ス

但他府縣人ニシテ本縣ニ現住セサルモノハ所轄郡市町村長又ハ相當官廳技師ノ証明ニ依リ競争入札ニ加フルコトヲ得

明治三十年六月五日

石川縣知事 古澤 滋

石川縣告示甲第三十四號參照

石川縣告示甲第十號(明治三十年三月十九日發布)抄録

第三條 競争入札ニ加ハラントスル者ハ二年以上其ノ工事ニ從事シタルモノニ限ル但所轄警察署長若クハ分署長ノ証明ヲ受テ

土木會社若クハ營業人ニシテ工學士ヲ使用シ居ル者ハ該工學士ヲシテ其ノ工事ヲ擔任セシムル場合ニ限り前項ノ年限ニ依リ

○石川縣告示甲第三十五號

明治二十六年四月本縣告示甲第一號巡查駐在所位置能美郡草深村字山田先出及山口村字出口ノ二

駐在所ヲ廢ス

明治三十年六月十一日

石川縣知事 古澤 滋

石川縣告示甲第三十五號參照

石川縣告示甲第二十九號(明治二十九年六月十六日發布)抄録

明治二十六年四月本縣告示甲第一號巡查駐在所位置能美郡ノ内粟生村ノ次ニ左ノ二ヶ所ヲ追加ス

草深村字山田先出

山口村字出口

○石川縣告示甲第三十六號

本縣石川郡ニ於テ左ノ區域ヲ畫シ大野庄用水普通水利組合ヲ設置シ同郡大野村長ヲシテ之ヲ管理セシム

明治三十年六月十五日

石川縣知事 古澤 滋

組合區域

石川郡

戸板村字長田ノ内

全村字二口ノ内

全村字淵上ノ内

全村字若宮ノ内

全村字大豆田ノ内

全村字二ノ屋ノ内

全村字若宮出ノ内

全村字南廣岡ノ内

反別拾五町三反四畝壹步

反別貳拾九町五反拾貳步

反別拾八町貳反四畝貳拾四步

反別參拾六町七反八畝拾步

反別拾壹町五反五畝步

反別八町五反六畝拾貳步

反別拾參町八反壹畝七步

反別參町七反壹畝貳步

全村字櫻田ノ内 反別拾九町九畝貳拾步
 全村字示野中ノ内 反別拾參町八反參畝四步
 全村字藥師堂ノ内 反別拾町五反三畝二十二步
 全村字示野ノ内 反別四十三町八反七畝二十七步
 全村字二口六町ノ内 反別五町五反壹畝貳拾貳步
 全村字北ノ内 反別貳拾貳町八反八畝貳拾步
 鞍月村字大友御供田ノ内 反別貳拾五町八反五畝貳拾六步
 全村字大友ノ内 反別拾九町八反七畝拾貳步
 全村字南新保ノ内 反別拾町壹反七畝貳拾九步
 全村字近岡ノ内 反別拾町八反參畝九步
 全村字戸水ノ内 反別八拾貳町五反貳畝貳拾四步
 大野村字藤江ノ内 反別六拾町七畝貳拾四步
 全村字畝田ノ内 反別百町貳反參步
 全村字觀音堂ノ内 反別拾六町六反八畝拾四步
 全村字普正寺ノ内 反別七町八反八畝八步
 全村字松ノ内 反別七拾七町四反壹畝拾貳步
 全村字寺中ノ内 反別參拾六町五反壹畝拾七步
 全村字無量寺ノ内 反別五拾參町六反八畝貳步
 上金石町ノ内 反別參拾六町八反八畝貳拾六步

○石川縣告示甲第三十七號

本縣羽咋郡堀松村外ニケ村道路組合役場ヲ同郡加茂村大字倉垣ニ同郡熊野村外ニケ村道路組合役場ヲ同郡熊野村大字豊后名ニ設置ス

明治三十年六月十八日

石川縣知事 古澤 滋

○石川縣告示甲第三十八號

明治三十年三月 石川縣告示甲第十號工事競争入札規則第二條ヘ左ノ但書ヲ追加ス
 但緊急ノ工事又ハ設計ノ稍小ナル工事ニ至テハ本文揭示日數ヲ減縮スルコトヲ得

明治三十年六月十八日

石川縣知事 古澤 滋

石川縣告示甲第三十八號參照

石川縣告示甲第十號(明治三十年三月十九日發布)抄錄

第二條 工事ヲ競争入札ニ付スルトキハ少ナクモ十五日以前ヨリ揭示又ハ官報縣公報新聞紙其他ノ方法ヲ以テ左ノ事項ヲ列記シ成ル可ク廣ク公告スヘシ

左ノ事項略ス

○石川縣告示甲第三十九號

本縣文官普通試驗科目左ノ通相定ム

明治三十年六月二十九日

石川縣知事 古澤 滋

石川縣文官普通試驗科目

本縣文官普通試驗ハ左ニ列記セル科目ニ就キ本縣ノ須要ニ從ヒ六科目以上ヲ選定シテ之ヲ行フモノトス

- 一 讀書 國語 漢文
- 一 作文 漢字交リ文 往復文

- 一 筆寫 楷行草ノ三体及細字速寫
 - 一 數學 算術珠算 代數 幾何 三角法
 - 一 地理 本邦地理 外國地理
 - 一 歷史 本邦歷史 外國歷史
 - 一 博物 生理 動物 植物 礦物ノ大意
 - 一 理化學 一 圖畫 自在書法 用器書法
 - 一 簿記 官廳簿記
 - 一 憲法及行政法大意
 - 一 刑法及刑事訴訟法大意
 - 一 民法、商法及民事訴訟法大意
 - 一 外國語
- 憲法及行政法、刑法及刑事訴訟法、民法、商法及民事訴訟法ハ豫メ試問ノ範圍ヲ指定スルコトアルヘシ

○石川縣告示甲第四十號
 本縣文官普通試驗細則左ノ通相定ム

明治三十年六月二十九日

石川縣知事 古澤 滋

石川縣文官普通試驗細則

第一條 本縣ニ於テ行フ文官普通試驗ノ科目、期日、場所及出願期日等ハ試驗期日三週日前ニ普通試驗委員長官報、縣報及地方新聞紙ヲ以テ之ヲ公告ス

第二條 試驗ヲ受ケント欲スル者ハ書式ニ照シ試驗願書ニ履歷書並市町村長ノ證明書ヲ添ヘ指定シタル期日マテニ之ヲ普通試驗委員長ニ差出スヘシ

第三條 試驗手数料ハ登記印紙ヲ用非試驗願書ニ貼付スヘシ但試驗ヲ受ケサルコトアルモ之ヲ還付セス

第四條 試驗願書及履歷書ハ出願ノ取消ヲ求ムルコトアルモ之ヲ還付セス

第五條 普通試驗委員長ハ受験人名簿ヲ編製シ各受験人ノ番號ヲ定メテ之ニ記入シ其番號及試験ノ時日ヲ豫メ各受験人ニ通知スルモノトス

第六條 本試験ヲ分チテ筆記試験及口述試験トス
 筆記試験ハ各科目ニ就キテ之ヲ行ヒ口述試験ハ普通試驗委員ニ於テ特ニ選定シタル科目ニ就テノミ之ヲ行フ

第七條 口述試験ハ筆記試験ニ及第シタル者ニ限リ之ヲ行フモノトス
 第七條 筆記試験ハ受験人總員ヲ一室若クハ數室ニ入場セシメ普通試驗委員二人以上監視シ指定ノ期限内ニ答案ヲ出サシム

第八條 答案ハ楷書又ハ行書ニテ明瞭ニ記載シ豫定ノ番號ヲ附記スヘシ其姓名ヲ掲クヘカヘス

第九條 口述試験ハ普通試驗委員長並ニ普通試驗委員二名以上列席シ受験人一人毎ニ之ヲ行フ
 第九條 凡テ試験ハ受験人ノ言語動作ノ適正ナルヤ否ヤ答案ヲ筆記及口述スルニ確實敏捷ナルヤ否ヲ併セテ考察スルモノトス

第十條 受験人多クシテ同日ニ試験ヲ施行スル能ハサルトキハ普通試驗委員ニ於テ別ニ問題ヲ選
 第十條 期日ヲ異ニシテ試験ヲ行フコトアルヘシ

第十一條 受験人ハ試験期日ノ二日前迄ニ參着シ其宿所ヲ普通試驗委員長ニ届出ツヘシ

第十二條 試験室ハ定刻十分前ニ開キテ受験人ヲ入ラシメ定刻ニ於テ閉鎖ス

第十三條 受験人ハ試験定刻三十分前マテニ受験人控所ニ参集スヘシ

第十四條 受験人ハ試験室内ニ在テハ静肅ヲ旨トシ互ニ言語ヲ交フヘカラス

第十五條 受験人ハ試験問題ニ就キ質問スルコトヲ得ス

第十六條 受験人ハ書類其他受験ノ材料ト爲ルヘキモノヲ携帯シテ試験室内ニ入ルコトヲ得ス

第十七條 受験人ハ普通試験委員ノ許可ヲ得シテ試験室ヲ退出スルコトヲ得ス

第十八條 受験人ハ必ス洋服又ハ袴ヲ着用スヘシ

第十九條 受験人試験期日ニ出席セス又ハ試験半途ニシテ退室シタルトキハ其期ノ試験ヲ受クルコトヲ得ス

第二十條 試験問題ノ個數試験ノ時間及各科目ノ擔任ハ普通試験委員長之ヲ定ム

第二十一條 試験問題ハ各科擔任ノ普通試験委員之ヲ定メ試験ノ三日前ニ普通試験委員長ニ差出スヘシ

第二十二條 普通試験委員ハ試験了リタル後三日以内ニ試験成績ノ報告及答案等ヲ取纏メ之ヲ普通試験委員長ニ差出スヘシ

第二十三條 試験各科目ノ點數ハ一百ヲ以テ滿點トシ各科目ノ點數ヲ總計シ得ル所ノ和ヲ科目ノ數ヲ以テ除シタルモノヲ以テ平均點數トス

第二十四條 各科目ノ點數四十平均點數六十以上ヲ得タル者ヲ以テ合格者トス但シ平均點數六十以上ニシテ一科目若クハ二科目ノ點數四十以下ナルトキト雖モ普通試験委員ノ評決ニ依リ合格者ト爲スコトアルヘシ

第二十五條 普通試験委員長ハ試験了リタル後四週日以内ニ試験合格者ニ合格證書ヲ交付シ且

其氏名ル官報及縣報ニ公告スヘシ

第二十六條 受験人ハ試験ヲ受クルノ際試験ニ關スル規則及普通試験委員ノ命令ヲ遵守スヘシ犯ス者ハ普通試験委員ニ於テ直チニ退出ヲ命ジ當期ノ試験ヲ受クルコトヲ許サス

附則

本細則ノ外特ニ試験ニ關スル手續ノ規定ヲ要スルコトアルトキハ普通試験委員長隨時之ヲ定ム

(書式)

試験願書 (用紙美濃紙)

族籍戸主又ハ何某嗣子二三男兄弟等ノ別

職	業	姓	名
生	年	月	

登記印紙

私儀御縣判任官志願ニ付文官普通試験相受度別紙履歷書(卒業證書若クハ免許狀寫)市町村長證明書相添此段奉願候也

現	住	所	姓	名	印
年	月	日			

石川縣文官普通試験委員長姓名殿
履歷書 (用紙美濃紙)

何府縣華士族平民

生 年 月 日

本籍

一何府縣何國何郡市何町村何番地戸主及ハ何某何男兄弟伯叔父等(項ニ本籍地ニ居住スレトキハ現今本籍地ニ居住ノ數字ヲ本項ニ加記シ次項現今寄留地ヲ省クヘシ府)

現今寄留地

一何府縣何國何郡市何町村何番地(何某方)寄留

學事

一何年何月ヨリ何地何某ニ就キ又ハ官公私立何學校ニ於テ何學ヲ修メ何年何月ニ至ル所修ノ科目大略何々

一何年何月ヨリ何地官公私立何學校ニ入り何學科ヲ修業シ何年何月卒業ス其證書ノ寫別紙ノ如シ修業何年何月間ニシテ其科目ハ何々

一何年何月何地何學校(若クハ其他)ニ於テ何々ノ試験ヲ受ケ及第ス其證書若クハ免許狀ノ寫別紙ノ如シ受験ノ科目ハ何々

職業

一何年何月何地官公私立何學校何科教員トナリ教授ニ從事シ何年何月解職其間何々ヲ兼勤シ何々ノ事務ニ從事ス以上ノ辭令左ノ如シ

此所ニ辭令ノ全文ヲ各通トモ掲クヘシ又私立學校等ニシテ

辭令ナキモノハ其俸給等ヲ本文ニ詳記スヘシ

一何年何月何官廳ニ於テ何々ヲ拜命何年何月迄何々事務ニ從事シ何年何月辭職以上ノ辭令左ノ如シ

(辭令ノ全文ヲ掲クヘシ)

一何年何月何會社ニ雇ハレ(給料何圓)何々ノ業務ニ從事シ何年何月ニ至テ解雇其間給料ノ増減

一何年何月ヨリ何年何月迄何業ニ從事ス

一何年何月ヨリ何年何月迄何業ニ從事ス

一何年何月ヨリ何々ノ著譯ニ從事シ何年何月ニ至ル其著譯スル處ノ書名左ノ如シ

(著譯書名ヲ掲クヘシ)

賞罰

一何年何月何地ニ於テ何々ノ事由ノ爲メ賞ヲ受ク其辭令左ノ如シ

辭令全文ヲ掲ケ辭令ナキモノハ

本文中ニ受賞ノ事由ヲ記スヘシ

一何年何月何地ニ於テ何々ノ事由ノ爲メ罰ヲ受ク

辭令アルモノハ各其全文ヲ掲ケ辭令ナキモノハ本文中ニ其事由ヲ記シ裁判所ノ宣告書

ハ其要ヲ記スヘシ總テ罰ハ受罰ノ日數科料、罰金ノ額等ヲ記スヘシ

重罪、輕罪ヲ犯シタルコトノ有無

一何年何月何地ニ於テ何々ノ事由ノ爲メ何々ノ處分ヲ受ク(重罪、輕罪ノ處分ヲ受ケタルコトナシ)

(右ノ處分ニ付裁判所ノ宣告ヲ記スヘシ)

破産、家資分散、身代限ノ處分ヲ受ケタルコトノ有無

一何年何月何地ニ於テ破産ノ宣告ヲ受ク(破産ノ宣告ヲ受ケタルコトナシ)

一何年何月何地ニ於テ家資分散ノ宣告ヲ受ク(家資分散ノ宣告ヲ受ケタルコトナシ)

一何年何月何地ニ於テ身代限ノ處分ヲ受ク(身代限ノ處分ヲ受ケタルコトナシ)

右ノ處分ニ付裁判所ノ宣告ヲ記シ尙破産若クハ家資分散ノ宣告ヲ受ケタルモノハ復權セシヤ否、身代限ノ處分ヲ受ケタルモノニ在リテハ債務ノ辨償ヲ終ヘタルヤ否等ヲ詳記スヘシ
右之通知違無之候也

年 月 日
證 明 書

(履歷書ハ楷書又ハ行書ニテ明瞭ニ認ムヘシ)

何府縣華士族平民

姓

名

一年號干支月日何處ニ於テ生ル
一犯罪ノ有無
一破産若クハ家資分散ノ宣告又ハ身代限ノ處分ノ有無
一兵役ノ關係(何年徵兵適齡或ハ何年徵兵現役適齡現役豫備徵員免除猶豫延期ノ類何年徵兵現時豫備役後備役ノ類)
右證明候也

年 月 日
合 格 證 書

第何號

何府縣
何 平 民 族

姓

名

市町村長姓名印

明治何年何月石川縣ニ於テ施行シタル文官普通試驗ニ合格ス依テ此證書ヲ付與ス
年 月 日

生 年 月

石川縣文官普通試驗委員長

石川縣文官普通試驗委員

官位勳	氏	名	印
官位勳	氏	名	印
官位勳	氏	名	印
官位勳	氏	名	印
官位勳	氏	名	印

○石川縣告示甲第四十一號

明治三十年四月本縣告示甲第二十六號中(工事競争入札規則第三條)ノ下へ(及全年四月本縣告示第十號物件賣買貸借競争入札規則第五條)ノ二十九字ヲ挿入ス

明治三十年七月二日

石川縣知事 古澤

滋

石川縣告示甲第四十一號參照

石川縣告示甲第二十六號(明治三十年四月二十七日發布)

明治三十年三月本縣告示甲第十號工事競争入札規則第三條ノ競争入札ニ加ハラントスル者ニシテ警察署長若クハ分署長ノ證明ヲ受ケントスルトキハ其開札期日ノ一日前迄ニ願出ツ可シ若シ此ノ期日ヲ後ル、トキハ証明ヲ與ヘサル可シ

○石川縣告示甲第四十二號

明治二十六年四月本縣告示甲第一號查巡駐在所位置江沼郡南鄉村字黑瀬ヲ全村字上河崎ト改ム

明治三十年七月二日

石川縣知事 古澤 滋

○石川縣告示甲第四十三號

明治二十六年四月本縣告示甲第一號巡査駐在所位置羽咋郡鈍打村字西谷内ヲ全村字藤瀬ト改ム

明治三十年七月十二日

石川縣知事 古澤 滋

○石川縣告示甲第四十四號

明治二十六年石川縣告示甲第四十四號石川縣教育會規則左ノ通改正ス

明治三十年八月十七日

石川縣知事 古澤 滋

石川縣教育會規則

- 第一條 本會ハ知事ニ於テ教育ニ關スル事件ヲ諮詢スル爲ニ開設スルモノトス
- 第二條 本會員ハ四十名以内トシ知事之ヲ命ス
- 第三條 本會長ハ知事之ニ任ス知事事故アルトキハ代理者ヲ命ス
- 第四條 本會ハ每會計年度ニ一回開會シ其ノ日數ヲ十日以内トス但開會ノ期日等ハ其ノ都度告示ス
- 第五條 本會員ハ教育ニ關スル事件ニ就キ意見アルトキハ知事ニ建議スルコトヲ得
- 附則
- 第六條 従前ノ規則ニ依リ教育會員ヲ命ヒラレ又ハ囑托セラレタルモノハ本則改正ノ日ヲ以テ退任スルモノトス

○石川縣告示甲第四十五號

明治三十年三月本縣令第十九號畜産組合取締規則第二條第二項ニ據リ石川郡金澤市及羽咋郡畜産組合ノ區域左ノ通相定ム

明治三十年八月二十一日

石川縣知事 古澤 滋

一石川郡内野村ヲ分割シテ金澤市畜産組合區域ニ編入ス

一羽咋郡内ヲ分テ一ノ宮村以南(通稱押水、邑知)及上甘田村以北(通稱志賀、富來)ノ二組合トス

○石川縣告示甲第四十六號

明治二十八年十月石川縣告示甲第二十八號石川縣勸業諮問會規程左ノ通り改正ス

明治三十年八月二十七日

石川縣知事 古澤 滋

石川縣勸業諮問會規程

- 第一條 本會ハ勸業事務ニ付知事ノ諮問ニ備フル爲メ設置スルモノトス
- 第二條 本會ニ諮問スヘキ事項大略左ノ如シ
 - 一 水陸運輸ノ利害ニ關スル事
 - 二 灌漑用悪水疎通ニ關スル事
 - 三 農商工水産山林鑛山ノ利害及改良保護ニ關スル事
 - 四 金融通塞ニ關スル事
 - 五 農商工水産山林鑛山ニ關スル統計ノ事
 - 六 氣象測候ニ關スル事
 - 七 其他勸業上必要ナル事項
- 第三條 諮問會ハ農商務大臣及主務ノ官署ヨリ意見ヲ問ハル、トキハ之カ答申ヲ爲スヘシ
- 第四條 諮問會ハ勸業上公益ノ件ニ付農商務大臣及主務ノ官署へ意見書又ハ報告書ヲ提出スルコトヲ得
- 第五條 本會員ノ數ハ三十六名以内トシ知事之ヲ選任ス

會員ノ任期ハ三ヶ年トス
 第六條 農商務省官吏又ハ知事ノ特ニ命シタルモノハ會場ニ列シ意見ヲ陳述スルコトヲ得
 但決議ノ數ニ加ヘサルモノトス
 第七條 本會ノ會頭ハ知事之ニ但ス但時宜ニヨリ代理者ヲ命スルコトアルヘシ
 第八條 說明員ハ主任官吏ヲ以テ之ニ充ツ
 第九條 本會ハ知事之ヲ招集ス
 第十條 本會ノ會期ハ七日以内トス
 第十一條 會員ニハ旅費暨ヒ滞在日當ヲ支給ス
 第十二條 會員ノ席次ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム
 第十三條 諮問會ハ總テ談話ノ体ヲ用ウルモノトス
 但場合ニヨリ會員ノ意見ヲ識別スル爲メ便宜採決スルコトアルヘシ
 第十四條 會員到着若クハ疾病其他ノ事故ニ依リ欠席シ又ハ出席中退場セントスルトキハ會頭ヘ
 届出ヘシ
 附則
 從前會員ハ仍ホ引續キ在任スルモノトス
 ○石川縣告示甲第四十七號
 本縣石川郡辰巳用水普通水利組合區域反別中左記ノ通り變更ノ儀組合會ノ決議ニ依リ管理者ヨリ
 ノ稟請ニ對シ認可ヲ與ヘタリ
 明治三十年十月二日
 石川縣知事 古澤 滋

金澤市

石屋小路ノ内
 四拾番地 四拾壹番地
 反別壹反貳拾貳步
 堀川角場町ノ内
 一番地二番地 合併 六番地 七番地ノ一
 三番地四番地 合併 十四番地 十五番地 合併 拾九番地
 拾三番地ノ三 十五番地 合併 拾九番地
 反別四反六畝拾三步
 ○石川縣告示甲第四十八號
 曾テ本縣ニ在職シタル官吏及巡查看守ニシテ本年勅令第十四號ニ該當スル者ハ扶助料、退官賜金、
 給助金等調査ニ關シ必要ニ付履歷書ニ市町村長ノ證明シタル戶籍調査相添ヘ差出スヘシ但巡查看
 守ハ本年十月末日迄ニ差出スヘシ
 明治三十年十月十二日
 石川縣知事 古澤 滋
 ○石川縣告示甲第四十九號
 明治二十六年四月本縣告示甲第一號巡查駐在所位置石川郡富樫村字地黃煎ヲ全村字圓光寺ト改ム
 明治三十年十月十二日
 石川縣知事 古澤 滋
 ○石川縣告示甲第五十號
 本縣假定縣道左記ノ通相定ム
 明治三十年十月十六日
 石川縣知事 古澤 滋
 石川縣假定縣道

第一號

大聖寺ヨリ三國ニ達スル路線

江沼郡大聖寺町字穴虫ヨリ葦屋村ヲ經テ福井縣境ニ達ス

此里程

穴虫吉崎縣境間 一里十四丁四間三尺

吉崎蘆屋間 六丁二十二間

第二號

大聖寺ヨリ北陸鐵道停車場ニ達スル路線

江沼郡大聖寺町字鍛冶町ニ於テ國道線ヨリ分レ北陸鐵道大聖寺停車場ニ達ス

此里程

鍛冶町停車場間 四丁三十三間

第三號

大聖寺字本町通ヨリ郡役所ニ達スル路線

江沼郡大聖寺町字本町通ヨリ於テ國道線ヨリ分レ江沼郡役所ニ達ス

此里程

本町通郡役所間 二丁十間

第四號

大聖寺字本町通ヨリ警察署ニ達スル路線

江沼郡大聖寺町字本町通ニ於テ國道線ヨリ分レ大聖寺警察署ニ達ス

此里程

本町通警察署間 四十五間

第五號

大聖寺ヨリ山中ニ達スル路線

江沼郡大聖寺町字菅生町ニ於テ國道線ヨリ分レ南郷村字保賀ヲ經テ山中村ニ達ス

此里程

菅生町保賀間 二十七丁四十四間

保賀山中間 一里二十七丁三十五間

第六號

大聖寺ヨリ山代ニ達スル路線

江沼郡南郷村字保賀ニ於テ第五號路線ヨリ分レ山代村字山代ニ達ス

此里程

保賀山代間 十八丁十二間

第七號

動橋ヨリ北陸鐵道停車場ニ達スル路線

江沼郡動橋村字動橋ニ於テ國道線ヨリ分レ北陸鐵道動橋停車場ニ達ス

此里程

動橋停車場間 三丁五十六間六分

第八號

小松ヨリ北陸鐵道停車場ニ達スル路線能美郡小松町字京町ニ於テ國道線ヨリ分レ北陸鐵道小

松停車場ニ達ス

此里程

小松町字京町停車場間 五丁五十二間

第九號

小松町字京町ヨリ郡役所ニ達スル路線

能美郡小松町字京町ニ於テ國道線ヨリ分レ能美郡役所ニ達ス

此里程

小松町字京町郡役所間 四十二間三尺六寸

第十號

小松ヨリ白峰ニ達スル路線

能美郡小松町字本折町ニ於テ國道線ヨリ分レ別宮村字別宮ヲ經テ石川郡吉野谷村字吉野第十四號路線ニ達ス

此里程

小松町字本折町別宮間 四里十五丁三十四間

別宮吉野間

第十一號

小松ヨリ安宅ニ達スル路線

能美郡小松町字京町ニ於テ國道線ヨリ分レ安宅町ニ達ス

此里程

小松町字京町安宅町間 一里十丁五十七間

第十二號

水島ヨリ北陸鐵道美川停車場ニ達スル路線

石川郡比樂島村字水島ニ於テ國道線ヨリ分レ北陸鐵道美川停車場ニ達ス

此里程

水島美川停車場間 三十丁二十九間二尺

第十三號

上金石ヨリ鶴來ニ達スル路線

石川郡上金石町字冬瓜ヨリ松任町ヲ經テ鶴來町第十四號路線ニ達ス

此里程

上金石町字冬瓜松任町間 二里十一丁

松任町鶴來町間

第十四號

金澤ヨリ白峰ニ達スル路線

石川郡野々市村ニ於テ國道線ヨリ分レ鶴來町ヲ經テ能美郡白峰村字白峰ニ達ス

此里程

野々市鶴來間 二里十丁三十二間

鶴來吉野間

第十五號

吉野白峰間

六里十八丁二十二間一尺八寸

金澤市野町ヨリ第九師團野村ニ達スル路線

金澤市野町一丁目ニ於テ國道線ヨリ分レ寺町ヲ經テ石川郡野村兵營ニ達ス

此里程

野町一丁目野村兵營間 二十二丁四十四間

第十六號

金澤市廣坂通ヨリ市役所ニ達スル路線

金澤市廣坂通ヨリ於テ國道線ヨリ分レ金澤市役所ニ達ス

此里程

廣坂通市役所間 五十一間

第十七號

金澤市廣坂通ヨリ金澤裁判所ニ達スル路線

金澤市廣坂通國道線ヨリ紺屋坂ヲ經テ金澤裁判所ニ達ス

此里程

廣坂通裁判所間 六丁二間

第十八號

金澤市廣坂通ヨリ監獄署ニ達スル路線

金澤市廣坂通ヨリ於テ第十七號路線ヨリ分レ小立野石引町ヲ經テ鶴間町監獄署ニ達ス

此里程

廣坂通監獄署間 十九町三十七間

第十九號

金澤ヨリ上金石ニ達スル路線

金澤市下堤町ニ於テ國道線ヨリ分レ下安江町ヲ經テ石川郡上金石ニ達ス

此里程

下堤町上金石間 一里二十五丁四十六間二尺

第二十號

金澤市尾張町ヨリ第九師團元金澤城ニ達スル路線

金澤市尾張町ニ於テ國道線ヨリ分レ中町ヲ經テ第九師團ニ達ス

此里程

尾張町第九師團間 二丁四十九間二尺四寸

第二十一號

金澤ヨリ井波ニ達スル路線

河北郡森本村字彌勒繩手ニ於テ國道線ヨリ分レ小原谷村字東原脇原富山縣境ニ達ス

此里程

彌勒繩手東原脇原縣境間三里二十三丁

第二十二號

金澤ヨリ七尾ニ達スル路線

河北郡津幡町ニ於テ國道線ヨリ分レ金津村字宇野氣新羽昨郡南大海村字二ッ屋志雄村字子

浦北邑知村字飯山鹿島郡御祖村字高島越路村字二宮ヲ經テ七尾町元標ニ達ス

此里程

津幡宇野氣新間 一里二十二丁二十六間

宇野氣新二ッ屋間 二里十間三十二間

二ッ屋子浦間 二里二十八丁二十一間五尺

子浦飯山間 一里十二丁二十九間五尺

飯山高島間 一里二十丁四間三尺

高島二宮間 一里二十八丁六間五尺

二宮七尾間 二里十七丁二十五間一尺

第二十三號

七尾ヨリ水見ニ達スル路線

鹿島郡越路村字芹川ニ於テ第二十二號路線ヨリ分レ同村字芹川村原山分富山縣境ニ達ス

此里程

芹川全原山分間 二十二丁

第二十四號

七尾町字橋町ヨリ警察署ニ達スル路線

鹿島郡七尾町字橋町ニ於テ第二十九號路線ヨリ分レ七尾警察署ニ達ス

此里程

七尾町字橋町警察署間 五十五間

第二十五號

七尾ヨリ和倉ニ達スル路線

鹿島郡西湊村字松百ニ於テ第二十九號路線ヨリ分レ石崎村ヲ經テ端村和倉ニ達ス

此里程

松百和倉間 二十七丁

第二十六號

七尾ヨリ高濱ニ達スル路線

鹿島郡金ヶ崎村白濱ニ於テ第二十九號路線ヨリ分レ堀松村字堀松ニ於テ第二十七號路線ニ

達ス

此里程

白濱堀松間 二里十八丁

第二十七號

金澤ヨリ輪島ニ達スル路線

羽咋郡柏崎村字敷浪ニ於テ第二十二號路線ヨリ分レ羽咋郡羽咋町一ノ宮村字一ノ宮寺家高

濱町字高濱堀松村字堀松富來村字地頭町鳳至郡劔地村字劔地櫛比村字門前ヲ經テ輪島町元

標ニ達ス

此里程

敷浪羽咋間 三十三丁

羽咋一ノ宮寺家間 三十五丁三十間

一ノ宮寺家高濱間 二里二十二丁十七間

高濱堀松間 十四丁五十一間

堀松地頭町間 四里十八丁四十八間

地頭町劔地間 三里十二丁十九間五尺九寸

劔地門前間 二里三十四丁一間四尺六寸

門前輪島間 四里二十三丁七間四尺

第二十八號

羽咋町字開ヨリ郡役所ニ達スル路線

羽咋郡羽咋町字開ニテ第二十七號路線ヨリ分レ羽咋郡役所ニ達ス

此里程

羽咋町字開郡役所間 三十五間二分

第二十九號

七尾ヨリ飯田ニ達スル路線

鹿島郡七尾元標ヨリ田鶴濱村字田鶴濱中島村鳳至郡穴水村字川島中居村字中居鶴川村字鶴川字出津町字字出津珠洲郡木郎村字行延松波村字松波ヲ經テ飯田町元標ニ達ス

此里程

七尾田鶴濱間 二里十三丁二十間

田鶴濱中島間 二里七丁四十三間

中島川島間 四里十七丁四十五間四尺二寸

川島中居間 一里二十丁二十間三尺

中居鶴川間 四里八丁五十三間三尺

鶴川字出津間 二里二十四丁五十九間三尺

字出津行延間 一里三十三丁三十八間

行延松波間 一里七丁

松波飯田間 二里二十二丁三尺

第三十號

輪島町字河井ヨリ郡役所ニ達スル路線

鳳至郡輪島町字河井ニ於テ第三十三號路線ヨリ分レ鳳至郡役所ニ達ス

此里程

輪島町字河井郡役所間 二丁一間三尺

第三十一號

輪島町字鳳至ヨリ警察署ニ達スル路線

鳳至郡輪島町字鳳至ニ於テ第二十七號路線ヨリ分レ輪島警察署ニ達ス

此里程

輪島町字鳳至警察署間 二十三間四尺

第三十二號

七尾ヨリ輪島ニ達スル路線

鳳至郡穴水村字川島ニ於テ第二十九號路線ヨリ分レ輪島町第三十三號路線ニ達ス

此里程

川島輪島間 五里三十四丁三十間

第三十三號

輪島ヨリ飯田ニ達スル路線

鳳至郡輪島町元標ヨリ南志見村字里野村字鈴屋ヲ經テ飯田町元標ニ達ス

此里程

輪島里間 三里二十六丁

里鈴屋間 一里二十一丁十四間

鈴屋飯田間 五里五丁

第三十四號

飯田町字南町ヨリ警察署ニ達スル路線珠洲郡飯田町字南町ニ於テ第三十三號路線ヨリ分レ
飯田警察署ニ達ス

此里程
飯田町字南町警察署間 三丁二十八間八分

○石川縣告示甲第五十一號

明治二十二年五月本縣告示第六十二號中左ノ通り更正ス
明治三十年十月二十七日 石川縣知事 古澤 滋

官有地貸下願及貸下地返還手續

第一條中

甲書式

官有地拂下願

何國何市何町何小字何(假令ハ、A、B)何番官有地

一何素地^{何種}何程(生立ノ樹木アルトキハ其樹名員數目通)

但別紙比較表ノ隣地(或ハ近傍)類地

此代金何程 地價(壹反歩又)ニ付金何程ニ比較ス

代金ハ御允許ノ上告知次第一時上納(又ハ明治何年何月ヨリ全何年何月迄何ケ月賦每期金

何程宛毎月日限上納)可仕候

右地所何々(出願ノ目)ニ付前記代價ヲ以御拂下被成下度御允許ノ上ハ明治二十三年勅令第二百七十

五號全第二百七十六號(縣有ノ土地ハ明治二十二年石川縣令第七十四號トナスコト)明治二十四年

石川縣令第三十一號ノ趣旨堅ク遵守可仕別紙圖面及地價比較表相添保證人連署此段奉願候也

年號月日

住所

願人 氏 名 印

全

保證人 氏 名 印

全

保證人 氏 名 印

石川縣何郡何町村長

氏 名 印

(出願地係リ町村長トス)

石川縣知事宛

官有地貸下願(第一條乙書式)官有地拜借証書式(第四條)中「明治二十二年本縣令第七十四號」トアルヲ左ノ通りトス

國庫經濟ニ係ル土地ハ「明治二十三年勅令第二百七十五號全第二百七十六號明治二十四年本縣

令第三十一號及ヒ市制町村制第九十條第二項特別稅賦課ノ場合ハ該義務ノ負擔」トスヘシ

縣稅經濟ニ係ル土地ハ「明治二十二年本縣令第七十四號全二十四年本縣令第三十一號及ヒ市制

町村制第九十條第二項特別稅賦課ノ場合ハ該義務ノ負擔」トスヘシ

官有地拂下受書式(第四條)中「明治二十二年本縣令第七十四號」トアルヲ左ノ通りトス

國庫經濟ニ係ル土地ハ「明治二十三年勅令第二百七十五號全二百七十六號明治二十四年本縣令

第三十一號」トスヘシ

縣稅經濟ノ土地ハ「明治二十二年本縣令第七十四號及二十四年本縣令第三十一號」トスヘシ

○石川縣告示甲第五十二號

縣有種牡牛馬貸與規程左ノ通相定メ明治三十一年四月一日ヨリ施行ス

明治三十年十月二十七日

石川縣知事 古澤 滋

縣有種牡牛馬貸與規程

- 第一條 牛馬ノ改良蕃殖ヲ圖ランカ爲メ縣費ヲ以購買シタル種牡牛馬ハ畜産組合ニ貸與ス
- 第二條 縣有種牛馬ヲ借用シタル畜産組合ハ左ノ事項ヲ遵守スヘシ
 - 一、第一號式拜借証ヲ納ムヘシ
 - 二、飼育者ノ住所氏名ヲ報告スヘシ異動アルトキ亦同シ
 - 三、種付シタル牝馬ハ八月十五日限り牝牛ハ十月十五日限り第二號式ニ依リ郡市役所ヲ經テ縣知事ニ報告スヘシ
 - 四、種付ニ由テ産出シタル犢騾ハ七月十五日限り第三號式ニ依リ郡市役所ヲ經テ縣知事ニ報告スヘシ
 - 五、疾病ニ罹リタルトキハ獸醫ノ診斷書ヲ添ヘ縣知事ニ急報スヘシ 斃死シタルトキハ地方獸醫ノ診斷書又ハ檢按書ヲ添ヘ郡市役所ヲ經テ縣知事ニ届出ヘシ
 - 六、借受返納又ハ疾病等ニ關スル費用其他借用中ニ要スル費用ハ渾テ組合ノ負擔トス
- 第三條 縣有種牡牛馬ニ種付スヘキ牝牛馬ノ資格標準左ノ如シ
 - 一、年齡ハ牛滿二歲以上馬滿三歲以上
 - 二、體尺ハ牛三尺六寸以上馬四尺五寸以上
 - 三、強壯ニシテ骨格及性質善良ナルモノ
- 第四條 縣有種牡牛馬ハ左ノ方法ニ從ヒ飼養管理スヘシ
 - 一、厩舎ハ長十二尺以上幅九尺以上ニシテ床盤乾燥シ通氣良好ナラシムヘシ
 - 二、不消化ノ食物ヲ避ケ使用ノ程度ニ由テ豫メ食量ヲ定メ瘦瘠衰弱ノ患ナカラシムヘシ
 - 三、毎日全体ヲ刷櫛シ蹄ヲ清淨ニシ且隨時削蹄ヲ行フヘシ
 - 四、雨天ノ外ハ毎日三十分時間以上舍外運動ヲ行フヘシ
 - 五、夏季ハ蠅蚊ヲ防キ冬季ハ沍寒ヲ禦クヘシ
 - 六、種付ハ一日二回ヲ超ユヘカラス
 - 七、右ノ外衛生ニ關スル諸件ハ地方獸醫ノ指示ニ從フヘシ
- 第五條 必要アル場合ハ縣有種牡牛馬ノ貸與期限又ハ飼育地ヲ指定スルコトアルヘシ
- 第六條 縣有種牡牛馬ハ飼養管理ノ不良又ハ其他ノ事故ニ由テ返納セシメ又ハ飼育者變更ヲ命スルコトアルヘシ

第壹號式

(用紙美濃紙)

縣有種牡牛(馬)拜借證

証券

印紙

一壹頭

種牡牛(馬)

種類 毛色 年齡 特徵 號名

右拜借候處相違無之然ル上ハ種畜取締規則及縣有種牡牛馬貸與規程其他總テノ御命令ヲ遵守可致ハ勿論不注意ノ爲メ生シタル損害ハ相當代價ヲ辨償可致爲後日拜借證如斯候也

明治 年 月 日

何畜産組合長氏名 印

石川縣知事氏名殿

第二號式

(用紙美濃紙)

種付頭數屆	縣第	號縣有種牡牛(馬)	號名
種類	毛色	年齡	體尺
			町村字
			所有者(管理人)氏名

右及報告候也

明治 年 月 日

石川縣知事 氏名 殿

何畜産組合長 氏名 印

第三號式

(用紙美濃紙)

縣第	號縣有種牡牛(馬)	號名
牝牡	毛色	生日
		母種類
		飼育地
		所有者(管理人)住所氏名

產出價(號)屆

右及報告候也

明治 年 月 日

石川縣知事 氏名 殿

何畜産組合長 氏名 印

○石川縣告示甲第五十三號

明治三十一年度召集旅費支給場及其區域左ノ通定メラレ

但本年三月本縣告示甲第九號ハ來明治三十一年四月一日以降廢止ス

明治三十年十一月六日

石川縣知事 古澤

滋

郡市名	支給場位置	支 給 區 域
江沼郡	江沼郡役所	大聖寺町 三木村 鹽屋村 瀨越村 福田村 三谷村
	山代村役場	南郷村 黒崎村 橋立村 作見村 藤原村 鹽津村
	勅使村	河内村 山田村 東谷村 東谷村 東谷村 月津村
	西谷村	那谷村 矢田野村 動橋村 分枝村 月津村
	小松町	串江村 今江村 末佐美村 本折村 牧江村
	安宅町	千針村 沖杉村 淺井村 中江村 蓮川村
	瀬谷村	粟津村 西尾村 木津村 中海村 田邊村
	福生村	江ノ島村 釜屋村 長津野村 高山村 國造村
	粟生村役場	草里深川村 古常村 湯野村 山田村 國造村
	宮内村	寺生村 中島村 吉田村 山口村 國造村
能美郡	新丸村役場	新丸村 犬杉村

吉原村役場	白峰村役場	石川郡役所	戸板村役場	犀川村役場	鶴來町役場	吉野谷村役場	金澤市役所	河北郡役所	中口村役場	小原谷村役場	金津村役場
吉原村	白峰村	美川町 笠間村 安原村 野々市村 上金石町 大塚村	下金石町 野栗村 戸板村	犀川村 内川村	林村 藏山村 山島村 館畑村 鶴來町 河内村	吉野谷村	金澤市	森本村 中井村 笠井村 湯ノ谷村 木越村	東英村 金川村 坂井村	直江谷村 藥師谷村 小原谷村	西英村 金津村 金津谷村 高松村 七塚村
尾口村	別宮村	比樂島村 福留村 御手洗村 額手洗村 富與村	栗崎村 瀧浦村 米丸村 富樫村					八田村 崎田村 花園村 田近村	津幡町 萩坂村 俱利伽羅村 笠野村	中口村 川筋村 河崎村	

羽咋郡役所	南大海村字二ツ屋	高濱町役場	富來村役場	鹿島郡役所	御祖村役場	中島村役場	田鶴濱村役場	北大香村役場	中乃島村役場	鳳至郡役所	宇出津町役場	町野村役場	櫛比村役場
中邑知村 越路野村 柏崎村	南大海村 北大海村 北莊村 中莊村 末森村	加茂村 東土田村 西土田村 高濱町 志賀浦村 堀松村	熊野村 福浦村 西海村 富來村 鉦打村 稗造村 東増穂村	七尾町 矢田郷村 東湊村 西湊村 石崎村 徳田村	御祖村 久江村 鹿島路村 餘喜村 越路村 鳥屋村 能登部村	中島村 西岸村 熊木村 豊川村 笠師保村	田鶴濱村 金ヶ崎村 赤藏村 相馬村 高階村 端村	北大香村 崎山村 南大香村	中乃島村 東島村 西島村	西保村 鳳至谷村 大屋村 輪島町 河原田村 鶴巢村	宇出津町 三波村 神野村 上町村	南志見村 西町村 岩倉村 町野村 柳田村 岩井戸村	七浦村 鵜島村 櫛比村 諸岡村 本郷村 浦上村

穴水村役場	穴水村 中居村 南北村 東保村 島崎村 三井村
鶴川村役場	鶴川村 諸橋村 山田村 兜村
劔地村役場	劔地村 仁岸村 阿岸村
珠洲郡役所	上戸村 飯田町 東若山村 西若山村 直村 見付村 正院村 蛸島村 鉢崎村
小木村役場	高倉村 小木村 宮崎村
松波村役場	木郎村 松波村 鶴島村 黒峰村
三崎村役場	三崎村 日置村
大谷村役場	大谷村 大崎村

○石川縣告示甲第五十四號
 穴水警察署宇出津分署廳舎今回鳳至郡宇出津町宇出津ウ字七十六番甲地へ新築落成ニ付本月二十日移轉事務取扱ハシム

明治三十年十一月十二日

石川縣知事 古澤

滋

○石川縣告示甲第五十五號

本年八月縣令第五十五號土木費支辨規則第五條ノ道路河川港灣左ノ通り相定ム

明治三十年十一月十七日

石川縣知事 古澤

滋

縣稅補助ノ道路河川港灣

道路

江沼郡

- 一大聖寺ヨリ橋立ニ及ヒ鳥尾山ヨリ宮地ヲ經テ笹原ニ達スル本線路
 - 一中中ヨリ眞砂ニ及ヒ大内地内福井縣境ニ達スル本線路
 - 一大聖寺ヨリ南郷ヲ經テ日谷ニ達スル本線路
 - 一高塚ヨリ戸津ヲ經テ栗津ニ達スル本線路
 - 一富塚ヨリ片山津温泉場ニ達スル本線路
 - 一動橋ヨリ山代ヲ經テ二天ニ達スル本線路
 - 一山中ヨリ瀧ヲ經テ東谷與村ニ達スル本線路
 - 一動橋ヨリ那谷ニ達スル本線路
 - 一動橋ヨリ大土ニ及ヒ松山ヨリ瀧ヶ原ニ達スル本線路
 - 一山代ヨリ那谷ヲ經テ栗津ニ達スル本線路
- 能美郡
- 一今江ヨリ栗津ニ達スル本線路
 - 一小松ヨリ尾小屋、新保ヲ經テ福井縣境ニ及ヒ北淺井ヨリ大杉ニ達スル本線路
 - 一寺井ヨリ和氣ヲ經テ坪野ニ達スル本線路
 - 一別宮ヨリ阿手ニ達スル本線路
 - 一栗生ヨリ山田ヲ經テ岩本ニ達スル本線路
 - 一小松ヨリ福島ヲ經テ湊ニ達スル本線路
 - 一下野ヨリ上野ニ及ヒ三坂ヨリ廣瀬ヲ經テ中島ニ達スル本線路

- 一粟津ヨリ日用ヲ經テ打木ニ達スル本線路
- 一白峰ヨリ谷峠福井縣境ニ達スル本線路
- 一白峰ヨリ一ノ瀬温泉場ニ達スル本線路
- 一輕海ヨリ佛大寺ヲ經テ鍋谷ニ達スル本線路
- 一下吉谷ヨリ佛師ヶ野ヲ經テ女原ニ達スル本線路
- 一打越ヨリ能美ニ達スル本線路
- 一安宅ヨリ安宅新ニ達スル本線路

石川郡

- 一水島ヨリ宮竹新、明島ヲ經テ假定縣道ニ達スル本線路
- 一美川ヨリ笠間ヲ經テ成ニ達スル本線路
- 一口直海ヨリ奥池ニ達スル本線路
- 一地黃煎ヨリ額谷ヲ經テ小柳地内假定縣道ニ達スル本線路
- 一三口新ヨリ寺津ヲ經テ倉谷ニ達スル本線路
- 一野田地内假定縣道ヨリ堂ヲ經テ後谷ニ達スル本線路
- 一北廣岡ヨリ南新保ヲ經テ栗ヶ崎海邊ニ及ヒ同線路ヨリ下金石ニ達スル本線路
- 一押野地内國道線ヨリ全御塚ヲ經テ宮永新ニ達スル本線路
- 一千日町ヨリ古保ヲ經テ下安原ニ達スル本線路
- 一三社ヨリ南廣岡淵上ヲ經テ専光寺海邊ニ達スル本線路
- 一宮保ヨリ米永ヲ經テ平松地内松任往來ニ達スル本線路
- 一四十万ヨリ三十疇馬替ヲ經テ野々市ニ達スル本線路

- 一神谷ヨリ二ツ寺ヲ經テ松ニ達スル本線路
- 一上野新ヨリ土清水ヲ經テ銚子口ニ達スル本線路
- 一畝田地内假定縣道ヨリ下金石海濱邊ニ達スル本線路
- 一末ヨリ中戸ヲ經テ國見ニ達スル本線路
- 一末松ヨリ橋瓜ヲ經テ田中地内國道線ニ達スル本線路
- 一駒蹄ヨリ熊走リニ達スル本線路
- 一末ヨリ山川ヲ經テ小原ニ達スル本線路
- 一上辰巳ヨリ駕ヶ原ニ達スル本線路
- 一堀川ヨリ須崎ニ達スル本線路
- 一大桑ヨリ藤棚ニ達スル本線路

金澤市

一市内各線路

河北郡

- 一天神町ヨリ下田上ヲ經テ湯涌ニ及ヒ平下ヨリ横谷ニ達スル本線路
- 一川端町ヨリ鈴見ヲ經テ二俣富山縣境ニ達スル本線路
- 一田中ヨリ高柳ヲ經テ淺野町ニ達スル本線路
- 一今町ヨリ朝日ヲ經テ滝下松根富山縣境ニ達スル本線路
- 一倉見ヨリ鳥越ヲ經テ筋谷ニ達スル本線路
- 一杉瀬ヨリ假生ヲ經テ南横根富山縣境ニ達スル本線路
- 一能瀬ヨリ興津ヲ經テ上河合ニ達スル本線路

- 一 下田上ヨリ戸室別所ヲ經テ戸室清水ニ達スル本線路
- 一 大樋ヨリ小二又ヲ經テ田島ニ達スル本線路
- 一 長屋ヨリ抽水及ヒ牧山ヲ經テ古屋谷ニ達スル本線路
- 一 鳴瀬ヨリ今泉ヲ經テ松根富山縣境ニ達スル本線路
- 一 竹橋ヨリ山森ヲ經テ俱利伽羅富山縣境ニ達スル本線路
- 一 横山ヨリ若緑ヲ經テ元女ニ達スル本線路
- 一 須崎ヨリ向粟ヶ崎室ヲ經テ宇ノ氣新ニ達スル本線路
- 一 東蚊爪ヨリ松寺ヲ經テ淺野川左岸ニ達スル本線路

羽咋郡

- 一 中沼ヨリ上河合富山縣境ニ達スル本線路
- 一 子浦ヨリ清水原富山縣境ニ達スル本線路
- 一 飯山ヨリ菅池富山縣境ニ達スル本線路
- 一 飯山ヨリ羽咋ニ達スル本線路
- 一 高濱ヨリ福浦ヲ經テ領家七海ニ達スル本線路
- 一 地頭町ヨリ切留ヲ經テ大町ニ達スル本線路
- 一 中濱ヨリ酒見ヲ經テ千浦ニ及ヒ酒見ヨリ前濱ヲ經テ鳳至郡境ニ達スル本線路
- 一 子浦ヨリ羽咋ニ達スル本線路
- 一 高濱ヨリ上棚ヲ經テ能登部ニ達スル本線路

鹿島郡

- 一 七尾ヨリ能登部長川ヲ經テ羽咋ニ達スル本線路
- 一 古府ヨリ山崎ヲ經テ大泊富山縣境ニ達スル本線路
- 一 末坂ヨリ田鶴濱ニ達スル本線路
- 一 中島ヨリ富來ニ達スル本線路
- 一 佐波ヨリ向田曾良ヲ經テ鶴川ニ達スル本線路
- 一 府中ヨリ庵ヲ經テ花園ニ達スル本線路
- 一 七尾ヨリ鶴浦ヲ經テ江泊ニ達スル本線路

鳳至郡

- 一 輪島ヨリ皆月ヲ經テ門前ニ達スル本線路
- 一 此ノ木ヨリ二又川ヲ經テ本市ニ達スル本線路
- 一 里ヨリ柳田ヲ經テ宇出津ニ達スル本線路
- 一 里ヨリ西時國小間生ヲ經テ上町ニ達スル本線路
- 一 山ノ上ヨリ常目鶴町ヲ經テ宇出津ニ達スル本線路
- 一 本江ヨリ雄尾瑞穂ヲ經テ鶴川ニ達スル本線路
- 一 竹太ヨリ甲岩車ヲ經テ川尻ニ達スル本線路
- 一 劍地ヨリ馬渡久川ヲ經テ今田ニ達スル本線路
- 一 金藏ヨリ小間生桐畑ヲ經テ馬渡ニ達スル本線路

珠洲郡

- 一 飯田ヨリ本ヲ經テ寺家ニ達スル本線路
- 一 狼煙ヨリ大谷眞浦ヲ經テ鳳至郡境ニ達スル本線路
- 一 川尻ヨリ小泊ヲ經テ森腰ニ達スル本線路

- 一 延武ヨリ大谷ニ達スル本線路
 - 一 宇出津ヨリ小木ヲ經テ松波ニ達スル本線路
 - 一 鶴飼ヨリ金峰寺ヲ經テ大町泥木鳳至郡境ニ達スル本線路
 - 一 正院ヨリ東山中ヲ經テ折戸ニ達スル本線路
- 河川

- 一 牛首川
- 一 大日川
- 一 手取川上流鶴來及和佐谷ヨリ上流濁澄迄
- 一 大聖寺川
- 一 動橋川
- 一 梯川
- 一 犀川上流上辰己及列所ヨリ上流寺津迄
- 一 淺野川上流箱及銚子口ヨリ上流石黒又迄
- 一 大野川
- 一 津幡川
- 一 森下川
- 一 大海川
- 一 寶達川
- 一 子浦川

- 一 羽咋川
 - 一 二ノ宮川
 - 一 鳳至川
 - 一 河原田川
 - 一 町野川
 - 一 八ヶ川
 - 一 若山川
- 港 灣

- 一 七尾港
- 一 福浦港
- 一 穴水港
- 一 中居港
- 一 宇山津港
- 一 輪島港
- 一 小木港

○石川縣告示甲第五十六號

本縣縣債募集及償還ニ關スル方法縣會ノ決議ヲ經内務大臣及大藏大臣ノ認可ヲ得左ノ通相定ム

明治三十年十一月二十七日

石川縣知事 古澤 滋

縣債募集及償還ニ關スル方法

第一條 明治二十九年水害ニ依リ生シタル土木復舊工事費ニ充ツル爲メ金貳拾七萬六千四百六拾

四圓四拾壹錢參厘以內ノ公債ヲ募集スルモノトス

第二條 本公債ハ石川縣土木公債ト稱シ發行ノ證書ハ無記名利札付ニシテ千圓五百圓百圓ノ三種トス

第三條 本公債ノ利子ハ一ヶ年百分ノ六、五額面百圓ニ付
金六圓五拾錢トス

第四條 本公債ハ明治三十年度ニ於テ之ヲ募集スルモノトス

第五條 本公債應募申込ノ期日ハ官報公報及新聞紙ヲ以テ廣告スルモノトス

第六條 本公債ハ額面金額以上ノ價格ヲ以テ募集スルモノトス

第七條 本公債ノ募集ニ付テハ應募者ヲシテ應募申込ノ際應募額面十分ノ一二相當スル保證金ヲ納メシムルモノトス

但保證金ニ對シテハ利子ヲ付セサルモノトス

保證金ヲ納入シタルトキハ領收證書ヲ交付ス此領收證書ハ賣買讓與スルコトヲ得サラシムルモノトス

保證金領收證書ヲ紛失シ又ハ水火災等ニ依リ消滅シタル旨申出ルモノアルトキハ二名以上ノ保證人ヲ立テ事實ヲ證明セシメタル上更ニ領收證書ヲ交付スルモノトス

第八條 應募申込ノ金高募集金額ニ超過スルトキハ應募價格ノ最モ高キモノヨリ順次證書ヲ交付シ需要額ニ至テ止ム其價格同シキモノハ抽籤ニ依ルモノトス

第九條 應募金確定シタルトキハ應募者ノ保證金ヲ拂込金ニ振替ヘ期日ヲ定メテ應募者ニ通告シ殘金ヲ拂込マシムルモノトス

但保證金ハ拂込金ニ振替ヘタルトキヨリ利子ヲ付スルモノトス其計算ハ第十六條ノ例ニ依ル

第十條 殘金拂込ノ期日マテニ拂込未済ノモノアルトキハ拂込期日ノ翌日ヨリ現ニ拂込ヲ了シタル日マテ其拂込未済額ニ對シ一ヶ年百分ノ十ノ割合ヲ以テ利子ヲ徵收スルモノトス

殘金拂込期日後六十日ヲ過キ猶該殘金及前項利子ノ拂込ヲ了セサルモノアルトキハ公債證書ヲ交付セス且其既ニ拂込シタル金額ハ還付セサルモノトス

第十一條 本公債ノ應募者其應募金ノ全額ヲ拂込マサル以前ニ於テ死亡シ其引受人ヨリ應募金額拂込ムヘキ旨申出タルトキハ相當ノ證明ヲナサシメタル上應募者トシテ取扱フモノトス

第十二條 本公債ノ元金ハ明治三十二年度ヨリ明治四十五年度ニ至ル十四年度間ニ抽籤法ヲ以テ償還スルモノトス其毎年度償還金額左ノ如シ

但募集金全額ヲ要セサルトキハ順次末年度償還額ヨリ減スルモノトス	金壹萬貳千四百圓	明治三十二年度
	金壹萬六千圓	全 三十三年度
	金壹萬六千圓	全 三十四年度
	金壹萬六千圓	全 三十五年度
	金壹萬六千圓	全 三十六年度
	金壹萬六千圓	全 三十七年度
	金壹萬八千圓	全 三十八年度
	金貳萬圓	全 三十九年度
	金貳萬貳千圓	全 四十年度
	金貳萬四千圓	全 四十一年度
	金貳萬六千圓	全 四十二年度
		全 四十三年度

金貳萬八千圓
金參萬六拾四圓四拾壹錢參厘

全 四十四年度
全 四十五年度

第十三條 紛失証書ノ當籤ハ無効トス

第十四條 當籤証書ノ番號種類及金額等ハ官報公報及ヒ新聞紙ヲ以テ廣告スルモノトス

第十五條 本公債ノ利子ハ毎年六月十二月ニ於テ支拂フモノトス

第十六條 本公債ノ利子ハ其元金拂込ノトキ月ノ十五日以前ニ在ルモノハ下半年分ヨリ月ノ十六日以後ニ在ルモノハ翌月分ヨリ支拂ヒ元金償還ノ年ニ於テハ其償還ノ月マテ月割ヲ以テ支拂フモノトス

第十七條 本公債ノ元金並利子ハ証書又ハ利札引換ニ其持參人ニ支拂フモノトス

第十八條 本公債証書若クハ其利札水火災等ニ由リ消滅シタル場合ニ於テ代証書若クハ代利札ノ交付ヲ請求スルモノアルトキハ二名以上ノ保証人ヲ立シメ而シテ其消滅ノ証跡明確ナリト認ムルモノハ代証書若クハ代利札ヲ交付シ其消滅ノ証跡明確ナラサルトキハ第十九條ノ例ニ依ルモノトス

第十九條 本公債証書若クハ利札ヲ紛失シ代証書若クハ代利札交付ヲ請求スル者アルトキハ之レカ支拂ヲ停止シ官報公報及新聞紙ヲ以テ廣告シ其廣告ノ月ヨリ起算シ証書ハ滿六ケ年利札ハ支拂ノ期月ヨリ滿四ケ年ヲ經過シ尙發見セサルトキニ限リ紛失セル証書若クハ利札ノ無効ナルコトヲ公告シタル上代証書若クハ代利札ヲ交付スルモノトス

第二十條 本公債証書若クハ利札ヲ汚染又ハ毀損シ代証書若クハ代利札ノ交付ヲ請求スルモノアルトキ其真正ヲ鑑別シ得ヘキモノニハ代証書若クハ代利札ヲ交付シ鑑別シ難キモノハ証書紛失ノ例ニ依リ取扱フモノトス

第二十一條 當籤又ハ滿期ニ依リ元金償還ノ場合ニ於テ証書ノ真正ナルヲ認メ難キモノハ支拂期月ノ翌月ヨリ五ケ年間其支拂ヲ停止スルモノトス

利札ノ真正ナルヲ認メ難キモノハ該利子支拂期月ノ翌月ヨリ滿三ケ年間其支拂ヲ停止スルモノトス

前二項ノ場合ニ於テ証書若クハ利札ニ關シ故障ヲ生セシトキハ其所有權確定ニ至ルマテ尙其支拂ヲ停止スルモノトス

第二十二條 紛失ノ証書若クハ利札ヲ持參スルモノアリタルトキハ之ヲ預リ置キ其旨ヲ代証書若クハ代利札ノ交付請求者ニ通告シ持參人ト請求者ト相當ノ手續ヲ經テ所有權ヲ證明スルヲ俟テ其取扱ヲナスモノトス

第二十三條 第十八條第十九條及第二十條ニ依リ代証書若クハ代利札ヲ交付スルトキハ代証書若クハ代利札調製ノ實費ヲ徵收シ其新聞紙ニ廣告ヲナシタルモノハ尙其廣告料ヲ徵收スルモノトス

第二十四條 公債證書ノ様式抽籤ノ方法及ヒ取扱ノ手續ハ縣參事會ノ議決ヲ經テ縣知事之ヲ定ムルモノトス

○石川縣告示甲第五十七號
本縣能美郡宮竹用水普通水利組合區域反別左ノ通り變更ノ義組合會ノ決議ニヨリ管理者ノ稟請ニ對シ認可ヲ與ヘタリ

明治三十年十一月二十七日

石川縣知事 古澤 滋

能美郡宮内村字宮竹ノ内

反別五拾六町八反三步

全郡全村字三ツ口ノ内

反別三拾町六反七畝二拾六步

全郡全村字岩内ノ内

反別三拾二町四反四畝拾二步

全郡山口村字火釜ノ内

反別二拾一町二反六畝六步

全郡全村字山田ノ内

反別五町七反二畝拾三步

全郡全村字出口ノ内

反別拾町七畝三步

全郡全村字三ツ屋

反別二拾六町二反六畝二拾三步

全郡久常村字北市ノ内

反別二拾一町七反三畝一步

全郡全村字徳久ノ内

反別二拾九町二反四畝二拾六步

全郡全村字上清水ノ内

反別四町八反八畝拾三步

全郡全村字河原新保ノ内

反別拾二町二反五畝拾五步

全郡全村字秋常ノ内

反別二拾五町六反三畝七步

全郡全村字末寺ノ内

反別七町五畝九步

全郡吉田村字吉光ノ内

反別六反一畝二拾七步

全郡全村字三遣山ノ内

反別七町三反五畝拾七步

全郡寺井村ノ内

反別九拾六町八反四畝拾九步

全郡福江村字五間堂ノ内

反別二拾九町六反五畝二拾四步

全郡全村字中ノ庄ノ内

反別拾五町七反六畝拾九步

全郡全村字西二口ノ内

反別二拾六町三反五畝步

全郡田川村字蛭川ノ内

反別八拾五町三反三畝拾三步

全郡全村字松梨ノ内

反別拾四町七反五畝二拾五步

全郡全村字島田ノ内

反別四拾九町二反五畝三拾五步

○石川縣告示甲第五十八號

縣下加賀國石川郡富樫用水普通水利組合區域並ニ反別中左記ノ通り變更ノ儀管理者ヨリノ稟請ニ對シ認可ヲ與ヘタリ

明治三十年十二月二日

石川縣知事 古澤 滋

石川郡野々市村

反別百九十九町七反二十四步

全郡三馬村字横川

反別四十八町七反一畝二十七步

○石川縣告示甲第五十九號

本縣々立諸學校職員俸給額左ノ通相定ム

明治二十六年石川縣告示甲第十七號尋常中學校職員俸給額ヲ廢止ス

明治三十年十二月十一日

石川縣知事 古澤 滋

縣立諸學校職員俸給額

一 學校長 年俸八百圓以上貳千圓以下

二 教諭

月俸參拾圓以上八拾圓以下

但シ奏任待遇ノ教諭ハ年俸八百圓以上千五百圓以下トス

三 助教諭

月俸拾貳圓以上參拾圓未滿

四 書記

月俸拾圓以上四拾圓以下

○石川縣告示甲第六十號

尋常小學校本科正准教員並小學校專科正准教員ノ檢定試験ヲ受ケントスルモノ、便宜ヲ謀リ參考用圖書ヲ示スコト別表ノ如シ但シ該圖書ハ參考スヘキ程度ヲ示シタルニ過キササルモノナルニ付檢定志望者ニ於テハ尙汎ク類書ヲ閱覽センコトヲ要ス

明治三十年十二月二十二日

石川縣知事 古澤 滋

尋常小學校本科正教員及准教員檢定試験參考書

修身科

正 教 員		准 教 員	
著 譯 者	書 名	著 譯 者	書 名
那珂通世等	教育勸語衍義	那珂通世等	教育勸語衍義
八尾編輯處	高等小學修身(教師用)	八尾編輯處	高等小學修身(教師用)
末松謙澄	修身女訓(教師用)	末松謙澄	修身女訓(教師用)
冊數	一冊	冊數	一冊
	四冊		四冊
	四冊		四冊

井上哲次郎等		倫理教科書	五册				
正 教 育 科							
著 譯 者	書 名	冊 數	著 譯 者	書 名	冊 數	著 譯 者	書 名
國府寺新作等	新實驗管理術	一册	國府寺新作等	新實驗管理術	一册	國府寺新作等	新實驗管理術
國府寺新作等	驗新案教授術	一册	國府寺新作等	驗新案教授術	一册	國府寺新作等	驗新案教授術
岡部精一郎	密氏教授論	一册					
湯原元一	普通教授新論	一册					
正 教 員 科							
著 譯 者	書 名	冊 數	著 譯 者	書 名	冊 數	著 譯 者	書 名
小中村清矩等	訂增日用文鑑	二册	小中村清矩等	訂增日用文鑑	二册	小中村清矩等	訂增日用文鑑
關根正直	訂增國文教科書	二册	井上頼園等	中等國文	四册	井上頼園等	中等國文
井上頼園等	中等國文	十册	物集高見	國文中等讀本	四册	關根正直	普通國語學
物集高見	國文中等讀本	十册					
正 教 員 科							
著 譯 者	書 名	冊 數	著 譯 者	書 名	冊 數	著 譯 者	書 名
高津敏三郎	日本文典	一册	鈴木弘恭	新假字遣教科書	一册		
關根正直	國語學	一册	山縣佛三郎	高等讀本	七册		
正 算 術 科							
著 譯 者	書 名	冊 數	著 譯 者	書 名	冊 數	著 譯 者	書 名
藤澤利喜太郎	算術教科書	二册	竹貫登代多	高等小學算術教科書	四册		
酒井佐保	算術教科書	二册	佐久間文太郎	高等小學算術教科書	四册		
正 地 理 科							
著 譯 者	書 名	冊 數	著 譯 者	書 名	冊 數	著 譯 者	書 名
倉知新吾	石川縣地誌	一册	倉知新吾	石川縣地誌	一册		
學海指針社	日本地理初歩(甲種)	二册	學海指針社	日本地理初歩(甲種)	二册		
學海指針社	高等科日本地理	一册	學海指針社	高等科日本地理	一册		
中村五六	復習用日本地理	一册	中村五六	復習用日本地理	一册		
中村五六	中等中地理(日本ノ部)	一册	中村五六	中等中地理(日本ノ部)	一册		
中村五六	中等中地理(萬國ノ部)	一册					

井上哲次郎等		倫理教科書	五册				
正 教 育 科							
著 譯 者	書 名	冊 數	著 譯 者	書 名	冊 數	著 譯 者	書 名
國府寺新作等	新實驗管理術	一册	國府寺新作等	新實驗管理術	一册	國府寺新作等	新實驗管理術
國府寺新作等	驗新案教授術	一册	國府寺新作等	驗新案教授術	一册	國府寺新作等	驗新案教授術
岡部精一郎	密氏教授論	一册					
湯原元一	普通教授新論	一册					
正 教 員 科							
著 譯 者	書 名	冊 數	著 譯 者	書 名	冊 數	著 譯 者	書 名
小中村清矩等	訂增日用文鑑	二册	小中村清矩等	訂增日用文鑑	二册	小中村清矩等	訂增日用文鑑
關根正直	訂增國文教科書	二册	井上頼園等	中等國文	四册	井上頼園等	中等國文
井上頼園等	中等國文	十册	物集高見	國文中等讀本	四册	關根正直	普通國語學
物集高見	國文中等讀本	十册					
正 算 術 科							
著 譯 者	書 名	冊 數	著 譯 者	書 名	冊 數	著 譯 者	書 名
藤澤利喜太郎	算術教科書	二册	竹貫登代多	高等小學算術教科書	四册		
酒井佐保	算術教科書	二册	佐久間文太郎	高等小學算術教科書	四册		
正 地 理 科							
著 譯 者	書 名	冊 數	著 譯 者	書 名	冊 數	著 譯 者	書 名
倉知新吾	石川縣地誌	一册	倉知新吾	石川縣地誌	一册		
學海指針社	日本地理初歩(甲種)	二册	學海指針社	日本地理初歩(甲種)	二册		
學海指針社	高等科日本地理	一册	學海指針社	高等科日本地理	一册		
中村五六	復習用日本地理	一册	中村五六	復習用日本地理	一册		
中村五六	中等中地理(日本ノ部)	一册	中村五六	中等中地理(日本ノ部)	一册		
中村五六	中等中地理(萬國ノ部)	一册					

歷史科

著譯者	書名	冊數	著譯者	書名	冊數
勝浦柄雄	皇國史要	二冊	修文館	新撰皇國史	二冊
藤岡作太郎	國史綱	二冊			

附記

尋常小學校本科教員志望者ハ本表圖書ノ補遺トシテ左記ノ圖書ヲモ參看スルヲ可トス

國語科

區別	著譯者	書名	冊數
正教員	大槻文彦	廣日本文典	一冊

算術科

區別	著譯者	書名	冊數	區別	著譯者	書名	冊數
正教員	寺尾壽	中等教育算術教科書	三冊	准教員	藤澤利喜太郎	算術教科書	二冊

歷史科

區別	著譯者	書名	冊數	區別	著譯者	書名	冊數
正教員	松本愛重 重野安繹等 河田耀等	日本史料 國史眼 日本讀史地圖	三冊 七冊 一冊	准教員	笹川種郎 勝浦柄雄	日本小史 皇國史要	二冊 二冊

※小學校專科正教員及准教員檢定試驗參考書

家事科

著譯者	書名	冊數	著譯者	書名	冊數
樋口米子	新式裁縫教授書	二冊	樋口米子	新式裁縫教授書	二冊
岩間惠美等	裁縫教授書	三冊	岩間惠美等	裁縫教授書	三冊
下田歌子	家政讀本	二冊	下田歌子	家政讀本	二冊
林吾一	家政讀本	三冊	林吾一	家政讀本	三冊
藤尾錄郎	家計簿記法	二冊			

裁縫科

著譯者	書名	冊數
樋口米子	新式裁縫教授書	二冊
岩間惠美等	裁縫教授書	三冊
下田歌子	家政讀本	二冊
林吾一	家政讀本	三冊
藤尾錄郎	家計簿記法	二冊

○石川縣告示甲第六十一號

明治十七年二月太政官布達第三號ニヨリ縣下鳳至郡鶴巢村ノ内左記ノ山林國土保安ノ爲メ伐木ヲ停止ス

但シ該伐木停止林ハ明治三十一年一月一日ヨリ引續キ本年四月法律第四十六號ニヨリ保安林ノ取扱ヲ受クヘシ

石川縣知事 古澤 滋

明治三十年十二月二十七日

鶴巢村大字惣領二十六部二十三番

山林三町三反三畝歩惣領一區共有

鶴巢村大字惣領二十九部一番

山林三町三反三畝歩惣領一區共有

鶴巢村大字稻船立根尾一番

薙畑一町八反歩稻舟一區共有

鶴巢村大字西大野長坂三番乙

山林一町七反一畝十二歩西大野一區共有

鶴巢村大字西大野嶽平二十九番

山林七町七反二畝歩西大野一區共有

鶴巢村大字惣領二十九部二番

山林八町二反五畝拾八歩官有地

鶴巢村大字惣領三十二部四十一番

山林四町五反歩惣領一區共有地

○石川縣告示甲第六十二號
明治二十六年四月本縣告示甲第一號巡查駐在所位置能美郡ノ内別宮村字阿手トアルヲ全村字杉ノ森ト改ム

石川縣知事 古澤 滋

明治三十年十二月二十七日

○石川縣告示甲第六十三號

管下官林ノ内左記ノ箇所ハ禁伐林風致林ニ屬スルモノトス

但明治三十年四月法律第四十六號森林法第三十條ニ依リ明治三十一年一月一日ヨリ引續キ保安林ニ編入セラル、モノトス

石川縣知事 古澤 滋

明治三十年十二月二十七日

國	郡	市町村	大字	字	保存林種類	林種	反	別
加賀	河北	直江谷	市ノ瀬	赤坂	水源涵養	喬林	一一、一三〇二	
全	全	笠野	笠池ヶ原	池ノ窪	土砂扞止	全	〇、〇五一一	
全	全	金津谷	横山	加茂社境外	風致	全	〇、四三〇五	
全	全	小金	山ノ上	小坂神社境外	全	全	〇、一三二四	
全	全	談議所	鹿島社境外	上地	全	全	〇、一四一七	
全	全	金川	千田	八坂社境外	上地	全	〇、〇八〇三	

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
篠原	越津	黒崎	全	福田	串	牧	全	江ノ島	全	全	全	全	釜屋
越嶺	千崎、大入會	高尾	萩生	三ッ	串	長崎	坂高	重住	全	全	山口釜屋	全	濱
シヤ	ヒロ	菅	笹	藤	上	ヲク	ウイ	大	ト	ベ	御林ホノ部	高坂後口	山
フ	谷	谷	平	山	野	マ	イ	開	部	部	部	部	口
山	山	谷	水	並	全	チ	ダ	全	全	全	全	全	界
全	全	全	源	木	全	全	シ	全	全	全	全	全	全
			涵	代									
			養	用									
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
一、三七〇〇	〇、四〇〇〇	〇、三三七、五	〇、六七〇〇	〇、二四一、八	〇、〇五〇〇	一、〇〇〇〇	〇、一二二〇〇	〇、一三〇〇〇	〇、六四〇〇	〇、四〇〇〇	〇、三〇〇〇	〇、〇七〇〇	〇、二二二、一

●市甲

百十

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	釜屋	末佐美	東谷口	三谷	三木
全	全	全	全	全	全	濱	全	吉原釜屋	佐美	小阪	百々	永井	コモリ
次	吉原	小釜屋	大釜屋	福島江	大清水西	大清水北	吉原境西	釜屋界	街道	向谷山	丸山	大谷	山
長	東	屋	屋	全	全	全	全	全	緑土	砂	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	杉	全	全	全	全
									林				
									止				
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
〇、一一三三	〇、三六一〇	〇、三四二八	〇、二九二六	〇、〇九二七	〇、一八〇二	〇、一三三二	〇、二七二七	〇、九二〇〇	一、二〇〇〇	〇、一八〇〇	〇、二四〇〇	〇、五〇〇〇	〇、三九〇〇

●市甲

百十一

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	石川	全	江沼	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
松任町	林中	月津	橋立	塩津	篠原	塩津	瀬越	全	全	全	全	塩屋	全
○	平松	額見	橋立	千崎、大入念	塩濱	千崎、大入念	瀬越	全	全	全	全	塩屋	全
若宮八幡社境外	蚊田八幡社境外	卯ノ嶺	正賀山	尻谷山	濱山	カホ山	東濱上木境	三味谷	能登屋後口	三味	厂山	宮前	塩屋境山
全	風	全	防	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
	致		風	土砂打止必要アリ									
喬林	竹林	全	喬林	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
〇、二〇二七	〇、二六二八、三	〇、八〇〇〇	〇、四〇〇〇	〇、三三二一〇	二、四三〇〇	〇、一八〇〇	一、六八〇〇	一、三〇一、一、二	〇、五三一〇	〇、一三〇〇	〇、八〇〇〇	〇、二〇〇〇	一、八〇〇〇

告示甲

百十三

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
瀬越	全	塩津	全	橋立	黒崎	江ノ島	全	全	全	全	全	全	全
瀬越	全	千崎、大入念	全	橋立	田尻	濁池	全	全	全	全	全	全	全
八丁	濱山	ヒノボ山	見山	濱山	西土	道林	又釜屋南	又釜屋北	全	燒釜屋北	下中	上中	全
并土砂打止ノ必要アリ	全	全	全	全	并湖土砂防	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	土砂打止ノ必要アリ	全	全	全	全	全	全	全	全
〇、一六二八、五	一、三〇〇〇	二、三〇〇〇	〇、一二〇〇	〇、五二〇〇	〇、五三〇〇	〇、三〇九、三	一、二三八	〇、七二一九	〇、二一〇九	〇、三二二五	〇、〇七二五	〇、九一一五	〇、二九二五

告示甲

百十二

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	珠洲	全	全	全	全	全	全	鳳至	全	全	全	全	全	全	全	全
小	日	全	三	輪	全	山	兜	全	穴	兜	東	西	末					
木	置		崎	島		田			水		增	增	森					
											穗	穗						
小	狘	全	寺	全	柿	武	山	麥	川	甲	大	酒	米					
木	煙		家		ノ	連	中	ヶ	島		鳥	見	出					
					生			浦			居							
三	山	高	金	天	縁	二	復	フ	城	甲	谷	高	砂	大				
舟	伏	座	分	神	往	子		ク					久					
山	山	山	山	山	還	山	山	べ	山	山	坂	塚	山	保				
					山	全	全	全	全	全	全	全	全	全				
					全	全	全	全	全	全	全	全	全	全				
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
一、二四二〇	七、八三二三	〇、七七〇四	〇、八六二四	〇、一六一三	二、四六〇〇	七、一七一九	八、九五〇五	五、八三一〇	五、七〇〇〇	六、五八〇六	〇、二〇〇七	一、三五一二	〇、三七〇〇					

● 世系甲

百十七

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全			
全	全	全	羽	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全			
全	全	全	昨	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全			
	西	福	柏	神	三	諸	宇	大	富	熊	豊	端	全									
	海	浦	崎	野	波	岡	出	屋	來	野	川											
							津															
千	風	福	南	神	波	鹿	宇	鶴	地	荒	豊	與	全									
浦	無	浦	吉	和	並	磯	出	入	頭	屋	田	原										
			田	住	並		津		町													
							分															
柏	狐	大	末	折	松	長	遠	平	寺	池	淺	尾	甲	全								
		久		戸				木		ノ	ヶ		二	三	番、	中山						
		保	森	山	山	谷	島	場	平	上	内	元	全									
梨	谷	全	航	額	全	全	魚	全	土	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	
			行	雪					砂													
			目	杆					汙													
			標	止					止													
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	
一、六〇〇五	〇、三四〇五	三、九五〇八	二、九六二六	一、七七一〇	六、六二一五	〇、一七二一、四五	一〇、〇〇〇〇	〇、一三一〇	〇、三七〇三	〇、六九〇七	〇、二八〇三	〇、三一七	一、〇二二三									

● 世系甲

百十六

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
風至	鹿島	全	羽咋	全	珠洲	全	全	全	全	全	全	全	風至
阿岸	越路	一ノ宮	柏崎川	鉢崎	正院	全	全	全	大屋	西保	鶴川	櫛比	阿岸
南	石動山	寺ノ家	萩谷、萩波	引砂	正院	全	二ツ屋	全	宅田	赤崎	七見	猿橋	是清
堂ノ山本誓寺上地	石動山	氣多神社境外	志呼神社境外	清水	大山	高平	前ノ敷	寺ノ上	神ノ堂	鱒ヶ淵	カグチ山	桂谷	金草ノ内
全	全	全	風致林	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	喬林	全	喬林	全	全	全	竹林	喬林	竹林	全	全
〇、三〇〇〇	九、二四一〇	三、二五二四	一、四一〇六	〇、四七〇七	〇、〇五〇六	〇、〇一一一	〇、〇一一八	〇、〇〇二五	〇、〇五一一	〇、〇一五〇〇	〇、〇一一二〇	〇、七六一一	〇、二〇〇三

●告示甲

百十九

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
富來	全	志加浦	全	中甘田	上甘田	上甘田	南志雄	末森	北莊	中莊	西増穂	松波	宮崎
牛下	赤住	上野	上澤	福野	狹谷	柴垣	散田	今濱	小川	出、入會	酒見	布浦	新保
ト	宮	菱	濱	上	濱	砂	鹿島	畑	大池	西	ニ	九ノ	大
ウ	田	池	山	野	山	山	谷	見	山	山	山	里	山
ワ	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	防風林	全	全
全	全	全	全	全	全	喬林	竹林	全	全	全	全	全	全
〇、三六二一	二、〇二二三	〇、三六一五	〇、二〇一七	一、五六二三	〇、四三一〇	一、七五〇七	〇、〇二〇九	二、八〇一二	〇、一八〇六	二、七一一二	三、二一一三、八五	一、四六〇〇	一、一七一〇

●告示甲

百十八

全	全	本郷	内保	ク	ヤ	平	全	〇、九九一三、二五
全	全	中居	中居	神杉山神杉伊豆半	比畔社境外	全	全	〇、二三二七
全	全	山田	山田	全	全	全	全	〇、一二一〇
全	全	全	全	宮林八幡社境外	全	全	全	〇、〇八一〇
全	全	全	瑞穂	今	藏	山	全	〇、一六〇四
全	全	宇出津	宇出津	棚木白山社境外	全	竹林	全	〇、四七一五
全	全	輪島	輪島	諏訪社境外	全	喬林	全	〇、四三一
全	珠洲	鵜島	南黒丸	八幡社境外	全	全	全	〇、〇七〇〇
全	全	飯田	春日山	春日社境外	全	全	全	〇、一〇〇二
全	全	東若山	經念	古麻志山	全	全	全	〇、一五〇〇
全	全	直	野々江	ト	宮	全	全	〇、〇四一七
全	全	三崎	森腰粟津	片姫社境外	全	全	全	〇、二三〇〇

〇石川縣告示甲第六十四號

左記ノ事項ハ自今主務大臣ニ報告シタルトキ其都度之ヲ知事ニ報告スヘシ
一、株式會社ヨリ報告スヘキ事項

一、總會ニ於テ認定シタル每事業年度ノ計算書、財産目錄、貸借對照表、事業報告書、利息又ハ配當金分配ノ率

二、會社又ハ役員訴訟ノ當事者トナリタルトキ其訴件ノ要旨及年月日

三、前號訴件結了シタルトキ其結果及年月日

二、債券發行ニ關シ株式會社ヨリ報告スヘキ事項

一、債權者募集締切ノ年月日

二、募集金額

三、應募金額

四、申込價格ノ最昂最低及平均

五、募集契約締結ノ最低價格及會社ノ實收スヘキ金額

六、毎年債券拂込高既往累年拂込物高及未拂込高

七、毎年債券償還高既往累年償還物高及未償還高

八、利子仕拂高

九、債券讓渡讓受ノ人員及債金高

十、毎年末期現在債權者ノ員數

三、取引所ヨリ報告スヘキ事項

一、毎日公定相場表

二、毎月賣買高表

三、毎月商品集散及商况報告

四、收支豫算表

- 五、每季財產目錄
 - 六、每季貸借對照表
 - 七、每季損益計算表
 - 八、每季末日現在會員株主仲買人氏名表
- 明治三十年十二月二十七日
- 石川縣知事 古澤 滋

○石川縣告示乙第一號

奈良縣添上郡明治村役場本月三日火災ニ罹リ備付ノ帳簿並諸文書悉皆焼失セシニ付該村在籍者ニシテ現今本縣内ニ寄留ノ者ハ寄留ノ年月日及戶籍ニ登記スヘキ必要ノ事項ヲ詳記シ來ル二月十五日限該村役場ニ届出ヘシ又本縣在籍者ニシテ目下該村ニ寄留ノ者ハ其市役所町村役場ヨリ其寄留届寫ヲ右期日ニ該村役場ニ發送スヘク且焼失以前該村役場ニ照會出願等ノ事件ニシテ其處分ヲ了セサルモノハ右同様更ニ之カ手續ヲ爲スヘキ旨奈良縣ヨリ通知アリタリ

○石川縣告示乙第二號

衆議院議員選舉法第三條ニ依リ本縣第二第四選舉區選舉長更ニ左ノ通命シタリ

- 第二區
- 第四區

石川縣能美郡長 川田茂通
石川縣鳳至郡長 稻垣義方
石川縣知事 古澤 滋

○石川縣告示乙第三號

明治二十八年度本縣歲入歲出決算左ノ通

(左記畧ス)

石川縣知事 古澤 滋

○石川縣告示乙第四號

明治二十八年度本縣備荒儲蓄金決算左ノ通

(左記畧ス)

石川縣知事 古澤 滋

○石川縣告示乙第五號

明治二十八年度本縣窮民救濟金決算左ノ通

(左記畧ス)

明治三十年一月二十日

○石川縣告示乙第六號

明治二十八年度本縣小學校教員恩給基金決算左ノ通

明治三十年一月二十日

○石川縣告示乙第七號

明治二十八年度本縣小學校教員恩給金決算左ノ通

明治三十年一月二十日

○石川縣告示乙第八號

明治二十九年文部省令第十號ニ依リ小學校教員免許狀有効滿期ノモノニシテ更ニ有効ヲ延期シタ
ルモノ左ノ如シ

明治三十年一月二十日

石川縣知事

古澤

滋

免許狀種類	免許狀期年限	族	籍	氏名
小學校授業生免許狀	明治三十年四月一日ヨリ四ヶ年	江沼郡山中村士族	山口	山口ス、
全	全	能美郡中海村字原平民	石田	石田作次郎
全	全	能美郡新丸村字小原平民	近藤	近藤秀實
全	全	鳳至郡楠比村字和田平民	瀧本	瀧本瀧太郎
全	全	石川郡中興村字橋爪平民	林友	林友雄

全	全	石川郡中興村字徳丸平民	藤	藤覺榮
全	全	羽咋郡北邑知村字飯山平民	上井	上井ハツイ
全(裁縫)	全	能美郡古河村字河田平民	中	中川光
全	全	金澤市長町六番丁士族	笠間	笠間參男
全	全	金澤市大衆免中通士族	村嘉	村嘉市郎
小學校簡易科教員免許狀	全	石川郡上金石町字濱町平民	野里	野里常
小學校授業生免許狀(裁縫)	全	能美郡中海村字中士族	石井	石井たつ
全(裁縫)	全	能美郡蓮江村字蓮代寺士族	松浦	松浦沖野
全	全	鳳至郡字出津町平民	伊勢	伊勢文藏
全	全	金澤市尻垂坂通平民	和田	和田つね
地方免許狀(裁縫)	全	金澤市下小川町平民	入部	入部ハル
小學校授業生免許狀	全	金澤市千日町士族	淺野	淺野鯉二郎
全	全	鹿島郡北大森村字江泊平民	北橋	北橋長間
小學校簡易科教員免許狀	全	鳳至郡輪島町字鳳至町士族	原	原信一

○石川縣告示乙第九號

本縣々會ノ議決ヲ經明治二十九年年度本縣歲入歲出豫算左ノ通追加更正ス

明治三十年一月二十八日

石川縣知事 古澤

滋

歲入

經常部

第一款 地租割追加 金六千五百拾七圓參拾壹錢九厘

第一項 地租割追加 金六千五百拾七圓參拾壹錢九厘

郡收 入 金六百七拾八圓八拾壹錢五厘

內 但本年地租豫算高六拾七方八千八百拾五圓參拾七錢貳厘地租壹圓ニ付金壹厘

郡市收入 金五千八百參拾八圓五拾錢四厘

但本年地租豫算高六拾九方貳千六拾貳圓九拾五錢五厘地租壹圓ニ付金八厘四毛

三三四八六二

歲入經常部合計金六千五百拾七圓參拾壹錢九厘

歲入總計金六千五百拾七圓參拾壹錢九厘

歲出

經常部

第一款 警察費追加 金千貳百八拾九圓四拾錢

第一項 俸給及諸給追加 金千百圓

第二款 應費追加 金百八拾九圓四拾錢

第四款 縣會議諸費追加 金千五拾貳圓八拾五錢六厘

第一項 縣會議費追加 金千五拾貳圓八拾五錢六厘

第五款 衛生及病院費追加 金五百貳拾九圓

第一項 衛生諸費追加 金五百圓

第二項 金澤病院費追加 金貳拾五圓

第三項 檢徽費追加 金四圓

第六款 教育費追加 金百六圓

第一項 尋常師範學校費追加 金參拾圓

第二項 尋常中學校費追加 金四拾圓

第四項 農學校費追加 金拾七圓

第五項 工業學校費追加 金拾九圓

第八款 郡吏員給料旅費及廳中諸費追加 金六百拾八圓

第一項 俸給及諸給追加 金四百九拾八圓

第二項 廳費追加 金百貳拾圓

第十二款 勸業費追加 金貳拾壹圓

第二項 地方測候所費追加 金八圓

第三項 博物館費追加 金拾參圓

第十三款 縣稅取扱費追加 金五百四拾圓

第一項 徵收費追加 金五百四拾圓

第十五款 監獄費追加 金五拾圓

第一項 俸給及諸給追加 金五拾圓

第十九款 縣吏員費追加 金拾圓

第一項 吏員費追加 金拾圓

第二十款 豫備費追加 金千參百九拾圓九拾六錢參厘

第一項 豫備費追加 金千參百九拾圓九拾六錢參厘

郡ニ屬スル分 金六拾圓八拾壹錢五厘

內 郡市ニ屬スル分 金千參百參拾圓拾四錢八厘

歲出經常部合計金五千六百七圓貳拾壹錢九厘

臨時部

第一款 警察廳舍建築費追加 金貳百四拾七圓參拾四錢

第一項 建築費追加 金貳百四拾七圓參拾四錢

第三款 郡市町村土木補助費中費目更正

第一項 道路橋梁補助費中費目更正

第七款 勸業費追加 金六拾圓

第二項 第二回水産博覽會出品費 金六拾圓

第八款 勸業補助費追加 金參百圓

第一項 勸業補助費追加 金參百圓

第十三款 勸業費ノ内本年度支出額追加 金參百貳圓七拾六錢

第六回關西府縣聯合共進會費本年度支出 金參百貳圓七拾六錢

歲出臨時部合計金九百拾圓拾錢

歲出總計金六千五百拾七圓參拾壹錢九厘

○石川縣告示乙第十號

本縣縣會ノ決議ヲ經明治二十九年年度本縣歲入歲出豫算左ノ通追加ス

明治三十年一月二十八日

石川縣知事 古澤

滋

明治二十九年年度石川縣歲入歲出豫算書追加

歲入

經常部

第一款 地租制追加 金八千七百七拾七圓七拾七錢壹厘

第一項 地租制追加 金八千七百七拾七圓七拾七錢壹厘

郡市收入

但本年地租豫算高六拾九萬貳千六拾貳圓九拾五錢五厘地租壹圓ニ付金壹錢壹厘八毛壹六五壹三八

第四款 戶數制追加 金七萬六千四百貳圓九拾參錢五厘

第一項 戶數制追加 內金五拾貳錢貳厘 徵收過

內金七萬六千四百貳圓九拾參錢五厘 徵收過

內金五拾貳錢貳厘 徵收過

郡市收入

但明治二十八年四月一日調總戸數十三万二千七百五十戸一戸ニ付金五拾七錢五厘五毛四

歲入經常部合計金八万四千五百八拾圓七拾錢六厘

臨時部

第六款 縣債追加 金拾萬八千貳拾五圓拾四錢七厘

第一款 縣債追加 金拾萬八千貳拾五圓拾四錢七厘

歲入臨時部合計金拾萬八千貳拾五圓拾四錢七厘

歲入總計金拾九萬貳千六百五圓八拾五錢參厘

歲出

經常部

第十三款 縣稅取扱費追加 金參千五拾六圓拾壹錢七厘

第一款 徵收費追加 金參千五拾六圓拾壹錢七厘

歲出經常部合計金參千五拾六圓拾壹錢七厘

臨時部

第二款 土木費追加 金拾万八千貳拾五圓拾四錢七厘

第一款 道路橋梁費追加 金五千貳百六拾七圓拾九錢參厘

第二款 治水堤防費追加 金拾万貳千七百五拾七圓九拾五錢四厘

第三款 郡市町村土木補助費追加 金八万五千貳拾四圓六錢七厘

第一款 道路橋梁費補助追加 金壹万貳千九百九拾八圓七拾五錢壹厘

第二款 治水堤防費補助追加 金五千參圓五拾七錢五厘

第三項 用水費補助 金五万八千拾圓貳拾四錢壹厘

第四項 溜池費補助 金五千五百拾壹圓五拾錢

歲出臨時部合計拾八万九千五百四拾九圓貳拾壹錢四厘

歲出總計金拾九万貳千六百五圓參拾參錢壹厘

○石川縣告示乙第十一號

明治三十年一月二十八日

縣債募集及償還ニ關スル方法

明治二十九年年度臨時土木費中水害復舊工事費ノ支出ニ充ツル爲メ左ノ規定ニ依リ銀行ヨリ金拾万

八千貳拾五圓拾四錢七厘ヲ借入ル、モノトス

一本借入金ハ明治二十九年年度内ニ於テ之ヲ借入レ明治三十一年度ヨリ明治四十一年度ニ至ル十一

年度ニ還了スルモノトス但毎年度償還ノ金額左ノ如シ

金壹万圓 明治三十一年度

金壹万圓 明治三十二年度

金壹万圓 明治三十三年度

金壹万圓 明治三十四年度

金壹万圓 明治三十五年度

金壹万圓 明治三十六年度

金壹万圓 明治三十七年度

金壹万圓 明治三十八年度

石川縣知事 古澤 滋

金壹万圓

金壹万圓

金壹万圓

一 每年度ノ償還金ハ其年度九月、三月ノ兩度ニ於テ各其半額ヲ支拂フモノトス

一 利子ノ定率ハ一ケ年元金ニ對スル百分ノ六ノ割合トス

一 利子ハ元金償還ノ度毎ニ前回支拂ノ翌月ヨリ其元金償還ノ當月迄ノ分ヲ支拂フモノトス

一 明治二十九年九月ニ於テ支拂フモノトス

一 明治三十年度ニ屬スル利子ハ其年度九月、三月ノ兩度ニ於テ支拂フモノトス

○石川縣告示乙第十二號

本縣縣會ノ議決ヲ經明治二十九年九月ヨリ三十年度ニ至ル本縣勸業費繼續年期及支出方法左ノ通追加ス

明治三十年一月二十八日

石川縣知事 古澤

滋

自明治二十九年九月

第六回關西府縣聯合共進會費

一金四百八拾圓拾壹錢

金參百貳圓七拾六錢

金百七拾七圓參拾五錢

金百七拾七圓參拾五錢

右ハ第六回關西府縣聯合共進會ヲ明治三十年兵庫縣神戸市ニ於テ開設ニ付之レカ經費ハ本年及明年度繼續支出ノ決議ヲ經タルモ尙本案ノ金額ヲ必要トス依テ本年度明年度ニ於テ追加支出スルモノトス

但二十九年度ニ於テ若シ支出額ニ殘餘ヲ生シタル場合ハ之レヲ次年度へ繰越支出ス

○石川縣告示乙第十三號

本縣縣會ノ議決ヲ經明治三十年度本縣備荒儲蓄金歲入歲出豫算左ノ通相定ム

明治三十年一月二十八日

石川縣知事 古澤

滋

歲入

第一款 備荒儲蓄金收入 金貳万參千百拾四圓九拾貳錢五厘

第一項 公債證書償還 金百圓

第二項 益 金 金壹万七千九百五拾九圓八拾八錢七厘

第三項 雜 收 金 金五拾五圓參錢八厘

第四項 前年度繰越金 金五千圓

歲入總計金貳万參千百拾四圓九拾二錢五厘

歲出

第一款 備荒儲蓄金 金貳万參千百拾四圓九拾貳錢五厘

第一項 救 助 費 金 金四千七百四拾五圓參拾五錢九厘

第二項 儲 蓄 費 金 金拾七圓五拾錢參厘

第三項 公債證書買入代 金 金壹万四千八百五拾貳圓六錢參厘

第四項 預 け 金 金參千五百圓

歲出總計金貳万參千百拾四圓九拾貳錢五厘

○石川縣告示乙第十四號

本縣縣會ノ議決ヲ經明治三十年度本縣窮民救濟金歲入歲出豫算ノ通相定ム

明治三十年一月二十八日

石川縣知事 古澤

滋

歲入

- 第一款 救濟金 收入 金六千參百五拾六圓
- 第一項 國債證書償還 金百圓
- 第二項 益 金 金六千五拾五圓
- 第三項 前年度繰越 金 金貳百圓
- 第四項 雜 入 金壹圓

歲出

- 第一款 救濟金 金六千參百五拾六圓
- 第一項 救濟費 金參千九圓六拾六錢
- 第二項 蓄積金 金參千參百參拾六圓參拾四錢
- 第三項 雜費 金拾圓

歲出總計金六千參百五拾六圓

○石川縣告示乙第十五號

本縣縣會ノ議決ヲ經明治三十年度本縣小學校教員恩給基金收入豫算左ノ通相定ム

明治三十年一月二十八日

石川縣知事 古澤

滋

明治三十年度石川縣小學校教員恩給基金收入豫算書

收入

- 第一款 小學校教員恩給基金 金千九百六拾九圓貳拾錢
- 第一項 小學校教員恩給基金 金千九百六拾九圓貳拾錢

收入總計金千九百六拾九圓貳拾錢

○石川縣告示乙第十六號

本縣縣會ノ議決ヲ經明治三十年度本縣小學校教員恩給基金ニ關スル歲入歲出豫算左ノ通相定ム

明治三十年一月二十八日

石川縣知事 古澤 滋

歲入

- 第一款 小學校教員恩給金收 金七百七拾九圓六拾六錢六厘
- 第一項 小學校教員恩給金收 金七百七拾九圓六拾六錢六厘

歲出

- 第一款 小學校教員恩給金 金七百七拾九圓六拾四錢
- 第一項 小學校教員恩給金 金七百七拾九圓六拾四錢

歲出總計金七百七拾九圓六拾四錢

○石川縣告示乙第十七號

本縣縣會ノ議決ヲ經本縣縣會議員名譽職縣參事會員旅費及手當支給規則中左ノ通更正ス

明治三十年一月二十八日

石川縣知事 教澤

滋

縣會議員名譽縣參事會員旅費及手當支給規則中更正

第一條左表中旅費車馬賃每一里金八錢トアルヲ旅費車馬賃每一里金拾錢ト更正ス

附則

第八條 第一條ノ更正ハ明治三十年四月一日ヨリ施行ス

○石川縣告示乙第十八號

本縣縣會ノ議決ヲ經本縣小學校教科用圖書審查委員會委員旅費及手當支給規則中左ノ通更正ス

明治三十年一月二十八日

石川縣知事 古澤 滋

小學校教科用圖書審查委員會委員旅費及手當支給規則中更正

第一條左表中旅費每馬車賃每一里金八錢トアルヲ金拾錢ト更正ス

第三條中左表ヲ左ノ通り更正ス

旅		費		手		當	
車馬賃每一里	旅行日當每一日	滞在日當每一日	出務日當一日	金六錢	金五拾錢	金五拾錢	金參拾錢

附則

第五條 第一條及第三條ノ更正ハ明治三十年四月一日ヨリ施行ス

○石川縣告示乙第十九號

本縣縣會ノ議決ヲ經本縣地方衛生會委員旅費及手當支給規則中左ノ通更正ス

明治三十年一月二十八日

石川縣知事 古澤 滋

地方衛生會委員旅費及手當支給規則中更正

第三條中旅費車馬賃每一里八錢トアルヲ旅費車馬賃每一里金拾錢ト更正ス

附則

第六條 第一條ノ更正ハ明治三十年四月一日ヨリ施行ス

○石川縣告示乙第二十號

本縣縣會ノ議決ヲ經本縣事務ニ關スル常設委員任期及選舉方法中左ノ通更正ス

明治三十年一月二十八日

石川縣知事 古澤 滋

土木事務ニ關スル常設委員任期及選舉方法中更正

第一條中常設委員及同補充員各々三名トアルヲ四名ト更正ス

附則

第六條 第一條ノ增員ハ明治三十年四月一日ヨリ施行ス

○石川縣告示乙第二十一號

本縣縣會ノ議決ヲ經明治二十九年年度本縣備荒儲蓄金歳入歳出豫算左ノ通追加ス

明治三十年一月二十八日

石川縣知事 古澤 滋

備荒儲蓄金歳入歳出豫算追加

第一條 備荒儲蓄金收入追加 金壹萬六千七百圓四拾九錢

第八項 中央備荒儲蓄金補助 金壹萬六千七百圓四拾九錢

歳入總計金壹萬六千七百圓四拾九錢

歳出

四等税區

中與	藏山	大野	笠島	中條	鹿島 下甘田	相馬	江沼 西町	東谷口	矢田野	新丸	吉野谷	磐王山	羽咋 北志雄
郷	野	戸板	米丸	北庄	東増穂	鳳至 河原田	町野	西谷	黒崎	吉原	崎浦	小原谷	南志雄
安原	湯湧谷	富奥	河北崎	中庄	西増穂	中ノ島	珠洲大屋	三崎	三木	河内	石川南	河北内	種谷
額	富樫	笠間	崎田	富永	西海	石崎	三井	大谷	三美谷	尾口	内川	木越	笠野
蝶屋	館畑	二塚	田近	若部	西浦	高階	鳳至谷	鶴島	東谷奥	大杉	犀川	湯ノ谷	熊野
全													
參拾錢													

吉示乙

十九

井上	一ノ宮	東湊	江沼	福田	淺井	高田	石川	弓取	西英	中邑知	赤藏	岩倉	江沼 庄
大場	上甘田	西湊	鹽津	長野	河野	山島	川筋	加茂	崎山	島崎	那谷	瀬越	末佐美
八田	鹿島丸	金ヶ崎	橋立	千針	釜屋	鞍月	金川	中甘田	鳳至 諸岡	兜	能美南 里	石川	旭川
越路野	餘喜	鳳至 南志見	能美 木津	田川	河北牧 英	萩坂	鹿島 南大香	珠洲 諸橋	分枝	中海	林	中	林
志賀浦	島屋	珠洲 上戸	園江	蓮江	吉田	羽咋 内澤	粟ノ保	七浦	篠原	國造	林	國	林

吉示乙

十八

湯屋	三等稅區	以上記名外ノ町村	午後ヨリ開湯スルモノハ本稅ノ半額	飯田 松任 小松 輪島 七尾 大聖寺	全	貳圓
一等地	金澤 松任 小松 輪島 七尾 大聖寺	以上記名外ノ町村	使役人アレモノハ使役一人ニ付本稅ノ半額ヲ増ス	年稅額 五拾錢	全	貳圓
二等地	使役人アレモノハ使役一人ニ付本稅ノ半額ヲ増ス	年稅額 五拾錢	全	壹圓	全	貳圓
雇人受宿	全	壹圓	全	貳圓	全	貳圓
遊藝師匠	全	貳圓	全	貳圓	全	貳圓
遊藝稼人	十三歳未滿ノモノハ本稅ノ半額	月稅額 五拾錢	全	參拾錢	全	參拾錢
相撲	行司共	全	全	五拾錢	全	五拾錢
俳優	全業中習慣ノ給料定位ナキモノ及十三歳未滿ノモノハ本稅ノ半額	全	全	五拾錢	全	五拾錢
辯問	全	貳圓	全	貳圓	全	貳圓
藝妓	十三歳未滿ノモノハ本稅ノ半額	全	全	五拾錢	全	五拾錢

市場	市場	市	町村	臨時又ハ 定期市場	一日ニ付拾錢ヨリ減スルコトヲ得ス	日稅 壹圓	隨時 雜賣金高 千分ノ二	全	貳圓
相撲	日稅 五拾錢	全	日稅 五拾錢	全	貳拾錢	全	貳拾錢	全	貳拾錢
演劇	全	貳拾錢	全	貳拾錢	全	貳拾錢	全	貳拾錢	全
興行	全	貳拾錢	全	貳拾錢	全	貳拾錢	全	貳拾錢	全
遊覽所	全	貳拾錢	全	貳拾錢	全	貳拾錢	全	貳拾錢	全
人寄席	全	貳拾錢	全	貳拾錢	全	貳拾錢	全	貳拾錢	全
遊技場	全	貳拾錢	全	貳拾錢	全	貳拾錢	全	貳拾錢	全
船	月稅額 參拾錢	全	月稅額 參拾錢	全	貳拾錢	全	貳拾錢	全	貳拾錢
	年稅額 拾貳錢	全	年稅額 拾貳錢	全	貳拾錢	全	貳拾錢	全	貳拾錢

車	人力車	荷車	馬車	荷積車馬車	水車	輪徑一丈五尺以上	全九尺以上	全九尺未滿	乘馬	屠畜	牛	馬	豚
	荷臺ノ坪數十四坪未滿ノモノハ本稅ノ半額		馬一頭ヲ増ス毎ニ本稅ノ半額ヲ増ス		使用月數六ヶ月以內ノモノハ本稅ノ半額								
	年稅額	全	全	全	年稅額	全	全	全	全		隨時	全	全
	壹拾錢	貳圓	壹圓立	壹圓	五圓	參圓	壹圓	壹圓	五圓		七拾錢	五拾錢	參拾錢

羊	自轉車	西洋形船	蒸氣船	風帆船	日本形大船
全	年稅額		全	全	全
拾全	壹圓		百圓	拾圓	貳百圓

○石川縣告示乙第二十三號

痘苗製造ノ官業トナリシハ其目的純良ナル痘苗ノ供給ヲ饒ニシ種痘ノ普及ヲ圖ラル、ニ在ルヲ以テ其價ヲ低廉ニシ可成其請求手續ヲ簡略ニシ各需用者ヲシテ容易ニ購求シ得ヘカラシムルノ趣旨ニ有之處需用者ニ於テ未タ痘苗製造所ノ官設セラレタルコトヲ知ラスシテ目下營業シ居ラサル從來ノ營業者ニ向テ之カ供給ヲ求ムルモノモ有之哉ニ相聞ヘ右ハ畢竟痘苗製造所ノ開設日尙淺キヲ以テ未タ一般ニ其開設及容易ニ購求シ得ヘキコトヲ周知セサルノ致ス所ナルヘキ歟現ニ痘苗製造所ニ於テハ純良ナル痘苗數万具ノ豫備品アリテ何時請求スルモ發送期日ヲ遅延スルカ如キコト無之趣就テハ追々春期種痘ノ期節ニ向ヒ殊ニ本縣ニ於テハ昨秋以來二十七名ノ天然痘患者ヲ發シ尙蔓延ノ兆有之此際種痘ノ普及ヲ忽ニスヘカラサル時節柄ニ付市町村、醫師及個人ニ於テモ右ノ事實ヲ了得シ種痘ノ普及ヲ怠ラサル様致スヘシ依テ左ニ其請求ノ手續ヲ示ス

明治三十年一月二十八日

石川縣知事 古澤

滋

一痘苗請求書ハ左ノ書式ニ認メ登記印紙ヲ貼付シ請求人記名ノ下ニ押捺スル印ヲ以テ書面ト印紙ノ彩紋トニカケ消印ノ上請求人ヨリ直ニ東京痘苗製造所ヘ差出ヘシ

一痘苗製造所ヨリ賣下ノ痘苗代價ハ一具五人分金五錢ニ付痘苗請求具數ニ對シ右比例ヲ以テ登記印紙ヲ貼付スヘシ但運送賃ハ納ムルニ及ハス

痘苗請求書式

痘苗請求書

一痘苗何具 發送期日何月何日

(多數ヲ要シ發送期日ヲ數回ニ分ツトキハ左ノ内譯ヲナスヘシ)

内譯

何具

何月何日

右請求候也

印紙

住所

氏名

明治何年何月何日

東京痘苗製造所宛

○石川縣告示乙第二十四號

明治二十九年文部省令第十號ニ依リ小學校教員免許狀有効滿期ノモノニシテ更ニ有効ヲ延期シタ

ルモノ左ノ如シ

明治三十年一月二十八日

石川縣知事 古澤 滋

免許狀種類	免許狀延期年限	族籍	氏名
小學校教員	明治卅年四月一日ヨリ四箇年	金澤市川上新町二丁目士族	山本 貞一
小學校縫紉科地方免許狀	全	金澤市並木町士族	安田 ツマ
小學校授業生免許狀(裁縫)	全	金澤市蛤坂町士族	河村 ツル
小學校教員	全	金澤市鍛冶片原町士族	與山 克忠
小學校教員地方免許狀	全	江沼郡大聖寺町字新町士族	岩城 ユキ
小學校教員地方免許狀	全	江沼郡大聖寺町字新町士族	小泉 孝次
小學校授業生免許狀(裁縫)	全	金澤市巴町士族	八見 榮次郎
小學校授業生免許狀(裁縫)	全	羽咋郡南邑知村字杉野屋平民	鍵市 ツイ
小學校教員	全	金澤市賢坂辻通平民	野崎 壽美
小學校授業生免許狀(裁縫)	全	羽咋郡末森村字麥生士族	星野 キクエ
小學校授業生免許狀(裁縫)	全	金澤市並木町一丁目士族	木下 半太郎

小學簡易科教員免許狀	全	金澤市材木町二丁目士族	高木誠太郎
小學校裁縫科地方免許狀	全	金澤市油車士族	下田高
小學校授業生免許狀	全	鳳至郡南志見村字東印内平民	正井直作

○石川縣告示乙第二十五號

本縣尋常師範學校ニ於テ本年四月入學セシムヘキ本科第一種生徒及小學校教員講習科第一種生徒左ノ通算集ス入學志願ノ者ハ明治二十六年石川縣令第四號石川縣尋常師範學校生徒募集細則及本年石川縣令第七號小學校教員講習科規程ニ依リ來二月二十日マテニ郡市役所ヲ經テ出願スヘシ但第一種生徒滿員ニ至ラサルトキハ第二種生徒ヲ募集シテ之ヲ補充ス
講習科生徒ノ學資ニ補給スハキ手當金ハ一人一ヶ月貳圓五拾錢トス但金澤市ヨリ入學ノモノニハ補給セス
郡市長ハ二月二十五日マテニ薦學生徒ニ關スル書類ヲ石川縣尋常師範學校ニ送附スヘシ
明治三十年一月二十九日
石川縣知事 古澤 滋

郡市薦學生員數表

郡市	本		講習	
	男	女	甲種男	乙種女
江沼郡	三人	三人	二人	二人
能美郡	四人	四人	四人	四人
石川郡	四人	四人	四人	四人

金澤市	三人	三人	二人	一人
河北郡	三人	二人	三人	三人
羽咋郡	三人	二人	三人	三人
鹿島郡	四人	四人	三人	三人
鳳至郡	四人	四人	四人	三人
珠洲郡	二人	一人	二人	二人
計	三十八人	二十七人	二十七人	二十四人

○石川縣告示乙第二十六號

本年四月五日ヨリ能美郡小松町及珠洲郡飯田町ニ於テ臨時小學教員乙種檢定ヲ施行ス受験者ハ三月二十日マテニ願書ヲ郡市役所ニ差出檢定當日午前第九時能美郡役所又ハ珠洲郡役所へ出頭スヘシ
檢定ノ種目ハ尋常小學校本科正准教員及小學校專科(裁縫)准教員ニ限ルモノトス
出願者兩郡各二十五人ニ滿タサレハ檢定ヲ施行セシ
明治三十年一月二十九日
石川縣知事 古澤 滋

○石川縣告示乙第二十七號

明治二十九年文部省令第十號ニ依リ小學校教員免許狀有効滿期ノモノニシテ更ニ有効ヲ延期シタルモノ左ノ如シ

明治三十年二月三日

石川縣知事 古澤 滋

免許狀種類	免許狀延期年限	族	籍	氏名
小學校授業生免許狀	明治卅年四月一日ヨリ四箇年	江沼郡大聖寺町字西田町士族		大倉久太郎
小學校簡易科教員假免許狀		江沼郡大聖寺町字松ヶ根町士族		菅村信一
小學校授業生免許狀		河北郡笠野村字吉倉平民		吉本七次郎
小學校授業生免許狀(裁縫)		河北郡津幡町字清水平民		津田 菊
小學校尋常科地方免許狀		鹿島郡七尾町字大手士族		半田 茂
小學校授業生免許狀		金澤市長土堀通士族		吉谷 鐵三郎
小學校授業生免許狀(裁縫)		金澤市淺野町士族		山川 たゝ
小學校授業生免許狀(裁縫)		金澤市主馬町廣丁士族		井上 捨
小學校授業生免許狀		鹿島郡七尾町字今町平民		川崎 キク
全		石川郡鶴茶町平民		村山 弘
全		金澤市本馬町士族		今井 黨
小學校簡易科教員免許狀		金澤市石坂角場三番丁士族		井上 景順

小學校授業生免許狀	全(裁縫)	小學校簡易科教員免許狀
全	全	全
江沼郡福田村字敷地士族	金澤市石坂角場一番丁士族	鹿島郡七尾町字藤橋士族
林 藤 松	村 田 キン	坂 井 常 男

○石川縣告示乙第二十八號

目下東京大坂兵庫ヲ始メ各地方ニ於テ天然痘流行シ本縣ニ於テモ昨冬以來既ニ三十四名ノ患者ヲ發生シ尙蔓延ノ兆有之ニ付テハ今ヤ各自ニ於テ一日モ其豫防ヲ忽カセニスヘカテサルノ時季トス而シテ天然痘ノ豫防法タル種痘ノ施行ニアレハ其法タル甚々簡ニシテ極メテ行ヒ易キニモ拘ハラズ從來ノ經歷ニ依ルニ往々其施行ヲ怠ルモノ少シトセス就テハ此際各自相警戒シ明治二十八年一月以後ニ於テ種痘ヲ行ヒ善感証書ヲ所持スル者及明治二十九年十一月以後ニ於テ種痘ヲ爲シ其種痘ノ証ヲ所持スル者ヲ除クノ外一般ニ左記ノ方法ニ依リ速カニ種痘ヲ行フヘシ

明治三十年二月三日

石川縣知事 古澤 滋

- 一 種痘ハ必ス醫師ノ接種ヲ受クヘシ
- 二 種痘濟ノ上ハ必ス醫師ヨリ其証書ヲ受ケ置クヘシ
- 三 工場ノ職工其他雇人等ニアリテハ管理者又ハ雇主ニ於テ種痘ヲ施行セシムヘシ

○石川縣告示乙第二十九號

明治二十九年文部省令第十號ニ依リ小學校教員免許狀有効満期ノモノニシテ更ニ有効ヲ延期シタルモノ左ノ如シ

明治三十年二月五日

石川縣知事 古澤 滋

免許状種類	免許状延期年限	族	籍	氏名
小學校簡易科教員免許状	明治卅年四月一日ヨリ四箇年	能美郡小松町字寺町平民	安惠	リッ
全	全	金澤市彦三一番丁士族	小川	信近
小學校授業生免許状	全	能美郡福江村字西二口平民	島村	しけ
全	全	能美郡草深村字土室平民	吉田	伊三松
全	全	金澤市柳町士族	石川	ツル
全	全	能美郡長野村字大長野士族	市島	環定
全	全	羽咋郡志加浦村字野崎平民	大石	重幸
全	全	鹿島郡東島村字野崎平民	横山	清吉
全	全	鳳至郡岩倉村字西時國平民	橋利	助
全	全	江沼郡黒崎村字田尻平民	坂本	長作
全	全	金澤市上本多町川御亭士族	山田	周由
全	全	江沼郡黒崎村字宮平民	小西	辰吉
全	全	能美郡別宮村字神子清水平民	長田	精一

全	全	岡山縣岡山市大字古京町士族	淺井	勝次郎
小學校授業生免許状(裁縫)	全	河北郡花園村字二日市平民	西村	スミ
小學校裁縫科教員地方免許状	全	金澤市上主馬町士族	大野	そと
小學校授業生免許状(裁縫)	全	金澤市堅町士族	下田	そと
全	全	金澤市石屋小路士族	南保	トモ
小學校裁縫科教員地方免許状	全	金澤市新堅町士族	岡崎	萬津
全	全	金澤市上弓ノ町士族	高島	鮎
小學校尋常科教員地方免許状	全	能美郡河野村字上野	井口	石松
小學校授業生免許状(裁縫)	全	能美郡小松町字大字町士族	片山	ブン

○石川縣告示乙第三十號

今般

大興ニ付慈惠救濟ノ資ヲ補ハセラル、ノ

思召ヲ以テ本縣ヘ整理公債証書額面六千五百圓御下賜ノ旨宮内大臣ヨリ達アリタリ

明治三十年二月五日

石川縣知事 古澤

滋

○石川縣告示乙第三十一號

二十九年第一補充兵悉皆左記ノ區分ニヨリ教育召集實施候旨第三師團長ヨリ通牒アマリ

明治三十年二月九日

石川縣知事 古澤 滋

左記

- 一 歩兵 三月一日ヨリ 九十日間
- 二 騎、砲、工、輜重兵 四月一日ヨリ 九十日間
- 三 砲兵輸卒 九月一日ヨリ 三十日間
- 四 輜重輸卒 十月一日ヨリ 三十日間
- 五 縫工、靴工 六月一日ヨリ 百五十日間

○石川縣告示乙第三十二號

本年種牡牛馬検査日割左記ノ通相定候條種牡牛馬所有者及種牡牛馬ノ貸與ヲ受ケタル牛馬改良組
 合又ハ本年ヨリ更ニ種用ニ供セント欲スル牡牛馬ノ所有者ハ最寄場所ニ率出シ検査ヲ受クヘシ
 但率付所ハ検査場所在地市役所又ハ町村役場ニ承合スヘシ

明治三十年二月十二日

石川縣知事 古澤 滋

- | | |
|------|-----------|
| 月日 | 場所 |
| 三月一日 | 珠洲郡飯田町 |
| 全 三日 | 鳳至郡柳田村字柳田 |
| 全 五日 | 全 輪島町 |
| 全 七日 | 全 諸岡村字道下 |

- 全 十日 羽咋郡富來村
- 全 十一日 全 東土田村字館開
- 全 十三日 全 志雄村字子浦
- 全 十六日 鹿島郡七尾町
- 全 十七日 全 中島村
- 全 二十日 河北郡津幡町
- 全 二十一日 金澤市
- 全 二十四日 石川郡鶴來町
- 全 二十六日 能美郡小松町
- 全 二十七日 江沼郡大聖寺町

○石川縣告示乙第三十三號

明治二十九年文部省令第十號ニ依リ小學校教員免許狀有効満期ノモノニシテ更ニ有効ヲ延期シタ
 ルモノ左ノ如シ

明治三十年二月十二日

石川縣知事 古澤 滋

免許狀種類	免許狀延期年限	族 籍	氏 名
小學中等科教員 免許狀	明治卅年四月一日ヨリ四箇年	能美郡木津村字木場 平民	竹 内 律
小學簡易科教員 免許狀	全	金澤市中川除町士族	上 田 初
全	全	金澤市下富山町平民	野村正二郎

小學校體操科教員假免許狀	全	金澤市田丸町平民	西本三太郎
小學校授業生免許狀	全	羽咋郡南志雄村字散田平民	金山鹿人男
全	全	石川郡富興村字上林平民	小林榮松
全(裁縫)	全	金澤市高岡町上敷ノ内士族	下田ツヤ
全	全	羽咋郡上熊野村字釋迦堂平民	前村十兵衛
全	全	能美郡小松町字京町平民	山上つる
全(裁縫)	全	鹿島郡七尾町字阿良町士族	田中可祝
全	全	金澤市十三間町平民	神田徳太郎
全	全	鹿島郡西島村字須曾平民	松澤榮次郎
全	全	鳳至郡輪島町字鳳至町平民	源知太郎
全	全	石川郡鶴來町士族	平川順二郎
全	全	鹿島郡西島村字半浦平民	木本精一
小學初等科教員免許狀	全	金澤市大豆田町士族	竹田和貴
小學校授業生免許狀	全	鹿島郡七尾町字鍛冶町平民	山崎八百

全	全	羽咋郡富來村字領家町平民	濱野はな
全	全	羽咋郡富來村字地頭町平民	松本ふに
全	全	河北郡金川村字千木士族	辻トメ
全(裁縫)	全	江沼郡大聖寺町字鷹匠町士族	河崎まさ
全(裁縫)	全	金澤市下傳馬町平民	高尾シロ
全	全	金澤市梅本町西横丁士族	山東愛
小學校尋常科教員地方免許狀	全	珠洲郡正院村字正院平民	西田金太郎
小學校裁縫科地方免許狀	全	金澤市十三間町士族	廣瀬外
小學校授業生免許狀	全	金澤市十三間町士族	廣瀬外

○石川縣告示乙第三十四號
 明治二十九年文部省令第十號ニ依リ小學校教員免許狀有効滿期ノモノニシテ更ニ有効ヲ延期シタルモノ左ノ如シ
 明治三十年二月十六日
 石川縣知事 古澤 滋

免許狀種類	免許狀延期年限	族	籍	氏名
小學校教員地方免許狀	明治卅年四月一日ヨリ四箇年	能美郡田川村字梯平民	中出秀一	中出秀一